

令和7年度
「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」
実施報告書

実施日時 令和7年9月3日(水)14時30分～16時30分

会場 大阪市立中央図書館 大会議室

令和 7 年度 大阪市子どもの読書活動推進連絡会

当日次第

日 時 令和 7 年 9 月 3 日(水) 14 時 30 分-16 時 30 分

場 所 大阪市立中央図書館 5 階 大会議室

1 開会あいさつ

2 出席者紹介

3 議 事

(1) 事務局報告

- ・ 令和 6 年度「第 4 次大阪市子ども読書活動推進計画」の実施状況

- ・ 令和 7 年度各区の子どもの読書活動推進連絡会のまとめ

(2) 「第 5 次大阪市子ども読書活動推進計画」の策定について

(3) 質疑応答

(4) 学識経験者、社会教育関係団体代表者より助言

4 その他

5 閉会

目 次

各種報告・意見交換	1-6
当日配布資料	
『資料 1』 令和 6 年度 「第 4 次大阪市子ども読書活動推進計画」の実施状況(取組目標・指標)	7
『資料 2』 子どもの読書活動 各取組の状況(令和 6 年度)	8-14
『資料 3』 「子どものためのイベント+施設ガイド・タッチ 令和 7 年度 夏」	15-17
『資料 4』 「学校図書館活用推進事業」について	18-19
『資料 5』 令和 6 年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ	20-22
『資料 6』 令和 6 年度こども本の森中之島 読書活動に関する報告	23
『資料 7』 区における子どもの読書活動の取組みについて	24-32
『資料 8』 令和 7 年度 各区子どもの読書活動推進連絡会のまとめ	33-46
『資料 9』 「第 5 次大阪市子ども読書活動推進計画」の策定について	47-63
【参考】『資料 9』関係 「第 4 次大阪市子ども読書活動推進計画」取組目標の状況	64-65
「第 4 次大阪市子ども読書活動推進計画」概要版	66-67
大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱	68-70
令和 6 年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会名簿および関係職員名簿	71-72

■各種報告

事務局報告

[資料 1]～[資料 9]参照

■意見交換

○公益財団法人図書館振興財団教育支援担当 片岡 則夫氏

- ・ 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において、不読率が上がって、読書好きの割合が下がっているのは、大阪市だけでなく全国的な傾向である。この第 4 次計画の間、令和 3 年頃から一貫して不読率は上がり、読書好きの割合が下がっており、読書推進を図書館や文化活動という枠組みだけで取り組むのはもう限界だと感じている。
- ・ ネットや動画、ゲーム、SNS に使う時間、いわゆる「スクリーンタイム」について、いろんな調査があるが、約 3 分の 1 の子どもが 1 日約 3 時間はスクリーンを見ているという実態がある。当然読書の時間は減っている。第 5 次計画に向けては、ネットやゲームへの依存を懸念する人たちと協力しながら、読書推進を進める必要があるのではないか。この場のみなさんだけで読書推進を頑張っても、この傾向には抗いきれない。オーストラリア政府は 16 歳未満の SNS 利用を禁止する法律を施行する。子どもたちの ICT 機器やメディア利用のあり方を考えるような機会があった方がよい。
- ・ 子どもの読書環境の整備・充実については、人と本がきちんとある状態を作ることが一番大事である。人に関しては、学校司書が各学校にどれくらいの日数・時間配置されているのかが一番重要となる。週 4 日の主幹学校司書が頑張っているのはわかるので、その結果がこの連絡会報告で具体的に出てくるとよいと思った。学校司書が週 4 日配置されたら、以前と比べて子どもたちがこれだけ本を読むようになったというデータを見せると、税金の使い道について説得力が増す。
- ・ 自治体ごとの学校司書の 1 校当たりの週勤務時間数データは見たことがないが、週 1 回、1 日 6 時間の勤務で、調べ学習も読書指導も蔵書点検も新しい本の受入もやるのは無理がある。学校司書の職務内容にはやるように書いてあるが、それが 6 時間では難しいということを示すためには、学校に週何時間学校司書が必要か、数字を積み上げてはっきりと示すのがよい。自治体間で比較することができれば、大阪市がどのあたりに位置するかもわかる。
- ・ 朝の読書活動の時間も統計データに入れた方がよい。実は、朝の読書時間が減っているのではないかと言われている。読書活動を推進するために一番よいのは、読書時間、読書の場を子どもたちに保障することである。
- ・ 本に関しては、資料費(図書購入費)にどれくらいの予算をかけているかということを見る必要がある。大阪府立高校は市立小学校よりも予算が少ない、学校司書も配置されていない、そういった実態がなかなか見えてこない。税金でやってことなので、子どもたちのためにどれぐらい本を買っているかというデータは明らかにする必要がある。
- ・ 大阪市図書標準の冊数について、どういう根拠で決まっているのかわからないが、報告では達成していることなので、新たな基準を決めたほうがよいのではないか。同時に、図書館に本が何冊あればよ

い、という考え方には、古い本でもあればよいという考えにつながりかねないので、廃棄基準もきちんと決めたほうがよい。貴重書以外は、昭和の本、20世紀の本を全部廃棄しても図書標準を達成しているのか。鮮度のよい本を子どもたちに手渡すために、このようなことも意識して取り組む必要がある。

○ 神戸常盤大学教授 中西 利恵 氏

- ・ 毎年、この連絡会での事例紹介をとても楽しみにしている。第5次計画の策定に関して、この間の取組成果・総論部分に、読み聞かせが読書の入口になっていることと、子どもが自分で本を手にとることができる環境の重要性の2つがあがっていた。要は人の存在と、本にふれる場が必要だということ。この2つが十分に整備されていることが、各区の取組状況をまとめた中でもしっかりと最初に書かれている。
- ・ 各区の連絡会まとめに、ブックスタートについて午前・午後と1日2回開いて参加者が増えたという報告があった。このような地道な取組が大切だと思う。ブックスタートは、在宅で子育てしている家庭の数自体が減っていたら当然参加者は減る。参加者数の推移を見るだけでなく、子育て層の実態を把握したうえで対策を講じる必要がある。
- ・ 保育現場では、絵本の部屋等が充実している施設もあるが、本がある場を整えるというのはなかなか難しい。各区の連絡会まとめで共通してあがっていたのが、絵本不足、本が古いといった問題である。毎月お便りで新しい本を保護者に紹介したり、図書館と連携したりして工夫しながら取り組んでいるが、やはり新しい本が買えることが望まれる。
- ・ 学校図書館の取組について、図書館ウェブサイトの学校司書のページに掲載されているアニメーションのシナリオ等が紹介された。この学校司書のページはとても充実していて素晴らしい。このシナリオは指導計画としてもそのまま使える。アニメーションなら、『これはのみのびこ』やクイズ等、読書に興味を示さない子どもにどういう仕掛けを作るか、ボランティアの方、現場の先生方に役に立ちそうなツールやヒントがたくさん詰まっている。このページの内容を現場へしっかりと周知し、使えるものはどんどん使っていくのがよいと思う。
- ・ 神戸で関わっている小学校でもおはなし会をやっているが、司書は複数校かけ持ちで、時間が足りないとよく聞く。ボランティアの方が関わるのは読み聞かせの部分だけなので、やはり人的配置を整える必要があると感じた。
- ・ 高学年になるほど読書離れが進むのは、読書感想文等なんらかの宿題・課題が課せられ点も関連すると考えられる。読後に子どもたちに感想を聞くのが強制であってはならない。
- ・ 図書館ウェブサイトの学校司書のページには、多文化・多言語の絵本リストなども充実している。外国にルーツをもつ子どもたちへの取組は皆悩んでいる。そもそも、それぞれの国の文化を認め合うことが大事である。たとえばネパールの子どもに、ネパールではダサイン祭というお祭りがあり、竹で大きなブランコ「ピング」をつくる…というように、その国の文化に関することからアプローチするなど、本・活字にこだわらない工夫も必要かと思う。
- ・ 読書離れが進んでいることについて、小説などの読み物は1ページめくってもそれほど物語が展開しない。そのため退屈になり途中で面白くないとなってしまうことがあるのではないか。絵本はページをめ

くったら必ず新しい場面が展開する。それが楽しい。年齢にかかわらず、高学年でも絵本を読書の取つかかりにするのはとてもよいことだと考える。

- ・ 第5次計画策定に向けて、子どもの声を聞くとあったが、必ず自分の意見が言える、聞いてくれる人がいる、そういう場を設けることが大事である。そのような場があると、子どもたちはわくわく楽しくなる。わくわくは心の栄養であり、そこから次に、読書にもつながっていく。今日の取組報告にもそのような事例があがっている。取組事例を共有して、取り入れられるものをどんどん取り入れて、活用していくのがよい。

○ 大阪市PTA協議会研修委員長 栗野 由佳 氏

- ・ 学校協議会でも、本を読まない子が増えているとよく聞くが、学校現場ではGIGAスクールでタブレットの使用を推進し、教科書もデジタル化の動きがあり、頭ごなしに子どもたちに本を読めと言ってもなかなか難しいという印象がある。
- ・ 子どもも保護者も読書が大切だということはわかっていると思う。本を読んだらこういいことがあるということを説明し、読書の必要性を再認識してもらってから、じゃあちょっと読んでみようと思っていくのがよいのではないか。
- ・ 自分の子どもも、学校のカリキュラムで朝読があると聞いているが、どれだけ読んでいるかというのはわからない。学校図書館を利用する子は毎回同じメンバーだときいている。利用しない子に読書の必要性、楽しさを伝えることが大事である。
- ・ 本を読まない子は漫画も手に取らないと周りの保護者からも聞いたことがある。「歴史漫画って本当に歴史なんだ」「歴史漫画を読むと結構頭に入る」といったところから入ったり、アニメで放送しているものを紙媒体で読んだりすることでもよい。子どもに「漫画ばっかり読んで」と言うのではなく、本を読んでいると認める。そこから子どももさまざまな本に手を伸ばすようになる。保護者も巻き込んで、そういった循環なればよいのではと思う。

○ 大阪市PTA協議会広報情報推進委員長 山根 功揮 氏

- ・ 今のデジタル化の時代、SNSと対立するのではなく、共存を考えていく方がよい。読了タグをつけて読んだ本をシェアしたり、本の感想をシェアしたりすることから読書にも興味を持つ子が増えたらよいと思う。
- ・ 各家庭で夜5分、朝10分だけでも読む時間を作るとよいのだが、今は親が本を読まない。親への働きかけも非常に大事だと思う。親や教師が読書のモデルになるような動きがあればよいと感じる。
- ・ 物語だけではなく、漫画やノンフィクション、図解シリーズなども読書に含めることにしたら、子どもたちも読むようになると思う。特に漫画はダメとなりがちだが、いろんな種類の中から読めるようにする働きかけがあれば、変わっていくのではないか。

○ 大阪市生涯学習推進委員協議会会長 筒井 幹夫 氏

- ・ 小学校区の生涯学習ルームを運営し、取りまとめを行っている。私は、中学校の校長先生や高校の担任の先生から本を薦めてもらい、その影響で図書館によく行くようになった。機会があるごとに、図書館はいいよ、本はいいよということ、絵本や児童文学を読むことでどれだけ幅広い考え方になるかということを、大人が伝えなければならないと思っている。明日も、お母さんと赤ちゃんに絵本を読む機会があるのだが、赤ちゃんは本当に絵本に集中してくれる。自分の孫にも生まれたときから絵本を読んでいる。身近なところから地道に読書を薦めたり図書館の紹介をしたりすることで、お役に立てればと思っている。

○ 大阪市生涯学習推進委員協議会副会長 三好 浩美 氏

- ・ 小学校で子どもに関わる仕事をしている。低学年は本が好きで、2年生ぐらいまでは、「タブレットしてもいいよ」と言っても本を読む子の方が多い。学級文庫にもたくさん本があり、読んでいる子が多い。高学年になったら、何か調べるとなるとすぐにタブレットで、辞書が活用されていないのが残念である。私が小さい時には、調べるときは辞書を見て、1つの言葉を調べるつもりが周りの言葉が目に入り、いろんな言葉を覚えたり、語彙力を養ったりしたものである。今日の話を聞いて、子どもたちが本に親しむよう努力いただいていることを知り、大変うれしく思う。これからも、子どもたちが本に触れる機会を増やすように、お願いしたい。

■質疑応答

○質問(各区代表):

読書の定義について、今の子どもたちはコミックやアニメを見ている子が多い。『鬼滅の刃』や『キングダム』等、深い内容のものもある。それらを外して読書というのは、現在の小学生や中学生の実態と合わない。読書から漫画等を除外して計画を策定することはできないのではないか。

事務局(利用サービス担当課長):

「これは本ではない。読書ではない」と読書の幅を狭めることが、子どもを読書から遠ざけている側面もあると考える。全国学力・学習状況調査における読書に関する質問項目でも、電子書籍は含むが教科書や漫画は除くとされており、子どもたち自身が読書を狭くとらえてしまうということにつながっていると思う。

不読率が上がっていることを説明したが、現場の先生、特に小学校の先生からは、「子どもたちは本をよく読んでいる。本が好き。」という声を聞く。例えば、学校図書館の貸出冊数は伸び悩んでいても、学級文庫の本や校内の図書コーナーの本を読んでいることを、折に触れて先生方が報告してくださっている。第5次期計画では、このような現場の状況を正確に把握することに留意していきたい。

○質問(各区代表):

外国につながる子どもが増えているのを実感しており、訪問している幼稚園や保育所、小学校でもよく見かけるようになった。そういう子どもたちに、私たちボランティアがどのように本を紹介したらいい

かがわからない。地域の図書館には多言語の絵本もたくさんあるが、それを読み聞かせするノウハウやスキルがない。他の区の方はどのように取り組んでおられるのか、お聞きしたい。

事務局(生野図書館長)：

生野区には韓国・朝鮮にルーツを持つ方が住んでおられ、最近は中国やベトナム、ネパールなど、いろんなルーツを持つ方が増えている。生野図書館では「いろんなことばのおはなし会」を開催しているが、ボランティアグループにネイティブの方が何人かおられ、韓国・朝鮮語と日本語で読み聞かせをしたり、中国語や英語も含めて4言語でおはなし会をしたりしている。

最近のいろんなことばのおはなし会では、『はらぺこあおむし』を、日本語と韓国・朝鮮語で交互に読まれたのがとてもよかった。日本語以外の言語に長けた方にボランティアをお願いして一緒に活動するのもよいかと思う。

区内の小学校から、〇〇語を話す子が転校してきたので、その言語の本があるか、ということをよく聞かれるようになった。生野図書館には韓国・朝鮮語の本は多いがそれ以外は少ないので、中央図書館から取り寄せて対応している。学校から、その児童がとても喜んでいた聞いて、自分とつながりのある言語で本を読む、文化にふれるということが大事だと実感している。

助言者(大阪市生涯学習推進委員協議会会长 筒井氏)：

私も生野区だが、本当にいろいろな国の方がおられ、最近は特にベトナムの方が多い。この前、『だるまさんが』という絵本の、「ぶしゅー」とか「ぶっ」とか、本文に出てくる言葉をベトナム語で教えていただき、みんなで読んでみようということをやつたら、けっこう興味を持ってくれて、楽しんでもらえた。統廃合された御幸森小学校跡地の「いくのパーク」で、NPOの「IKUNO・多文化ふらっと」と一緒に多言語で絵本を読む取り組みを行っている。

事務局(利用サービス担当課長)：

多言語・多文化については直面している課題の一つであり、昨年、一昨年とこの連絡会の事例報告で採りあげている。報告書を図書館ウェブサイトに掲載しているので、ぜひご参照いただきたい。来日した子どもの言語をすべてカバーするのは難しいが、例えば、留学生のみなさんに読み手になってもらうイベントを行い、そこから留学生のみなさんと地域とのつながりに結び付けていくといった試みを行っている地域図書館もある。その地域にどういったリソースがあるか、行政のいろいろなネットワークを活用して把握することもできると思う。計画を進めるなかで、そのような事例をたくさん紹介しながら解決できるようにしたい。

自分自身の経験として、海外で幼稚園の先生に読み聞かせを指導したことがあるが、その国の言葉でなくても、日本語でゆっくり丁寧に読めば伝わるという体験をした。絵本は、耳から入ってくる言葉の情報と、そこに広がる絵の情報が組み合わさっているので、子どもたちは状況に応じて理解できるという部分もあるのではと思う。多言語・多文化については、母語・母文化を保証していくことと、日本語の習得を促進していくことの、大きく2つの側面があると思う。日本語のオーソドックスな本を、ゆっくり、丁寧に読み聞かせるということも実践されてはいかがか。

○総括的に

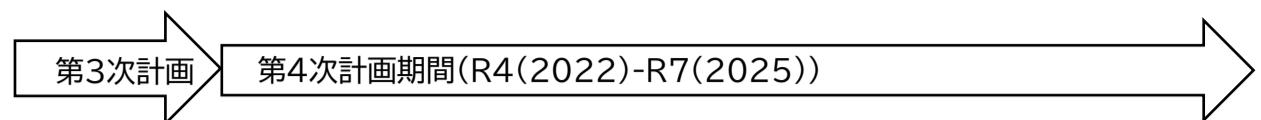
事務局(利用サービス担当課長)：

貴重なご意見をたくさん頂戴した。計画にできるだけ盛り込んで、計画本文を読むことで「読書っていいなあ」と思うきっかけとなるような計画にしなければと強く思った。

読書の幅を狭めないという指摘が、参加者からも助言者からもあったが、それに関連して中央図書館の取組をご紹介したい。令和7年1月から、1階こどもの本コーナーの中に「しらべものへのとびら」というスペースを新たに設けた。人気の本は貸出中のことが多く、せっかく図書館に来ても目当ての本を読めないといった状況があることから、学習漫画や図鑑など、子どもたちが興味を示しやすい本を禁帯出(館内閲覧用)として備え付けている。ポップな色の家具を置くなどして子どもの気を引き、読書のきっかけにしてほしいという思いを込めている。これは企業との連携(株式会社辰巳商会の協賛)で実施している。このスペースで興味関心が広がれば、ほかの棚の本も読みたくなるといった発展に期待している。

ただ、こうすれば大丈夫といった一通りの正解があるのでないわけではなくので、次期計画も「こうあるべき」ということに縛られず、こんなやり方もあるよ、こんな進め方もあるよということを感じていただけるような内容にすべきだと改めて感じた。引き続きご助力いただけるようお願いしたい。

令和6年度「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」の実施状況(取組目標・指標)



取組目標・指標	各年度実績値						令和7年度 目標値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
「学校の授業時間以外に普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間読書をしますか(教科書や参考書 漫画や雑誌は除く)」に対して「読書を全くしない」と回答する児童・生徒の割合【全国学力・学習状況調査】※令和6年度は【大阪市小学校学力経年調査、中学校アンケート】	小	29.9% [参考:全国 24.0%]	32.5% [参考:全国 26.3%]	30.5% [参考:全国 24.5%]	32.8% ※	34.4% [参考:全国 29.2%]	23.5%
	中	49.1% [参考:全国 37.4%]	51.1% [参考:全国 39.0%]	48.4% [参考:全国 36.8%]	42.4% ※	49.6% [参考:全国 41.8%]	44.0%
「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合【大阪市小学校学力経年調査】		72.5% (令和2年度実績)	74.5%	74.0%	72.9%		76.5%
学校図書館貸出冊数 (児童生徒1人当たり年間貸出冊数)	小	29冊 (令和元年度実績)	32冊	32.2冊	33.1冊		38冊
	中	3冊 (令和元年度実績)	2.8冊	2.7冊	2.8冊		6冊
「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して「月に数回程度以上」と回答する学校の割合【大阪市小学校学力経年調査】		69.7% (令和2年度実績)	69.8%	69.6%	81.4%		80.0%
市立図書館児童書の貸出冊数		2,716,230冊	3,327,318冊	3,222,665冊	2,987,814冊		300万冊
市立図書館7-12歳(小)、13-15歳(中)の利用者数	小	15,815名	18,106名	17,707名	16,770名		16,800名
	中	4,386名	4,405名	4,208名	4,003名		4,800名
子育て支援施設等への配本回数		426回	439回	439回	436回		430回
市立図書館と学校との連携事業回数		1,934回	3,090回	3,661回	3,536回		2,100回
市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数		84,499冊	97,341冊	82,348冊	65,639冊		10万冊
市立図書館「子どものページ」「ティーンズのページ」アクセス数		26,767件	30,692件	20,675件	22,144件		28,000件
読書活動支援ボランティア数		2,380名	2,478名	2,509名	2,419名		2,500名
市立図書館と区役所等との連携事業回数		946回	1,576回	1,659回	1,474件		1,200回
子どもの読書活動推進 連絡会(全市、区)		年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回開催		年1回以上

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和6年度実施状況および令和7年度計画

[資料2]

取組	取組内容(R4~R7年度)	担当	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画
1 子どもの読書環境の整備・充実				
(1) 家庭・地域を中心とした読書活動の推進				
① 乳幼児期における読書活動の推進				
1(1)①	子育て支援施設でのブックスタート事業の実施	乳幼児健診時の読み聞かせ等ブックスタート事業啓発の推進	区役所・こども青少年局・市立図書館	全区でブックスタート事業の実施
		ブックスタートボランティア講座の実施	区役所・こども青少年局・市立図書館	ブックスタートボランティア講座の実施
		ブックスタートボランティアへの支援	区役所・こども青少年局・市立図書館	乳幼児向け絵本リスト提供およびブックスタート用絵本の貸出
	子育て支援施設での読書活動の推進	施設での絵本など図書の設置・読み聞かせの実施など読書環境の整備	こども青少年局・市立図書館	子育て支援施設での絵本など図書の設置 子育て支援施設と市立図書館との連携による読書活動の実施
		施設職員への情報提供	こども青少年局・市立図書館	各施設への図書館だよりや行事チラシ等配布による情報提供
	保護者を中心とした大人への啓発	保護者対象の読み聞かせ講座の実施	区役所・市立図書館・生涯学習部	出前講座等、保護者に向けた絵本をテーマとする参加型・体験型講座58回実施
		保護者当を対象とした情報提供	区役所・市立図書館・生涯学習部	各施設への図書館だよりや行事チラシ等設置による情報提供 「親力アップサイト」による情報提供 アクセス数: 6,430件 各施設への図書館だよりや行事チラシ等設置による情報提供 「親力アップサイト」による情報提供 アクセス数目標値: 5,700件
1(1)②	市立図書館全館の子育て支援情報コーナーの充実	区役所、幼稚園、保育所、子育て支援施設等の子育てに役立つ情報の提供	市立図書館	全館で子育て支援コーナーで継続設置
		区役所の子育て支援広報紙・子育て支援施設の行事案内等の配布	市立図書館	子育て支援コーナー等での子育て支援関連広報設置
	② 就学前施設における読書活動の推進			
1(1)②	幼稚園、保育所、認定こども園等就学前施設での読書活動の推進	絵本など図書の設置・読み聞かせの実施など読書環境の整備	指導部・こども青少年局・市立図書館	幼稚園での、絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言により、幼児の絵本への興味や関心が高まる。 読み聞かせ、配本等、市立図書館との連携による読書活動の状況把握により、現状に対する指導につながる。 保育所、幼稚園等での絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言
		保護者への情報提供	指導部・こども青少年局・市立図書館	各施設への行事チラシや絵本リスト配布による情報提供
		教職員・保育士への情報提供・研修実施	指導部・こども青少年局・市立図書館	保育・幼児教育センターでの研修実施、絵本など図書の設置

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和6年度実施状況および令和7年度計画

[資料2]

取組	取組内容(R4~R7年度)	担当	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画
(2) 学校における読書活動の推進				
1(2) 学校図書館の環境整備	大阪市図書標準の全小中学校での維持	学校・市立図書館	全校100%達成を維持	全校100%達成を維持
	調べ学習に役立つ蔵書の充実	学校・市立図書館	蔵書構成の充実に向けた取組を実施	継続実施
	学校司書の配置	学校・市立図書館	全小中学校及び義務教育学校に学校司書を配置うち、24校には週4日30時間1校専任の主幹学校司書を配置。また、25学級以上の大規模校11校に1日加配。それ以外は、週1日6時間で一人の学校司書が2~3校を兼任する。	継続実施
1(2) 学校図書館を活用した教育の推進	調べ学習や読書活動推進のための教員研修	学校・指導部・市立図書館	学校図書館入門講習等、教員研修の実施	継続実施
	ポータルサイト等を通じた情報提供の実施	学校・指導部・市立図書館	選書に役立つリスト等、SKIPポータルへの情報提供	継続実施
	総合的読解力の育成に向けた取組の推進	学校・指導部・市立図書館	総合的読解力育成のためのカリキュラム作成	継続実施
1(2) 読書に親しむ児童生徒の育成	一斉読書(朝の読書など)、ビブリオバトル、読書週間の行事など読書のきっかけとなる催し等の開催	学校	一斉読書、ビブリオバトル、読書週間の行事などの実施	継続実施
1(2) 学校図書館支援ボランティアへの支援	ボランティア募集に対する支援	市立図書館・区役所	各区広報等での学校図書館支援ボランティア募集記事等掲載	各区の状況に応じて継続実施
	学校図書館支援ボランティア向けの入門講座、ステップアップ講座等、知識・技術・意欲向上に向けた講座の開催	市立図書館・区役所	学校図書館支援ボランティア講座実施回数12回	継続実施
(3) 市立図書館における読書活動の推進				
① 図書館利用者へのサービス				
1(3)① 児童書の充実	蔵書の豊富化	市立図書館	市立図書館児童書蔵書冊数1,010,120冊	継続実施
	調べ学習用図書の充実	市立図書館	調べ学習支援等の児童図書を継続整備(購入受入:373冊 前年度比9.68%減)	継続実施
	子どもたちに親しまれる絵本や読み物の購入・更新	市立図書館	市立図書館児童書年間購入冊数27,729冊	継続実施
	ふるさと寄附金の活用による児童図書整備	市立図書館	4,279,000円(前年比747%増)	ふるさと寄附金の募集広報

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和6年度実施状況および令和7年度計画

[資料2]

取組	取組内容(R4~R7年度)	担当	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画
1(3)(1)	親しみやすく利用しやすい館内づくり	館内サインや掲示物等の見直し	市立図書館	わかりやすい館内サイン、掲示の維持
		図書展示の工夫	市立図書館	子ども向け図書展示の全館実施
		読書相談の広報ポスター作成・掲示	市立図書館	読書相談の広報ポスター作成・掲示
	地域資料・地域の情報の収集・発信	「としょかんポイントプログラム」での大阪の歴史や文化にふれるクイズの実施	市立図書館	としょかんポイントプログラム参加者数(15歳以下)2,862人(前年度比13.9%減) 「としょかんポイント」は新システムへの移行に伴い令和6年度をもって終了。後継の取組を検討・実施予定。
	ICTの活用	商用データベースや電子書籍など子どもが利用できる電子図書館機能の活用推進	市立図書館	市立図書館ホームページや商用データベース、電子書籍等を活用した「としょかんポイントクイズ」2回実施 「としょかんポイント」は新システムへの移行に伴い令和6年度をもって終了。後継の取組を検討・実施予定。
		電子書籍サービスで提供している英文児童書の活用推進	市立図書館	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供 継続実施
	乳幼児向けサービス	乳幼児向け催しの実施	市立図書館	全館で実施 継続実施
		乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする展示の充実	市立図書館	全館で実施 継続実施
	小学生に向けたサービス	小学校高学年向けの行事等の充実	市立図書館	小学校高学年向け事業の全館実施 継続実施
		「としょかんポイントプログラム」での大阪の歴史や「こどものページ」「子どもにすすめる本」のページの充実	市立図書館	「こどものページ」アクセス件数15,740件、「子どもにすすめる本」アクセス件数10,521件 継続実施
		「としょかんポイントプログラム」実施による読書推進	市立図書館	としょかんポイントプログラム参加者数(15歳以下)2,862人(前年度比13.9%減) 「としょかんポイント」は新システムへの移行に伴い令和6年度をもって終了。後継の取組を検討・実施予定。
中高生を中心とした若年層に向けたサービス	ティーンズ向けコーナーの利用促進	市立図書館	各種催しや企画展の開催、りんご通信の発行	継続実施
	ティーンズ向けコーナーの催しや企画展の実施	市立図書館	ティーンズ層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催	継続実施
	市立図書館Wi-Fi環境の利用促進	市立図書館	市立図書館Wi-Fi環境周知掲示	継続実施
	電子図書館機能の利用促進	市立図書館	としょかんポイントプログラム参加者数(15歳以下)2,862人(前年度比13.9%減)	継続実施
	「ティーンズのページ」の充実	市立図書館	「ティーンズのページ」アクセス件数6,404件	継続実施

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和6年度実施状況および令和7年度計画

[資料2]

取組	取組内容(R4~R7年度)	担当	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画
二 1(3)①	障がいのある子どもへのサービス	子ども向けの点字図書、録音図書、LLブック、拡大図書(大活字本)、デイジー図書の提供充実	市立図書館	LLブック 817点(前年度比25点増)、マルチメディアデイジー948点(大人向け含む)(前年度比348点増)
		支援が必要な子どもや読書バリアフリー資料に関する広報・啓発	市立図書館	読書体験会、製作講習会など10回、参加者数367人、読書バリアフリー啓発展示5回
	外国につながる子どもへのサービス	子ども向け外国語資料の充実および利用促進	市立図書館	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供
		外国語の絵本等を活用した催しの実施	市立図書館	外国語の絵本等を活用した行事実施35回
		外国につながる住民に向けた市立図書館サービス利用案内の継続	市立図書館	外国につながる住民に向けた市立図書館サービス利用案内実施
		電子書籍の英文児童書リストの作成・提供	市立図書館	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供
		外国語ページ・やさしいにほんごのページの充実	市立図書館	外国語資料ページのアクセス件数3,065件(前年度比21.1%減)やさしいにほんごのページのアクセス件数13,844件(前年度比8.5%減)
		学校等に向けた外国語資料の団体貸出についての周知・活用促進	市立図書館	外国語資料の団体貸出冊数45件、1,313冊
② 図書館外へのサービス(アウトリーチサービス)				
1(3)②	自動車文庫の運行、読書普及	自動車文庫の運行、利用促進に向けた広報活動	市立図書館	自動車文庫車での1日当たりの児童書貸出冊数502冊(前年度比5.3%減) 友渕小学校でのまちかど号の紹介、一日図書館員の実施
		ステーションでのおたのしみ会や図書の展示等、読書普及活動の実施	市立図書館	ステーションでのおはなし会3回実施
	幼稚園・保育所・子育て支援施設等との連携・支援	市立図書館から幼稚園・保育所・子育て支援施設等への配本回数維持	市立図書館	子育て支援施設や幼稚園・保育所等への配本回数436回(前年度3回減)
		幼稚園・保育所・子育て支援施設等での絵本の読み聞かせなど読書活動支援ボランティア派遣	市立図書館	ボランティア派遣回数1,782回(前年度255回増)
	学校との連携・支援	市立図書館から小・中学校への学校通送を利用した団体貸出の活用による調べ学習・一斉読書支援の周知	市立図書館	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布
		市立図書館の図書やICTを活用した調べ学習に役立つガイド(中学校向け)の提供	市立図書館	電子書籍を活用したティーンズ向けのガイド提供
		学校園における一部商用データベースの設置・周知	市立図書館	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布
		大阪市立の小中学校専用電子書籍ページ設置・周知	市立図書館	大阪市立の小中学校専用電子書籍ページ設置・全小中学校への周知

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和6年度実施状況および令和7年度計画

[資料2]

取組	取組内容(R4~R7年度)	担当	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	
1(3)(2)	学校との連携・支援	「市立図書館活用の手引き」の全校配布	市立図書館	概要を作成して、SKIPポータル書庫に格納し、同連絡掲示板にて全校周知	
		ホームページ「学校支援のページ」の充実	市立図書館	学校支援のページアクセス件数7,092件(前年度比8.5%減)	
		市立図書館見学、体験学習受入、おはなし会・ブックトークなどの実施	市立図書館	図書館見学、職場体験、図書館主任会への参加等、連携事業の実施数3,536件(前年度比3.4%減)	
		図書主任会への出席など、学校図書館の運営面への支援	市立図書館	図書館主任会への参加、図書リスト等の情報提供、学校図書館リニューアルや新設校への支援	
		小・中学校の学校図書館の選書支援	市立図書館	蔵書構成の充実に向けた取組のための選書リストの提供、新刊案内を毎月発行、大阪市学校図書館基本図書リストの作成	
	読書活動支援ボランティアとの連携・協力	幼児期読書活動支援ボランティア養成講座の実施	市立図書館・読書活動支援ボランティア	入門講座6回(総合生涯学習センター実施分を含む)292人(前年度5回・214人)	
		ボランティアステップアップ講座の実施	市立図書館・読書活動支援ボランティア	ステップアップ講座3回・117人(前年度3回・261人)	
	読書活動支援ボランティアとの連携・協力	すべての区で交流会や情報交換会を実施	市立図書館・読書活動支援ボランティア	情報交換会の実施	
		ボランティアページの充実、利用促進	市立図書館・読書活動支援ボランティア	ボランティアページのアクセス件数4,837件(前年度比10.3%減)	
		一人一人の子どもの多様性に応じた対応についての情報提供	市立図書館・読書活動支援ボランティア	発達段階に応じた図書リストの提供、多言語の絵本リストの提供、「いろんなことばのおはなし会」実施	
2 子どもの読書活動に関する普及・啓発					
(1) 普及・啓発事業					
2(1)	子ども読書の日記念事業	市立図書館全館で子ども読書の日記念事業の実施	市立図書館	市立図書館全館で実施 総参加者数757人	
	大阪市図書館フェスティバル	市立図書館全館で大阪市図書館フェスティバルの実施	市立図書館	市立図書館全館で実施(10/12-11/23) 総参加者数4,277人	
	One Book One OSAKA	読書活動支援ボランティアを中心として市立図書館、大阪府立中央図書館との協働による「One Book One OSAKA」の実施	読書活動支援ボランティア・市立図書館・大阪府立中央図書館等	第9回One Book One OSAKA投票結果周知	
		One Book One OSAKA関連イベント等読書普及活動の実施	読書活動支援ボランティア・市立図書館・大阪府立中央図書館等	各図書館や連携先での関連展示・イベントの実施	

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和6年度実施状況および令和7年度計画

[資料2]

取組		取組内容(R4~R7年度)	担当	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画
2(1)	子どものほんだな	子どものほんだな作成・配布	市立図書館	「子どものほんだな2024」作成、配布	継続実施
		子どものほんだなリストのオープンデータ公開	市立図書館	データセットを公開 大阪市LINEアカウントで「子どものほんだな」コンテストを継続発信	継続実施
(2) 効果的な広報					
2(2)	紙媒体による広報活動	「子どものためのイベント+施設ガイド『タッチ』」の発行、市内全小学生への配布	生涯学習部・市立図書館	7月と3月の年2回 各20万部発行	7月と3月の年2回発行(オンラインマガジンをいちょうネットへ掲載) 案内チラシの配布
		大阪市生涯学習情報誌「いちょう並木」への市立図書館の情報掲載	生涯学習部・市立図書館	年11回 2万5千部発行	年11回 1万8千部発行 毎月号に掲出
		各区広報紙への情報提供	市立図書館	市立図書館全館で実施	継続実施
	ホームページを活用した広報活動	市立図書館ホームページ内容の豊富化	市立図書館	「子どものページ」、「子どもにすすめる本」、「ティーンズのページ」定期更新	継続実施
		市立図書館「新着おしらせメール」の周知など活用促進・いちょうネットでの情報発信	市立図書館	子ども向け行事等情報発信	継続実施
	SNSを使った情報発信	Twitter・Facebook等SNSを使った情報発信	市立図書館	X(旧Twitter)発信件数884件(前年度比1.9%減)、Facebook発信件数145件(前年度比8.2%増)	継続実施
3 人と本、人と人をつなぐ場の拡大					
(1) 区役所や地域施設を核とした家庭・地域・市立図書館の連携協力					
3(1)	区役所・子育て支援施設・市立図書館の連携・協力	子育て支援施設でのブックスタート事業の実施	実施施設と市立図書館の連携・協力	区役所・子ども青少年局・市立図書館 ブックスタート事業の実施	継続実施
		子どもの読書や施設の読書活動に関する情報提供	区役所・子ども青少年局・市立図書館	読書普及行事等の情報提供	継続実施
		子育て支援事業等、区における子供の読書活動の取組での連携・協力	区役所・子ども青少年局・市立図書館	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施 (資料7参照)	継続実施
		市立図書館と連携・協力した読書普及・啓発活動の実施	区役所・子ども青少年局・市立図書館	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施 (資料7参照)	継続実施
		区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置	区役所・子ども青少年局・市立図書館	区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置	継続実施
	生涯学習関係事業での連携・協力	生涯学習施設での読書活動支援の催し等の実施	生涯学習部・市立図書館	市民学習センター等でのネットワーク型市民セミナー「図書ボランティア入門講座」など全6回講座ほか、連携・協力の実施	市民学習センター等でのネットワーク型市民セミナー「図書ボランティア入門講座」等実施
		市立図書館と連携・協力した生涯学習事業の実施	生涯学習部・市立図書館	「子どもと保護者でいっしょに学ぶ読書感想文の書き方講座」の実施 「子育ての悩みや不安が解消・軽減した」と回答した参加者の割合92.3%	「子どもと保護者でいっしょに学ぶ読書感想文の書き方講座」の実施 「子育ての悩みや不安が解消・軽減した」と回答する参加者の割合(目標値)80%

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和6年度実施状況および令和7年度計画

[資料2]

取組	取組内容(R4~R7年度)	担当	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	
3(1) 地域の企業や団体・機関との連携	市立図書館と地域の企業や大学・団体・機関等との連携による子どもの読書活動の実施	市立図書館	市立図書館と地域の企業や大学・団体・機関等との連携による子どもの読書活動の実施	継続実施	
	「こども本の森中之島」での読書活動推進	「こども本の森中之島」での絵本など図書の設置・読み聞かせ等の催しの実施など読書環境の整備	経済戦略局	<p>本の森おはなし会として、スタッフにより読み聞かせを年333回、こども6,746人、大人5,945人に行った。その他、自主事業として季節毎の事業を多数おこなった。 蔵書として21,498冊所蔵。 (資料6参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に多くの芸術文化に触れる機会を与え、子どもの想像力や好奇心を育む施設として、今まで以上に来館いただけるよう集客を推進する。 ・本にふれる機会の拡充のため、晴天時に外で本が読め、予約者のみでなくだれでも利用が可能な「ほんのもりピクニック」を引き続き実施する。 ・大阪・関西万博期間中の運営について、毎週土曜日・日曜日と最終日10月13日に特別夜間開館(17:30-19:00)を実施する。 ・大阪・関西万博の開催に伴い、日本各地や海外からの来館者を当館へ誘致する取り組みを進める。 	
(2) 学校を核とした家庭・地域・市立図書館の連携・協力					
3(2) △	小学校区のはぐくみネット事業、中学校区の元気アップ地域本部事業等における読書活動の連携・協力	ボランティアに対する支援	学校・区役所・生涯学習部・指導部・市立図書館	はぐくみネットでの活動で学校支援ボランティアにおいて読書活動支援に1400人を超えて取り組む。全市では、人材育成や学校との連携が共通の課題。	
	児童いきいき放課後事業における連携・協力	児童いきいき放課後事業における読書活動への支援での連携・協力	学校・こども青少年局・教育委員会事務局・区役所・市立図書館	いきいき活動における学校図書館の活用の推進及び中央図書館からおすすめ本リストの提供をうけ図書購入を行うなど、いきいき活動室の読書環境充実の取組実施。学校図書館の活用の推進	引き続き、いきいき活動における学校図書館の活用の推進及び中央図書館からおすすめ本リストの提供をうけ図書購入を行うなど、いきいき活動室の読書環境充実の取組を実施する。
	学校図書館を活用した読書活動支援	図書ボランティア講座の実施	学校・指導部・市立図書館	学校図書館ボランティア講座実施回数12回	学校図書館支援ボランティアの支援、学校図書館支援ボランティアに対する講座の実施
		ボランティアによるおはなし会の開催や情報共有など連携の強化	学校・指導部・市立図書館	読書活動支援ボランティアによるおはなし会の開催 学校図書館活用状況調査結果の共有	継続実施
(3) 地域・市民を軸とした読書活動の輪の形成					
3(3)	子どもの読書を支える施設・団体のネットワークづくり	子どもの読書活動推進連絡会の実施	市立図書館・生涯学習部・こども青少年局・区役所等	「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」を9/3に開催、全区で「子どもの読書活動推進連絡会」を開催(集合または書面形式)	継続実施

子どものためのイベントガイド オンラインマガジン

タッチ

令和7(2025)年 夏号 7/10 木 公開

夏休み期間中の大阪市内での
イベント情報が盛りだくさん！！



閲覧方法

●スマートフォン・タブレットから見る

右の二次元コードをカメラで読み取り
オンラインマガジンへ
アクセスしてください



●パソコンから見る

①いちょうネット（大阪市生涯学習情報提供システム）へ
アクセスします
<https://www.manabi.city.osaka.lg.jp>

②子ども向け情報より「子ども向けイベントガイド」を
クリックします

③タッチのオンラインマガジンが表示されます

※今回より冊子での配布はなくなり、オンラインマガジンでの発行となります

タッチ
についての
お問合せ

►大阪市教育委員会 生涯学習担当

〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-3-2 市立中央図書館 4 階 TEL 6539-3345 FAX 6532-8520

►大阪市立総合生涯学習センター（指定管理者：一般財団法人大阪教育文化振興財団）

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500

夏
2025
令和7年

子どものためのイベントガイド



タッチ

Touch

7/10▶8/31

タッチの情報の探し方

ジャンルで探す

イベント情報は内容によってジャンルごとにわかれています。

自然・科学にタッチ	2
くらし・環境・スポーツにタッチ	2~4
歴史・文化にタッチ	4
絵画・工作・音楽にタッチ	4~6
映画・舞台にタッチ	6~7
その他のイベントにタッチ	7~8
キッズプラザ大阪のイベント	9
図書館のイベント	10~12

場所で探す

13~15ページの「問合せ・申込先一覧」
で各施設・部署ごとの「掲載イベント番号」
をみてね。



⌚ 日時 🏠 会場 ¥ 料金 🎯 対象 🚪 定員 📝 申込 ✖〆切 🚶 交通

掲載の各事業やイベント等については、主催者の判断により変更または中止、延期される場合があります。
開催の有無等につきましては、各申し込み先にお問い合わせをいただきますようお願いします。

図書館のイベントにタッチ

中央図書館

📞 06-6539-3301 📩 Osaka Metro「西長堀」
📠 06-6539-3335

まじょ魔女のわくわく绘本塾

夏の工作と一緒に楽しみましょう。绘本の読み聞かせもあります。

- ⌚ ③ 8/6(水)13:00~15:00
- 📍 中央図書館 5階中会議室
- ¥ 500円(材料費)
- 🎯 小学生、幼児と保護者
- 📅 事前申込先着30人
- 📞 電話、来館
- 📅 7/31(木)
- ※ 7/16(水)9:15から申込受付開始

北図書館

📞 06-6375-0410 📩 Osaka Metro「天神橋筋六丁目」
📠 06-6371-3177 📩 大阪シティバス「天神橋六丁目」

キッズスマイルブックのえほんのじかん

ボランティアグループ「キッズスマイルブック」のみなさんによる绘本や紙芝居の読み聞かせをします。

- ⌚ ② 7/19(土)11:00~11:30 ② 8/16(土)11:00~11:30
- 📍 北図書館 2階読書室
- ¥ 無料
- 🎯 小学生、幼児と保護者
- 📅 当日先着10組

都島図書館

📞 06-6354-3229 📩 大阪シティバス「都島区役所前」
📠 06-6354-7822

えほんのじかん＆なつやすみスタンプラリー

毎週水曜日は、绘本やパネルシアターなどを楽しむえほんのじかんがあります。夏休みの間は、えほんのじかんに参加して、参加スタンプを集めるスタンプラリーもするよ!たくさん参加してね。

- ⌚ ① 7/23(水) ② 7/30(水) ③ 8/6(水) ④ 8/13(水)
⑤ 8/20(水) 15:30~16:00
- 📍 都島図書館 絵本コーナー
- ¥ 無料
- 🎯 小学生、幼児と保護者
- 📅 当日先着25人

福島図書館

📞 06-6468-2336 📩 Osaka Metro「野田阪神」、
📍 JR「野田」「海老江」 大阪シティバス「福島区役所前」

夏休み環境工作教室ペットボトルでおもちゃをつくろう!“ペットでキャッチ”

環境やごみに関するお話を聞いたあと、ピンポン玉を飛ばしたりキャッチしたり、楽しいおもちゃをペットボトルで作ります!(協力:西北環境事業センター)

- ⌚ 8/5(火)10:15~11:30
- 📍 NORBDENCE福島区民センター会議室
- ¥ 無料
- 🎯 小学生、幼稚(5歳以上) 幼児は保護者同伴
- 📅 事前申込先着20人
- 📞 電話、来館
- 📅 8/3(日)17:00
- ※持ち物:作ったおもちゃをデコレーションするためのマスキングテープ、シールなど
- ※ペットボトル等は図書館で用意します

此花図書館

📞 06-6463-3463 📩 阪神「千鳥橋駅」
📠 06-6463-9688 📩 大阪シティバス「千鳥橋」

此花おやこ劇場のおはなし会こうさく会

えほんを2、3つよんでから、かんたんな工作あそびをします。ざいりょうはとしょかんでようします。みんなでね。

- ⌚ ④ 8/2(土)11:00~11:30
- 📍 此花図書館 絵本コーナー
- 🎯 小学生、幼児と保護者
- ¥ 無料
- 📅 当日先着15人

島之内図書館

📞 06-6211-3645 📩 Osaka Metro「長堀橋」
📠 06-6212-5449

おたのしみ会

繪本の読み聞かせや紙芝居を読んだり、手遊びなどをします。

- ⌚ ① 7/16(水) ② 7/23(水) ③ 7/30(水) ④ 8/6(水) ⑤ 8/13(水)
⑥ 8/20(水) 15:30~16:00
- 📍 島之内図書館 多目的室
- ¥ 無料
- 🎯 小学生、幼児と保護者
- 📅 当日先着20人

港図書館

📞 06-6576-2346 📩 Osaka Metro「弁天町」
📠 06-6571-7915

川だいすき 一川とむしのおはなし

写真や標本を見ながら、おはなしを聞いて、川と虫や生き物の関係について考えてみましょう。

- ⌚ ③ 7/27(日)14:00~15:00
- 📍 港図書館 多目的室(港区土地区画整理記念・交流会館5階)
- ¥ 無料
- 🎯 小学生から大人まで
- 📅 当日先着20人

大正図書館

📞 06-6552-1116 📩 大阪シティバス「大正区役所前」
📠 06-6551-9362

どうようおたのしみ会

繪本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター やおはなし(ストーリーテリング)などを、いつしょに楽しみましょう!

- ⌚ ① 7/19(土) ② 7/26(土) ③ 8/2(土) ④ 8/9(土) ⑤ 8/16(土)
14:00~14:30
- 📍 大正図書館 おはなしの部屋
- ¥ 無料
- 🎯 小学生、幼児とその保護者
- 📅 当日先着10名



⌚ 日時 🏠 会場 ¥ 料金 🎯 対象 🚪 定員 📝 申込 ✖〆切 🚶 交通

中央図書館・学校図書館支援グループ

「学校図書館活用推進事業」について

「学校図書館活用推進事業」は、平成 27 年度から、学校図書館補助員等の配置や学校図書館の蔵書の充実に向けた取組を行い、明るく、使いやすい学校図書館へと環境改善されてきた。令和 4 年度からは、整備された学校図書館を活用した教育活動の充実に向けて、学校図書館補助員にかえて、学校司書等を配置している。

事務局機能は、中央図書館地域サービス担当学校図書館支援グループが担い、教育委員会事務局指導部ほか関係部署間での総合調整機能を担う「学校図書館活用推進ワーキンググループ」において、事業の進捗管理を行っている。

さらに、区役所と連携し、学校司書配置計画の策定やボランティア募集などを進めている。

令和 6 年度 事業実施体制

事務局・中央図書館・地域サービス担当（学校図書館支援グループ）

地域サービス担当課長、地域サービス担当課長代理、担当係長、司書

事務職員（会計年度任用職員）

総括指導主事(兼任・指導部総括指導主事)

担当係長(兼任・生涯学習部担当係長)

学校図書館コーディネーター（会計年度任用職員） 各教育ブロックに 1 名（計 4 名）

学校司書（162 名 2～3 校兼任）

主幹学校司書（24 名 1 校専任）（いずれも会計年度任用職員）

令和 6 年度の主な取組み

●学校司書の配置

学校司書を全小中学校及び義務教育学校に配置し、選書等の蔵書管理や、調べ学習支援、学校図書館の環境整備等に従事している。1人の学校司書が2～3校兼任し、各校週1回6時間勤務している。令和 5 年度からは、25 学級以上の学校 11 校に 1 日加配した。これら 11 校には、同じ学校司書が週 2 回 12 時間勤務している。また、24 校（田島南小中一貫校を含む）には、1 校専任で、週 4 日 30 時間勤務の主幹学校司書を配置した。主幹学校司書は、学校図書館運営業務ほか、業務で得られた実践事例やノウハウを他の学校と共有し、他の学校の学校図書館の改善につなげる役割も担っている。

また、「学校図書館コーディネーター」を中央図書館に 4 名配置し、学校司書の支援や学校図書館活用事例の収集・周知などを行っている。

●蔵書構成充実に向けた取組

指導部と学校運営支援センター、中央図書館の連携のもと、「学校図書館の蔵書構成の充実に向けた取組み」を行った。中央図書館から、分野別蔵書比率の分析シートと、選書のための図書リストを学校に提供し、学校司書が蔵書比率の分析と選書案を学校に提案した。その提案をもとに、

学校が申請した、充実が必要な分野の図書を整備するために必要な図書購入予算を措置した。

●学校図書館支援ボランティアへの支援

小学校の学校図書館支援ボランティア、中学校での学校元気アップボランティアの協力を得て、地域協働による学校図書館活性化を進めている。令和6年度のボランティア総数はのべ2,612人を数え、令和5年度より増加した。ボランティアが0人の学校の割合も減少しており、学校におけるボランティア活動が徐々に活発化していることがうかがえる。各市立図書館でのボランティア講座を12回実施するなど、支援に努めた。

●その他

- ・8月23日に教員向けに「学校図書館入門講習」を開催した。32校33名の参加があった。
- ・大阪市小学校教育研究会学校図書館部・大阪市立中学校教育研究会教育メディア部、こども青少年局の児童いきいき放課後事業等、関連部署とは継続して情報交換を行い、連携を図った。

令和6年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(令和7年4月1日現在)

[資料5-1]

	主催事業(実施件数)※1			区役所等主催行事への協力・参加(実施件数)				子ども読書の日記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)		
	絵本の読み聞かせ(含ストーリーテリング、紙芝居)	乳幼児向けおたのしみ会	その他(人形劇、工作教室など)	乳幼児健診時の読み聞かせ	区役所等主催のイベントでの読み聞かせ	絵本展	その他(講座、催し、図書貸出など)	内容	参加者数	内容	参加者数	
中央 (西区)	144	22	10	0	1	0	2	竹とんぼとキャロットクラブの春のおたのしみ会 4/29	53	わくわく絵本キッズスマイルブックとえほんであそぼ！ 10/13	38	
								絵本作家×自然史博物館学芸員 トークイベント ~ちいさなかがくのとも		布の絵本ひろば 10/15	44	
								『みちてはひいて』のイラストレーションができるまで～ 5/3	102	ユニバーサルおはなし会＆読書体験会 10/19	18	
								えほんのじかん 5/10 (自動車文庫)	11	「おはなしたのしいでえ！in大阪」フェスティバル 11/9・10	1,828	
										きみとわたしの「このりんごは〇〇かもしれない」 11/17	28	
										移動図書館＆えほんのじかん in 田島公園 10/27	15	
										えほんのじかん 11/9 (自動車文庫)	16	
北	38	7	3	0	0	4	1	春のおたのしみ会 4/27	28	絵本の会北による秋のおはなしスペシャル 10/26	21	
都島	43	10	2	0	0	0	0	おはなしらんらんの絵本読み語り 4/24	5	ちっちやい！ふあいとのじかん 11/1	24	
福島	34	11	2	0	0	0	3	ふあいと！の絵本のじかん 5/1	2			
此花	31	7	12	11	0	2	1	ま～るま～るのびっくりばこ 4/27	23	えほんde工作 10/26	29	
										絵本のひろば 11/3	26	
島之内 (中央区)	44	20	4	0	0	0	3	春の子ども会 4/20	8	秋の子ども会 10/26	29	
										クリスマスフレームを作ろう 11/12	16	
港	18	1	6	0	0	0	6	新・港図書館オープン記念イベント第3弾「絵本の会みなとおたのしみ会 特別版」4/20	40	秋のこども会 10/26	20	
										いろんなことばのおはなし会 11/4	15	
大正	47	27	2	0	2	0	11	アナンシの春のおはなし会 4/27	17	アナンシのおはなし会 11/17	5	
天王寺	56	11	1	0	2	2	3	ぼちぼちのおはなし会 4/27	27	秋のおはなし会 10/26	16	
浪速	37	10	5	23	0	2	24	おたんじょうびのおたのしみ会 4/20	23	ぐるーぶぬ！劇場 10/27	12	
										多文化にふれるえほんのひろば 11/23	38	
西淀川	31	24	1	0	2	0	1	パタポン 春のおはなし会 4/20	11	パタポン秋のおはなし会 10/19	10	
										ぽけっと秋のこども会 11/3	30	
										秋の工作教室「エナガの壁かけを作ろう！」11/4	15	
淀川	37	30	2	0	7	0	5	おはなしくるりんぱッ！ 4/27	10			
東淀川	20	15	0	0	0	0	1	とことこのかみしばいの時間スペシャル 4/20	9	とことこのかみしばいの時間スペシャル 10/19	16	
東成	57	10	4	0	0	0	9	おはなしびっくり箱 4/21	22	秋のおたのしみ会～ぐるーぶぬ！の楽しい人形劇～ 10/20	51	
生野	11	14	4	0	0	0	3	おはなしデュオ♪くみどり♪の春風ライブ 4/21	15	秋のこども会 ぐるーぶぬ！劇場 11/16	26	
旭	36	21	1	0	1	1	18	あっちゃんまりっぺのにんぎょうげき 4/21	15	秋のおはなし会 10/26	28	
城東	50	0	1	0	0	0	13	春のおはなし会 4/20	23	秋のこども会 11/2	11	
								春のこども会 4/27	22			
鶴見	27	22	6	0	0	0	2	あっちゃんまりっぺのにんぎょうげき 4/28	44	“くみどり”の秋風ライブ 10/13	38	
								でんでんむしのおはなし会 5/3	13			
阿倍野	58	29	3	0	14	1	1	ぴよぴよ絵本のひろば 4/26	26	パネルシアターをたのしもう！ 11/9	27	
								春のおたのしみ会 4/28	14			
								小学生のためのおはなし会スペシャル！ 5/4	24			
住之江	48	11	2	0	0	0	1	えほんであそぼ！ 4/27	23	工作教室「もくもく昆虫アート」10/13	5	
										おはなしデュオ♪くみどり♪のどんどこおはなしライブ 11/2	13	
住吉	90	46	6	0	0	0	2	春のおはなし大会 4/21 午前・午後	45	ねこの人形教室 10/20	18	
										パレットのおはなし会 午前・午後 11/3	62	
										英語絵本のおはなし会 11/17	14	
東住吉	58	7	0	0	0	1	0	赤ずきん&ドロップスの春のおはなし会 5/4	25	秋のえほんひろばとおはなし会 11/16	22	
平野	24	26	4	0	6	1	6	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会 春のスペシャル！4/27	59			
西成	11	10	0	0	0	0	5	るんるん絵本のひろば 4/21	8	るんるん絵本のひろば 11/23	14	
合計	1,050	391	81	34	35	14	121		757		2,652	

※1 子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバルは含まず

令和6年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(令和7年4月1日現在)

[資料5-1]

\	幼児期読書環境整備事業								学校との連携								学校図書館支援ボランティア向け講座		学校図書館実践交流会	ボランティア養成・ステップアップ講座		区の子どもの読書活動推進連絡会	自動車文庫ステーション数			
	配本事業(実施施設数)				ボランティア派遣(実施施設数)				団体貸出件数(校数)	貸出冊数	図書館見学	調べ学習支援	おはなし会等読書支援	学校図書館整備支援(回数)	体験学習(人数)	図書館主任会への参加	回数	参加者(延人数)	回数	参加者(延人数)						
	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設																		
中央(西区)	4	4	0	2	2	3	1	12	11	4,511	31	34	177	0	18	0	1	13		16	532	7/9	1			
北	3	12	3	8	3	8	2	6	11	4,032	14	49	35	0	6	0	0	0	2/28	1	13	6/28	4			
都島	1	6	2	3	1	3	0	0	8	2,010	8	12	21	0	6	0	1	8		3	8	6/25	3			
福島	3	8	3	3	3	7	3	1	9	1,912	9	25	99	0	3	0	0	0		4	24	7/2	1			
此花	1	5	0	3	1	6	0	3	8	1,753	6	9	20	0	12	0	1	7		2	17	6/28	4			
島之内(中央区)	10	4	0	3	5	8	0	1	5	1,412	9	15	4	0	4	0	0	0		2	8	6/25	1			
港	1	8	1	2	1	4	1	0	5	2,001	11	23	13	0	22	0	0	0		0	0	6/29	2			
大正	4	7	4	3	1	5	0	1	5	962	7	15	102	2	2	0	0	0		7	1070	7/10	2			
天王寺	6	7	1	2	6	2	1	0	10	7,276	10	51	136	0	6	0	1	8	3/7	3	7	7/5	1			
浪速	2	10	0	6	2	14	0	2	8	2,609	9	16	24	8	10	0	0	0		2	2	6/28	1			
西淀川	3	13	3	8	3	16	1	7	9	1,488	9	13	130	0	4	0	0	0		6	63	6/4	4			
淀川	3	15	3	5	3	7	0	3	16	4,033	8	50	21	0	7	1	0	0	2/21	6	36	7/10	10			
東淀川	1	7	1	7	0	8	0	0	11	2,026	3	26	14	5	5	0	0	0		1	1	7/2	12			
東成	6	6	1	5	4	7	2	3	6	771	12	15	68	0	6	0	0	0		2	23	7/26	2			
生野	2	5	7	3	2	5	0	2	9	1,558	12	9	113	0	6	0	0	0		1	3	7/5	3			
旭	3	10	0	3	3	12	0	0	11	2,316	8	28	143	0	5	0	0	0		0	0	7/12	3			
城東	2	8	3	5	2	6	1	5	12	3,999	13	22	8	0	6	0	2	2		0	0	6/21	9			
鶴見	2	10	1	4	1	5	2	4	10	1,970	8	16	231	0	8	0	1	1		2	8	6/28	4			
阿倍野	1	6	0	1	1	5	0	0	10	3,353	13	44	263	0	3	0	3	40		9	14	6/27	4			
住之江	1	7	3	2	1	7	2	3	12	4,338	14	61	119	0	10	0	0	0		5	25	7/9	8			
住吉	4	9	3	7	2	9	3	6	14	3,709	13	17	183	0	17	0	0	0		2	6	7/5	7			
東住吉	0	10	1	5	0	8	1	4	9	2,728	9	12	49	0	6	0	2	13		2	2	7/4	5			
平野	4	13	2	8	3	8	0	0	20	2,570	9	34	103	0	13	0	0	0		7	51	7/9	11			
西成	2	10	0	4	2	9	0	2	7	2,332	8	50	34	0	6	1	0	0		12	58	7/5	2			
合計	69	200	42	102	52	172	20	65	225	61,158	222	612	1,933	15	173	2	11	79		79	1,439		104			

■大阪市立図書館×セレッソ大阪「2025 読書推進プロジェクトー本を読んで、人生を豊かにー」

大阪市は、平成 28 年 2 月に大阪市をホームタウンとするセレッソ大阪と連携協力に関する包括協定を締結し、スポーツの振興、教育、広報など様々な分野においてそれぞれの活動の充実を図り、地域連携を積極的に推進しています。

大阪市立図書館とセレッソ大阪は、これまで読書を通じて豊かな心を育むことを目的とし、協働してさまざまな活動を実施してきました。

令和元年度からはこれまでの個々の取り組みを大きな枠組みに再編し、「読書推進プロジェクトー本を読んで、人生を豊かにー」として、大阪市内外の企業や団体とともにさまざまな活動を実施しています。令和 6 年度もひきつづき、市民の皆さんに、読書とともにサッカーやスポーツも親しんでいただく一助になるような魅力的な活動を進めます。

1. 「読書推進プロジェクト」オリジナル読書手帳の配布

◆ 対象者

大阪市立小学校の全児童(令和 7 年 4 月現在)

◆ 配布方法

各大阪市立小学校、支援学校小学部を通じて配布

◆ 概要

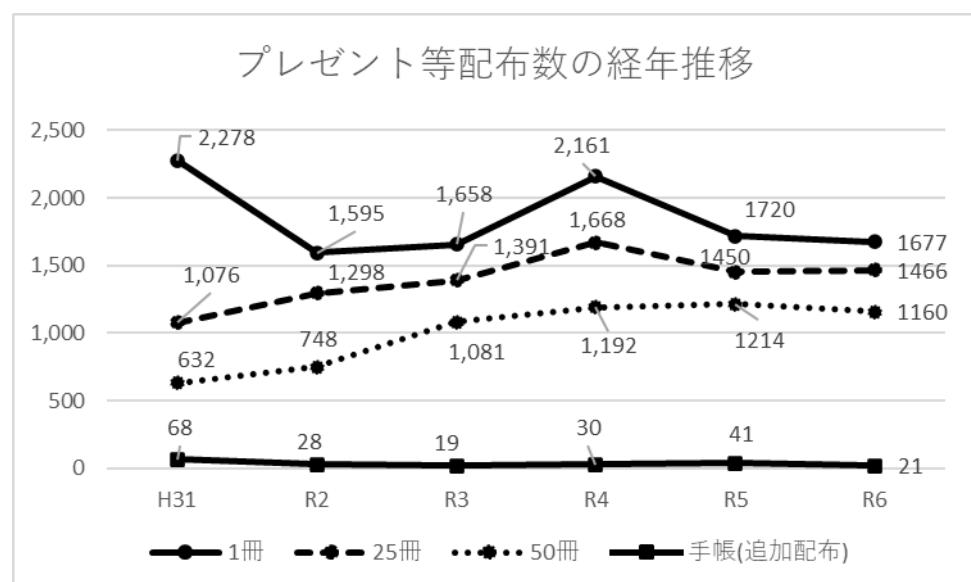
この手帳には、読んだ日や本のタイトル、読んだ本の感想を記入できるほか、セレッソ大阪の選手などの「おすすめの 1 冊」等が紹介されています。桜のマークに色をぬることで、読んだ本を評価でき、50 冊分記入できます。セレッソ大阪のチームマスコットや選手らがあしらわれた親しみやすいデザインです。51 冊以上読んだら、セレッソ大阪オフィシャルウェブサイトから追加のページをダウンロードすることができます。

◆ プレゼント引換期間

令和 7 年 6 月 21 日(土曜日)から令和 8 年 1 月 31 日(土曜日)まで

2. 大阪市立図書館やセレッソ大阪ホームゲームでのセレッソ大阪選手おすすめ図書紹介

3. 「セレッソ大阪巡回展示」にあわせたオリジナルしおりの配布、コラボイベント



令和 6 年度こども本の森中之島 読書活動に関する報告

1 入館者について

- ア 入館者数 130,793 人 (参考: 令和 5 年度 132,185 人)
- イ 開館日数 306 日 (参考: 令和 5 年度 308 日)
- ウ 入館制限 1 日 4 回の入館時間帯を設定し、1 回あたり上限 150 人
- エ 入館者層 <こども連れの入館者> 48%
<こどもの年齢>未就学児…63%、小学 1～2 年生…15%
小学 3～4 年生…10%、小学 5～6 年生以上…4%

2 自主事業イベントの実施 (抜粋)

ア 本の森のおはなしかい

目的：来館したこども達にスタッフによる読み聞かせを実施する。読み聞かせの面白さ、絵本や物語の魅力を知ってもらうことで、様々な読書体験につながり、豊かな感性を育むことを目的としている。

実施回数：333 回

参加者数：(こども) 6,746 人 (おとな) 5,945 人

イ おはなしの森 ~ABC テレビアナウンサーによる「子ども読み聞かせ会」~

目的：プロのアナウンサーによる読み聞かせを実施することで、通常の読み聞かせとは違う雰囲気を楽しんでもらい、新たな絵本を知り、興味を持つきっかけとなることを目的としている。

実施回数：4 回

参加者数：304 人

ウ 大阪府立中之島図書館×こども本の森中之島 わくわくクイズラリー

目的：大阪府立中之島図書館とこども本の森中之島の建築について、参加型のクイズラリーを実施し、子どもたちに知ってもらうことを目的としている。

実施回数：2 回

参加者数：53 人

3 学校園見学受け入れ状況

- ア 学校園数 71
- イ 参加児童数 2,551 人 引率 370 人

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査)（令和7年5月時点）

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署	
			R 3	R 4 計 画	R 4 実 績	R 5 計 画	R 5 実 績	R 6 計 画	R 6 実 績	R 7 計 画						
北区	子育て支援ルーム 絵本読み聞かせ	子育て支援ルーム「Kikki(キッキ)」での絵本の読み聞かせ	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、子育て支援ルーム職員による絵本読み聞かせを不定期に実施し、絵本の普及を図る。	区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、子育て支援ルーム職員による絵本読み聞かせを不定期に実施し、絵本の普及を図る。	区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、子育て支援ルーム職員による絵本読み聞かせを不定期に実施し、絵本の普及を図る。	子育て・教育課 (子育て支援室)
北区	子どもたちと考える 平和展	戦争、平和に関する絵本・漫画の展示	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	継続実施	8月19日～23日開催 戦争、平和に関する絵本の展示	継続実施	子育て・教育課 (教育担当)
都島区	(区広報での学校図書館支援ボランティア募集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募集記事掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4月、11月の2回実施	4月、11月の2回実施	7月、11月の2回実施	保健福祉課 (こども教育)
福島区	(区広報での学校図書館ボランティア募集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募集記事掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12月号の広報紙に掲載予定	12月号の広報紙に掲載	12月号の広報紙に掲載予定	保健福祉課 子育て教育
福島区	子育て講座 赤ちゃん広場	月1回開催。0歳児の親子が50組程度参加。広場会場に手作りおもちゃコーナーと共に絵本コーナーを設置し、赤ちゃん向け及び保護者向け、季節の絵本などを展示する。区内保育所施設の保育士や図書館司書が絵本の読み聞かせを実施。	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	コロナ禍以降、親子で座ってもらう場所を個別のマットに変更。周りを気にせずにいられる、と参加者には好評であるが、講座を行うスペースが限られている状況である。参加人数が少ない月に、絵本コーナーを設置し、親子で手に取ったり読んだりできるようになる。また乳児期におすすめの絵本を紹介する。	年12回開催。複数回絵本の読み聞かせを行った。絵本コーナーの設置を1度行ったが、スペース的に難しかった。	月1回開催。0歳児の親子が50組程度参加。区内保育所施設または支援室の保育士が読み聞かせを実施。	保健福祉課 子育て教育
此花区	えほんのひろばによつといで!	500冊以上の絵本の展示と読み聞かせ	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	R6年度についても、R5年度と同様に実施予定。	イベントに関して、参加者から、子どもが興味のある絵本を知ることができたり、いろいろな絵本に触れ合うことができたと、好評である。	R7度についても実施予定。開催に際して開催日を1日にして、参加者が利用しやすい土曜日に実施する予定。	保健福祉課(子育て教育)

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査) (令和7年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署	
			R 3	R 4 計 画	R 4 実 績	R 5 計 画	R 5 実 績	R 6 計 画	R 6 実 績	R 7 計 画						
此花区	電子書籍を活用した 読書活動推進事業	生徒が端末を用いて時間・場所を選ばずに電子書籍を閲覧できる環境を提供し、読書活動を促すことにより、生徒の読書習慣の定着を支援する。	-	-	◎	△	○	○	○	×		○	此花区内3中学校の中学生全員および希望者へ電子書籍読み放題サービスを提供する。 すべての中学校に生徒への迅速な周知と、利用の促進を依頼する。	此花区内3中学校に対し事業を迅速に周知し、利用の促進を依頼したが、利用率が高かったのは1中学校のみであり、ほかの2中学校の利用率は上がらなかった。	(令和6年度で事業終了)	まちづくり推進課 (教育支援・環境担当)
中央区	中央区子ども読書 活動推進事業	島之内図書館や中央区内の学校図書館、まちライブラリー等と連携してイベントを開催するほか、区広報紙での情報発信、表彰等を実施する。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・読書等に取り組んだ児童等(校長推薦)を表彰 ・区内中学校と連携し、ピブリオバトルを実施予定 ・小中学校の「推し本紹介」を募集しまちライブラリー、島之内図書館で展示予定 ・ピブリオバトルや「推し本紹介」展示等を区広報誌にて情報発信	・読書等に取り組んだ児童等(校長推薦)を表彰 ・ピブリオバトルを区広報紙2月号で紹介 ・推し本展示等を区広報紙1月号で紹介 ・小中学校の「推し本紹介」を募集し、まちライブラリー(10月)、島之内図書館(R7.2月)で展示	・読書等に取り組んだ児童等(校長推薦)を表彰 ・読書活動等を区広報誌にて情報発信	市民協働課(市民活動支援・教育)
西区	多様な活動主体の ネットワークづくり事 業『えほんpicnic』	えほんpicnic実行委員会と共に、地域資源である鞠公園を活用し、「都心の中で自然とふれあう」「人とふれあう」ためのきっかけづくりを目的に、絵本の貸出や読み聞かせ、ワークショップ、マルシェ出店などを実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実行委員会が主催で区役所は「後援」として令和6年10月12日(土)実施予定。	令和6年10月12日(土)に鞠公園にて開催した。絵本の貸出や読み聞かせ、不要となった絵本を来場者同士で交換するなど、のべ21,104人が絵本を通じての交流を楽しんだ。	実行委員会が主催で区役所は「後援」として令和7年10月11日(土)実施予定。	地域支援課
西区	食育なつまつり	展示コーナーでは食に関する絵本を展示し、自由に読むスペースを設置。「たべもののシアター」ではボランティアによる食に関する絵本の読み聞かせやパネルシアターを実施。	×	×	×	×	×	○			○	○	展示コーナーでは食に関する絵本を展示し、自由に読むスペースを設置予定。「たべもののシアター」ではボランティアによる食に関する絵本の読み聞かせやパネルシアターを実施予定。			保健福祉課

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査) (令和7年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署		
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	R6 実績	R7 計画							
港区	地域の強みを活かした教育力向上事業(絵本ひろば)	絵本ひろばのコーディネーターやファシリテーターの講師謝礼等を区役所が負担し、学校で「絵本ひろば」を開催できるように支援し、子どもの主体的な読書活動を促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・実施校3校 磯路小、田中小、弁天小 (計957名が参加)	継続実施	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)	
港区	(区広報での学校図書館ボランティア募集)	区の広報紙、ホームページやチラシの配架により、学校図書館支援ボランティアを募集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・区の広報紙に掲載 ・区ホームページ掲載 ・区役所内にチラシ配架	継続実施	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)	
大正区	子育て応援フェア	子育てコンシェルジュによる子育て支援施設・制度の案内や、保育所・幼稚園についての情報発信や入所申請手続きの説明。フェアの中での読み聞かせを実施。	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	8月8日から23日まで、ポスター展示により大正図書館からの情報発信を行う。	8月8日から23日まで、ポスター展示により大正図書館からの情報発信を行った。	8月15日から28日まで、ポスター展示により大正図書館からの情報発信を行う予定。	子育て支援ネットワーク連絡会(保健福祉課子育て支援室)
大正区	大正区親子のつどい	主任児童委員会で、地域の子育てサークルの紹介を兼ねて、遊びやゲーム、舞台発表をする。絵本の会大正が読み聞かせ等を20分×2回実施。	×	×	×	△	△	○	○	○	○	○	○	5月26日実施済み。 イベントブースに絵本のコーナーを設置し、大型絵本や絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらった。プロジェクターを使用し、大型スクリーンに映し出したことで遠くからでも楽しむことができ良かった。(親子で床に座る場所をもう少し広く確保ことや椅子を増やすことについてどうするかが課題)。	5月26日実施。 イベントブースに絵本のコーナーを設置し、大型絵本や絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらった。プロジェクターを使用し、大型スクリーンに映し出したことで遠くからでも楽しむことができ良かった。(親子で床に座る場所をもう少し広く確保ことや椅子を増やすことについてどうするかが課題)。	5月25日実施済み。 イベントブースに絵本のコーナーを設置し、大型絵本や絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらった。プロジェクターを使用し、大型スクリーンに映し出したことで遠くからでも楽しむことができ良かった。(親子で床に座る場所をもう少し広く確保ことや椅子を増やすことについてどうするかが課題)。	保健福祉課(福祉G)
天王寺区	子育て支援事業	「あそびましょ~」の中で絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせの時間を10分くらい組み込んでいく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	前年度より若干定員を増やし、希望者が参加しやすい状況を作る。	毎月第4金曜日を基本として、事前予約制で開催。ほぼ毎月定員を超える問い合わせがあり、好評を得ている。	毎月第4金曜日(午前・午後の二部制)を基本として、各月8組の事前予約制で開催し、希望者が参加しやすい状況を作る。絵本を介した親子のふれあいの機会を提供する。	保健福祉課子育て支援室
天王寺区	子育て愛あいフェスティバル	区内の子育て支援機関・団体等が集まり、参加の親や子とのふれあいを通じて、いろいろな子育て支援の場に関する周知を行うとともに、地域のみんなで支えあう子育て環境の充実を図ることを目的として開催。会場内に図書館コーナーとして親子で絵本に触れる機会を設けるとともに、ボランティアによる読み聞かせを行う。			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	本イベントは11月9日(土)開催予定。5年度と同じく図書館コーナーを設ける方向。	11月30日(土)開催(当初11月9日(土)開催予定)の当イベントでは、天王寺図書館協力のもと、絵本を通して参加親子がゆったりと触れ合えるコーナーづくりができた。	本イベントは11月1日(土)開催予定。令和5年度よりブース形式で開催。天王寺図書館協力のもと、絵本を通して親子がゆったりと触れ合えるコーナーづくりを行う。	保健福祉課(子育て支援室)

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査)（令和7年5月時点）

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署		
			R 3	R 4 計 画	R 4 実 績	R 5 計 画	R 5 実 績	R 6 計 画	R 6 実 績	R 7 計 画							
浪速区	浪速区親子フェスタ	区役所と区内の子育て関連施設とで構成される子育て支援ネットワーク会議(通称:なにわっ子ネット)により開催。8月に「なにわっ子フェスタ」(ミニ絵本展・絵本読み聞かせ・おもちゃ作り・ゲームなど)と、1月に「親子えほんフェスタ」(絵本展・読み聞かせ等)の年2回開催。	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	・7月になにわっ子フェスタを浪速スポーツセンターで開催予定。 ・1月に親子絵本フェスタを開催予定	・7月になにわっ子フェスタを浪速スポーツセンターで開催した。約300人の親子が参加し大型絵本の読み聞かせや人形劇を楽しんだ。 次年度は暑さ対策を十分に行う。 ・おやこえほんフェスタを1月に区役所で開催。約100人の親子が参加し、絵本に触れたり大型絵本の読み聞かせを行った。次年度は多様な世帯構成があることをふまえイベント名称をなにわっ子えほんフェスタに変更を行う。	・7月になにわっ子フェスタを浪速スポーツセンターで開催予定。 ・1月に浪速区役所でなにわっ子えほんフェスタを開催予定。	子育て支援ネットワーク会議 (保健福祉課子育て支援室)	
西淀川区	図書に親しみ多世代が交流する環境作り事業	児童生徒の教育水準の向上や若者から高齢者まで世代を超えた生涯学習を推進していく上で、身近な場所に手軽に図書に親しむ又は自習を行えるような環境を整備していくために、本区では平成25年度末から2か所(姫里地域・佃地域)に「に～よん文庫」という図書・自習スペースを設けている。に～よん文庫はボランティアによる運営を行っており、平成27年度からさらに1か所(川北地域)が開設している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・図書・自習のスペース「に～よん文庫」の運営等を通じ、図書に親しみ関心を持つ環境を整備するとともに、多世代交流を図る ・「に～よん文庫」のイベントの実施、新着蔵書リストの作成公開等により周知啓発を図る	・令和6年度は令和5年度並みの利用者があった。 ・間借りして事業を行っているため、に～よん文庫の利用者が設置施設の利用者に偏る傾向がある。	・図書・自習のスペース「に～よん文庫」の運営等を通じ、図書に親しみ関心を持つ環境を整備するとともに、多世代交流を図る ・「に～よん文庫」のイベントの実施、新着蔵書リストの作成公開等により周知啓発を図る	地域支援課	
西淀川区	子育てを応援する担い手育成・地域連携事業「えほんとあそびのふわふわランド	年1回2日間開催している。当初西淀川区民会館が会場であったが、近年は西淀川区役所を会場としている。1000冊以上の絵本展示、各コーナーでのボランティアによる読み聞かせやイベントを行う。各子育て支援関連施設、ボランティアの方々、図書館などが協力して実施している。	△	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	例年通り実施予定	令和6年11月30日(土)、12月1日(日)に第17回えほん展を実施した。両日ともに盛況で合計で1,070人以上が参加。	実施せず	保健福祉課 (こども福祉)
淀川区	生涯学習推進事業「ものがたりのちから」	絵本の読み語りのプログラムや絵本コーナーを設置するなどし、絵本の魅力、区の自然や歴史、世代間で伝えたいことを、さまざまな形の「ものがたり」として子ども達に伝えていくことを目的にしたイベントを実施する。	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1月26日開催予定 令和5年度と同規模を実施予定	1月28日開催 参加者205名 読み聞かせボランティアによる読み語りや葉作りを実施した。	1月28日開催予定 令和6年度と同規模を実施予定	市民協働課
淀川区	生涯学習推進事業「学校図書館ボランティア講座」	区内小中学校を拠点に活動する学校図書館ボランティアの新たな担い手発掘を目的として、読書と子どもの関わりに興味のある区民を対象に学校図書館ボランティア活動の研修を行い、また既に活動中の学校図書館ボランティアを対象に学校の図書室で活動するために役立つ知識や技術を身につけるための研修を行うことにより区における子ども達の読書環境の充実につなげる。	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	9月から10月に全4回の講座を実施予定	9月6日、9月10日、9月27日、10月18日、開催 参加者延べ35名 全4回(学校図書館ボランティア入門編、本の修理、「楽しもう!学校図書館 ディスプレイ」)を実施		市民協働課

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査) (令和7年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署		
			R 3	R 4 計 画	R 4 実 績	R 5 計 画	R 5 実 績	R 6 計 画	R 6 実 績	R 7 計 画							
東淀川区	ブックスタート事業	平成25年11月から事業開始。当区で絵本を3種類選定し、その中から養育者の希望する絵本を配付。現在、8施設にて事業実施中。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保健福祉課 (保健企画)	
東成区	電子書籍を活用した 読書活動推進事業	東成区では、児童生徒が誰一人取り残されることなく、一人一台学習用端末を活用し、自由に読書活動を行うことができる機会を提供することで、読書活動の定着と不読率の改善を図る。	-	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	電子書籍読み放題利用アカウントを区内各小学校(11校)の5・6年生全児童及び各中学校(4校)に一定数(82アカウント)を配付。	令和6年度利用実績は、中学生が32.6%、小学生が48.1%。令和7年3月の利用者アンケートにおいて、「今後利用したい」との肯定的意見が中学生で51%、小学生で43%。当事業がより児童・生徒の読書習慣の定着に寄与できる取組となるよう、学校図書館司書との連携等を積極的に行う。	電子書籍読み放題利用アカウントを区内各小学校(11校)の5・6年生全児童及び各中学校(4校)の希望生徒に配付。	市民協働課
東成区	東成区子育てふれあいサークル大集合	区民ホールでの乳幼児と保護者、マタニティ世代向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	○	×	△	△	△	△	△	△	○	○	○	令和6年度については、すくすくつながる大冒険として、実施予定。絵本コーナーについては、設置検討中	10月30日にすくすくつながるイベント(すくすくつながるだいぼうけん)を実施。絵本の読み聞かせコーナーを設置し、東成図書館に読み聞かせをしていただいた。	6年度と同様のイベントを実施し、絵本の読み聞かせコーナーを設置予定。	保健福祉課
東成区	にこにこ広場	月1回6ヶ月の乳児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	月1回の読み聞かせを実施していく。	月1回の読み聞かせを実施した。	月1回の読み聞かせを実施していく。	保健福祉課
東成区	子育てネットワーク構築支援事業	子育て中の保護者が子どもと一緒に楽しみながら各子育てサークルや子育てイベントで遊びを提供する(パネルシアター、大型絵本読み聞かせ、手遊び等)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	子育てサークルを巡回し、読み聞かせを実施した(11校下のサークル対象)	子育てサークルを巡回し、読み聞かせを実施する(11校下のサークル対象)	保健福祉課	
生野区	学校支援ボランティア人材バンク事業	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区のHP等で掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続実施	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区のHPに掲載した。学校図書館の開館支援で3名が活動し、学校の要望について満たすことができた。	継続実施	地域まちづくり課

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査) (令和7年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署	
			R 3	R 4 計 画	R 4 実 績	R 5 計 画	R 5 実 績	R 6 計 画	R 6 実 績	R 7 計 画						
生野区	生きる力を育む絵本プロジェクト	・3か月健診時のブックスタート事業の紹介 ・「にこにこいくのっこだより」での絵本紹介 ・絵本イベント(H30年9月22日開催) ・絵本ボランティアの養成 ・キッズルーム(授乳室あり)の環境整備 ・絵本ボランティアによる3か月及び1歳6ヶ月健診時の絵本の読み聞かせ ・区役所庁舎各階窓口待合に来庁者用の絵本棚を設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	昨年にひき続き、健診時の絵本ボランティアによる読み聞かせ活動を行。必要に応じて多言語バージョンの「いくみんのほんだな」の小冊子を紹介・配布。絵本ボランティア養成講座を行う。区役所内での絵本コーナー等の環境づくりとして外国語の絵本を取り入れて整備しなおす。ブックスタートの広報・配布を積極的に行い、絵本に興味が持てる環境を整備する。	3か月健診対象児全員に「いくみんのほんだな」の小冊子を配布した。 健診時の絵本ボランティアによる読み聞かせ活動をすべての健診時に実施。必要に応じて多言語バージョンの「いくみんのほんだな」の小冊子も紹介・配布している。 絵本ボランティア養成講座を行った。 区役所内での絵本コーナー等の環境づくりとして外国語の絵本の充実を図る。 ブックスタートについて、令和8年度より区の健診時での配架を終了する予定。ブックスタート実施施設のみの対応となるため令和7年度中に広報紙等で周知。合わせて掲示物や細やかな声掛け等でも周知を行っていく。	ひき続き、すべての乳幼児健診時において絵本ボランティアによる読み聞かせ活動を行う。必要に応じて多言語バージョンの「いくみんのほんだな」の小冊子を紹介・配布。 絵本ボランティア養成講座を行う。区役所内での絵本コーナー等の環境づくりとして外国語の絵本の充実を図る。 ブックスタートについて、令和8年度より区の健診時での配架を終了する予定。ブックスタート実施施設のみの対応となるため令和7年度中に広報紙等で周知。合わせて掲示物や細やかな声掛け等でも周知を行っていく。	保健福祉課
旭区	保健子育て課のキッズコーナー	窓口での待ち時間に子どもさんが過ごせるキッズコーナーを2階に設けているが、季節に応じて絵本を入れ替える等して親子で絵本に親しみ楽しんでもらっている。	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続して、旭図書館より毎月絵本を借り入れ、季節に応じた絵本を設置し、親子で親しんでもらえるようにする。	窓口での待ち時間に絵本を手に取って読んでもらうことができた。	継続して、旭図書館より毎月絵本を借り入れ、季節に応じた絵本を設置し、親子で親しんでもらえるようにする。	保健子育て課
旭区	ブックスタート事業	区内のブックスタート拠点のなかった地域への拠点の設置、ブックスタートの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	城北市域で年4回実施	年4回、一定数の利用があつた。	城北地域で年4回実施	保健子育て課
城東区	絵本で子育てみんなで子育て事業	・図書館、子育て支援施設と連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本展の開催 11月を「絵本読み聞かせ月間」として図書館、子育て支援施設、子育てサロンなど地域の子育て支援施設と連携し絵本の読み聞かせなど絵本に関する取り組みを実施 ・区役所ロビーでの絵本展の開催 ・大人向けの絵本のお話と読み聞かせ会を開催 ・絵本スポット 子育て中のママやパパが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しめ、先輩ママ・パパに身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	・図書館、子育て支援施設・子育てサロンと連携したイベントに於いて、絵本の読み聞かせ会や絵本イベントの周知や誘致 ・来庁者が窓口や健診時の待合で手に取れる絵本の充実や、職員による読み聞かせ ・「絵本スポット」：子育て中の養育者が絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しめ、他の養育者やスポットもよっては専門職員に身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置	・図書館、子育て支援施設・子育てサロンと連携したイベントに於いて、絵本の読み聞かせ会を実施 ・来庁者が窓口や健診時の待合で手に取れる絵本の充実や、職員による読み聞かせを実施 ・保活や妊娠中の保護者等を対象にしたイベントに於いて、絵本の展示と読み聞かせを実施。 ・区の子育て情報誌に図書館と連携して絵本の紹介コーナーの連載	・図書館、子育て支援施設・子育てサロンと連携したイベントに於いて、絵本の読み聞かせ会を実施 ・来庁者が窓口や健診時の待合で手に取れる絵本の充実や、職員による読み聞かせを実施 ・保活や妊娠中の保護者等を対象にしたイベントに於いて、絵本の展示と読み聞かせを実施。 ・区の子育て情報誌に図書館と連携して絵本の紹介コーナーの連載	保健福祉課（子育て教育）

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査)（令和7年5月時点）

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず△ 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署	
			R 3	R 4 計 画	R 4 実 績	R 5 計 画	R 5 実 績	R 6 計 画	R 6 実 績	R 7 計 画						
鶴見区	「つるみっ子ルーム」での読み聞かせ	区役所内「つるみっ子ルーム」で保育士による月1回の「おたのしみ会」(絵本の読み聞かせ等)を開催。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・6月より毎月、お楽しみ会の実施。会の中で絵本の読み聞かせを行う。 ・また12月にはクリスマス会にて、ペーパーサートや絵本の読み聞かせを行う。	・5月より毎月、大型絵本や紙芝居、絵本の読み聞かせ等の「お楽しみ会」を開催。 ・クリスマス会を12月に開催し、絵本をモチーフにしたペーパーサート劇や絵本の読み聞かせを行う予定。	・昨年度に引き続き、5月より毎月「お楽しみ会」を開催し、大型絵本や紙芝居などの読み聞かせを行う。 ・12月にクリスマス会を開催し、絵本をモチーフにしたペーパーサート劇や絵本の読み聞かせを行う予定。	保健福祉課 (子育て支援室)
鶴見区	「つるみっ子ルーム」への絵本の借受け	鶴見図書館から、月1回30冊の絵本をお借りし、区役所内「つるみっ子ルーム」に配架。	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	絵本を定期的に入れ替え、絵本の紹介等を行い、より絵本を身近に感じられるようにする。	絵本を定期的に入れ替え、絵本の紹介等を行い、より絵本を身近に感じられるようにする。	絵本を定期的に入れ替え、絵本の紹介等を行い、より絵本を身近に感じられるようにする。	保健福祉課 (子育て支援室)
鶴見区	ブックスタート事業	ブックスタートの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続して月に1回第4水曜日(10:30~、11:10~)実施予定。支援室の保育士で行う。	月に1回第4水曜日(9:30~11:00)実施。	月に1回第4水曜日(9:30~11:00)実施予定。支援室の保育士で行う。	保健福祉課 (子育て支援室)
阿倍野区	親子フェスタ	親子フェスタのイベント会場内に、「絵本コーナー」の部屋を設けて、複数のボランティアグループによる絵本読み聞かせ+ミニ絵本展(内容は図書館が適宜選定)を実施	△	△	○	○	○	○	×	○	○	○	R6.10.26に開催予定。 令和5年度と同規模、同内容でのイベントを開催予定。	R6.10.26に開催予定であったが、選挙で中止。	R7.10.25に開催予定。 令和5年度と同規模、同内容でのイベントの開催を予定。	保健福祉課 (子育て支援)
阿倍野区	あべの食育祭	あべの食育祭のイベント会場内に「絵本コーナー」を設けて、『食育』に関する絵本の展示や読み聞かせを実施	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	7月24日開催予定のあべの食育祭で、絵本展示コーナー、読み聞かせを実施。	絵本展示コーナー、絵本読み聞かせを実施し、180名が参加。参加者の満足度も高かつたため次年度も実施予定。	8月8日開催予定のあべの食育祭で、絵本展示コーナー、読み聞かせを実施予定。	食育祭:保健福祉課(地域保健) 絵本コーナー:保健福祉課(子育て支援)
阿倍野区	学校園等支援ボランティア人材募集	学校図書館開放にかかる支援等、サポートとして学校で活動いただける方の登録制度。 区広報・区HPに学校図書館支援ボランティア募集記事を掲載。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	7月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	8月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	市民協働課 (教育支援)
住之江区	あいあい相愛 おはなしのへや	「咲洲ウェルネスタンク」に掲げた南港ポートタウンの魅力向上の取組みの一つ。住之江区と包括連携協定を締結している相愛大学(子ども発達学科)との協働プロジェクト。 おはなし隊(相愛大学学生)による様々な形(劇や紙芝居、エプロンシアター等)での絵本の読み聞かせ。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続実施 (年4回実施予定)	開催日 令和6年7月25日、9月28日、12月14日、令和7年2月6日 年4回実施	継続実施 (年4回実施予定)	協働まちづくり課

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査)（令和7年5月時点）

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署				
			R 3	R 4 計 画	R 4 実 績	R 5 計 画	R 5 実 績	R 6 計 画	R 6 実 績	R 7 計 画									
住之江区	保健福祉課の待合 絵本コーナー	窓口での待ち時間や対応時に、子どもさんが絵本に親しめるよう、定期的に絵本を入れ替え展示する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保健福祉課			
住之江区	乳幼児健診での絵 本紹介	乳幼児健診での待ち時間に、子どもさんが絵本に親しめるよう、絵本コーナーを設置する。	×	×	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保健福祉課			
住吉区	親子教室「すみちゃんひろば」	絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせと絵本展示を行い年齢に応じた絵本を紹介する。			◎	○	○	○	○	○				年5回開催予定 R6年5月17日 R6年7月19日 R6年9月2日 R6年11月29日 R7年1月17日	予定通り実施 毎回、図書館より団体貸出にて大型絵本や紙芝居、また、年齢に合わせ絵本や季節の絵本等選び、読み聞かせと絵本紹介を実施、参加者より新たな絵本が知れたと好評だった	年5回開催予定 R7年5月16日 R7年7月18日 R7年9月19日 R7年11月21日 R8年1月16日	保健こども家庭課 (子育て相談室)		
東住吉区	東住吉区魅力ある 学校づくり応援団	学校図書館開放にかかる支援等、サポーターとして学校で活動いただける方の登録制度	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を随時募集	東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を随時募集 成果・課題、特になし。	東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を随時募集	保健福祉課子育て支援担当		
東住吉区	子育てOHえんフェス タ	区民ホールでの乳幼児向けのイベント。 図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	人数制限をなくし、昨年同様の親子イベントを9月に実施予定。図書館ブースの設置及び読み聞かせも予定している。	9月に人数制限をなくし親子イベントを実施、親子で自由に絵本を手に取れる図書館ブースと、絵本読み聞かせを実施した。	10月に昨年同様の親子イベントを実施予定。。図書館ブースの設置及び読み聞かせも予定している。	保健福祉子育て支援室	
平野区	「ひらちゃん図書の 自由貸出」	平野区役所と北部サービスセンターの庁舎内に善意で頂いた図書を「ひらちゃん図書」として設置。窓口での待ち時間に読んでいただくほか、返却期限を設けない自由貸し出しへ行うことで、読書に親しんでいただく機会を提供している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	区民の方からの本の寄贈も継続しており、貸出用の冊子が不足することもなく、運営できている。特に高価なうえに読む期間が比較的短い乳幼児用の絵本などの無期限貸し出しは利用者から感謝されている。	継続して実施中	継続して実施中	政策推進課
平野区	絵本展の開催	平野図書館やクラフトパークと共に、年2回、平野図書館より距離的に遠い長吉、瓜破地域で「絵本展」を開催。読み聞かせ等のイベントも実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年度も、クラフトパークと瓜破北幼稚園の2か所で、平野図書館等と共に実施予定。	クラフトパークと瓜破北幼稚園の2か所で、平野図書館等と共に実施した。	クラフトパークと瓜破北幼稚園の2か所で、平野図書館等と共に実施予定。	政策推進課

区における子どもの読書活動の取組について(令和6年度取組状況および令和7年度計画に関する調査)（令和7年5月時点）

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず△ 内容変更△ 新規◎								事業の対象 主たる対象者:○	令和6年度計画	R6年度実施状況 成果・課題など	R7年度計画	各区役所 担当部署		
			R 3	R 4 計 画	R 4 実 績	R 5 計 画	R 5 実 績	R 6 計 画	R 6 実 績	R 7 計 画							
平野区	平野区こども学力サポート事業	児童の学習支援と居場所づくりのために、教員をめざす大学生を中心としたボランティアを小学校に派遣し、学習習慣の定着をはじめ、こどもたちに「生きる力」を身につけてもらえるよう支援する。支援内容は各学校の要望により異なり、「読み聞かせ」や学校図書館への支援の事例もある。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	区内小学校全22校を対象に予算を確保し実施予定。	全小学校22校を対象に実施。ボランティアが不足する場合には、区役所と提携している常磐会学園大学(現・大阪常磐会大学)を通じて学生を募集し各小学校に紹介した。	区内小学校全22校を対象に予算を確保し実施予定。	政策推進課	
平野区	平野区読書習慣の定着事業	読んだ本のタイトルを記録できる「ひらちゃん読書ノート」(1~4年生用・5・6年生用・中学生用)を作成し、区内の全小中学生に配布。1~4年生は100冊以上、5・6年生・中学生は3000ページ以上を読まれた児童・生徒を、区長から表彰する。また、3~5歳児用の「ひらちゃんえほんふれあいノート」も作成し希望者に配布している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	読書ノートについて、今年度作成分も、大阪・関西万博の機運醸成の一環として、ミックミヤクをデザインする予定。また、受験や部活動などもあり表彰者の少ない中学生については、体験学習などで提案いただいた促進策を、学校とともに進めている。	R6年度は、小学校では感染症の影響がなくなり外での活動が増えたため表彰率が減少した。一方で、中学生からの表彰者を伸ばすアイディアを採用したこともあり、中学生の表彰率は最も高くなった。	読書ノートについては、今年度も引き続き取り組みを進める。今年度は全小中学校、33校から表彰者が出ることをめざし、体験学習などで提案いただいた促進策を、学校とともに進めます。	政策推進課	
西成区	西成区こどもの読書活動推進支援事業	読書活動を行うきっかけづくりとして、読書カードを全児童生徒に配付する。 対象者が4月1日～翌年1月31日までに読了する目標冊数を設定。 目標読了冊数 ・小学校1年・2年 100冊 ・小学校3年・4年 70冊 ・小学校5年・6年 50冊 ・中学校1年～3年 25冊 通年実施のうえ、年度末に年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。 ・年間目標を達成した児童生徒に賞状授与 ・区分ごとに読了冊数が最多の者に表彰状及び記念品授与 なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものを基本とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	・希望する小中学校に読書カードを配付。 ・年間読了目標冊数を達成した児童生徒及び学校長推薦者に賞状を授与し、各区分の年間読了最多児童生徒に表彰状を授与する予定。 ・なお、中学生の年間読了目標冊数を50冊から25冊とする。 ・希望する学校で区長から直接表彰状又は賞状を授与する予定。 ・贈呈式について、区の広報紙にて掲載予定。	・希望する小中学校に読書カードを配付。(小学生2,715部、中学生450部) ・年間読了目標冊数を達成した児童生徒及び学校長推薦者に賞状を授与し、各区分の年間読了最多児童生徒に表彰状を授与する予定。 ・よみきかせ目標回数を達成した保護者と乳幼児に賞状及び記念品を授与する予定。 ・希望する学校で区長から直接表彰状を授与。(2小学校、2中学校) ・贈呈式について、区の広報紙にて掲載(R7.5月号)	・希望する小中学校に読書カードを配付。 ・区内公立幼稚園及び公立保育所にえほんよみきかせカードを配付予定。 ・年間読了目標冊数を達成した児童生徒及び学校長推薦者に賞状を授与し、各区分の年間読了最多児童生徒に表彰状を授与する予定。 ・よみきかせ目標回数を達成した保護者と乳幼児に賞状及び記念品を授与する予定。 ・希望する学校で区長から直接表彰状を授与する予定。 ・希望する学校園等で区長から直接表彰状又は賞状を授与する予定。 ・贈呈式について、区の広報紙にて掲載予定。	保健福祉課 (子育て支援)
西成区	にしなり子育て情報誌 ハギッズ	図書館の「絵本おたのしみ会」開催日やブックスタートの周知、絵本紹介などを掲載し、奇数月に発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	奇数月に発行予定 西成区ホームページへの掲載、大阪市LINEでの配信も引き続き行う予定	奇数月に発行 西成区ホームページへの掲載、大阪市LINEでの配信も行っている	奇数月に発行予定 西成区ホームページへの掲載、大阪市LINEでの配信も引き続き行う予定	保健福祉課 (子育て支援)	
西成区	子育ての集い	区と区内の子育て関連施設で構成されている「わが町にしなり子育てネット」により開催(区役所は後援)。子育て施設職員による紙芝居の読み聞かせを実施している。	△	△	○	○	○	○	○	○	×	○	令和6年7月10日(水) 10時から12時で開催予定	令和6年7月10日(水) 10時から12時で開催	開催予定なし	保健福祉課 (子育て支援)	

令和7年度 各区子どもの読書活動推進連絡会のまとめ

区ごとに年に一度、「区子どもの読書活動推進連絡会」を開催して、関係者間で情報交換を行っています。

本まとめでは、各区の各施設、団体の令和4年度の活動状況や報告事項、相談事項、いただいた意見等の中から、主なもの、特徴的なもの等、今後の子ども読書活動の推進に参考になると思われる事例やアイデアをご紹介します。

●連絡会への参加を要請している機関・団体等

【読書活動支援ボランティア】	各ボランティアグループの代表者(推薦された者)
【地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など】(地域の実情に応じて要請)	ボランティア・市民活動センター(旧ボランティアビューロー)、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など
【子育て支援施設】	子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターなど
【就学前施設】	公・私立幼稚園、保育所、保育園、認定こども園など
【学校】	教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事(管理職)、司書教諭、学校図書館主任など(代表出席)
【区役所】	教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など
【事務局(各区市立図書館)】	館長または担当係長、司書職員、教育ブロック担当学校図書館コーディネーター

●各区子どもの読書活動推進連絡会より

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
西区 (中央図書館)	7月8日	【幼児期図書ボランティア】 ・異なる年齢層の子どもたちが一緒に になったおたのしみ会では、プログラ ム作成時に困ることがある。年齢 ごとに開催できると様々なプログラム を盛り込みやすい。	【子ども・子育てプラザ】 ・図書ボランティアと協力して、リサイクル本の配 布を行っている。修理を要するものが多く、ボラン ティアからの要望もあるため、本の修理に関する 講座があるとよい。	【幼稚園・保育園】 ・園内で日々読み聞かせを行っている。 ・図書館に園外活動でおでかけをする。 ・規模が小さく乳児の多い施設では、図書館の配本を利用することが 難しく、赤ちゃん絵本の貸出も破損が気になり躊躇してしまう。 一赤ちゃん絵本には、ボードブック版等破損しにくいように工夫された 本もあることを案内。 【小学校】 ・読み聞かせ等の取組を実施している。	令和6年度連絡会と同様に、図書館リサイクルブック (除籍資料、受入しない寄贈絵本)の提供を行った。 令和6年度連絡会での意見を参考に、令和7年度連 絡会では、図鑑や辞書なども含めた、小学生向きの 資料もあわせて提供した。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
北区	7月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所では0、1歳児が多いので、ペネルシアーターやエプロンシアターなども演目にも加えて絵本につなげている。 ・ブックスタートが土曜日に開催される施設ではご両親の参加がほぼ定着してきている。平日開催の施設でも男性の参加が増えればよいのにと思う。平日はお仕事等で、参加が難しい方やおじいちゃん・おばあちゃんなど赤ちゃんを取りまく人たちに絵本やブックスタートの大切さを伝える方法があればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、幼児期読書環境整備事業(絵本セット配本)の支援・協力を受けており、施設内での読み聞かせ・利用親子への貸し出し時に大いに活用している。可能であれば通年での貸し出しを希望する。 ・毎年、図書ボランティアによる絵本読み聞かせと110冊の配本があり、とても有り難い。今後もこれが実施できるようにしてくださることを願う。 ・絵本に囲まれている環境の中で子どもが育つ必然的に絵本を読む機会が増えるように思う。おもちゃより絵本の多い施設なので、お子さんに絵本を読んであげている保護者さんが多いようだ。 ・つどいの広場事業運営費で新しい絵本を購入しているが、十分ではない。北図書館から団体貸出を受け、来室の皆さんも喜ばれている。広場を利用されるみなさんに絵本の貸し出しができることで、暮らしの中に身近に絵本が手に取れるような環境を整えたいと考えている。 ・子ども・子育てプラザでのおはなし会に絵本の会北に来ていたいているが、同じメンバーの方が継続的に来てくださっていて、内容についても参加の多い0、1歳児に向けた工夫がされていると感じている。参加者も昨年度後半あたりから増加傾向があり、おはなし会目当てで施設を利用される親子もあるようだ。 	<p>【教諭・学校司書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアの人数確保が課題。本校は12学級あり、月1回クラス単位で読み聞かせをしているので毎月12名必要になる。昨年度あたりから人数が足りない月が発生し、その際には本校教職員が参加して対応している。図書館のボランティアによる読み聞かせ活動も行なわれているかと思うが、年に1度程度と限られていたかと思う。学校の時間との調整もあり、読み手と現場がうまくマッチングするような方策があればありがたく思う。 ・コロナ禍を経てボランティアによる読み聞かせを再開したが、ボランティアの数が足りないことや、ブランクができてしまったことによりうまく回せていないように思う。夏休み開館の機会に読み聞かせをしていただくなど計画しており、ボランティアの活動をバックアップしたい。 <p>【ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の工事のためボランティアが図書移動を手伝った。図書館にどんな本があるのかを知る機会にもなった。 	<p>【子育て支援施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年配本のアンケートに書いているのだが、保育所入所前の0、1歳児の利用が多い施設なので、低年齢向きの絵本がもっとあつたらいいなと思っている。
都島区	6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児対象のおはなし会は、歌などを交えたプログラムにする必要があり、毎月のプログラムを考えるのが大変だ。 ・学校や地域によって格差を感じる。格差を生じさせないように、絵本をたくさん読んであげたり、身近に多くの本を用意したりして、みんながよい状況になるようにしてほしい。 ・主幹学校司書が配置されている学校では、継続した絵本の読み聞かせなどの取組で、子どもたちの様子がよくなかった。しかし配置校でなくなったため様子が変わりつつあるのが残念だ。 ・図書館のおはなし会でも、赤ちゃんの参加者が多くなっている。(参加者の低年齢化が進んでいる) ・スマートフォンや動画を見ている子(見せている親)をよく見かけるので、絵本やふれあい遊びをもっと取り入れてほしいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を通して親子のコミュニケーションが豊かになるように、また保護者自身が絵本に親しみ、読む楽しさを感じられるようにしていきたい。 ・利用者が低年齢化していると感じる。2歳から3歳になると、プレ幼稚園や3歳児保育などに行ってしまうので、遊びに来られるのは、0・1歳児を中心。 ・ブックスタートの参加者が多くないので、3か月時健診で紹介したり、地域の子育てサロンの協力をお願いしたり、赤ちゃんが絵本に出会える場として広がるよう努めている。 	<p>【保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本など、本から得られる子どもの育ちは大きいと考え、取り組んでいく。 ・保護者に向けての発信と巻き込み(共同)が課題。 ・予算的な問題で、蔵書を増やすことがなかなかできない。絵本の貸出はとても貴重であるがたい。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年の読書離れ。男子は自分で読みたい本を見つけられず、表紙イラストにひかれて手にとっても読まない例が見られる。女子は物語に興味を持ち、比較的読んでいるように思う。 ・高学年へのアプローチ、本の紹介などに関して、図書館からおすすめの本や人気の本などを教えてもらったら、児童への声掛けに活用したいと思う。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンデルセンやグリム童話など、定番と思う話を知らない子がいる。 ・校長の意向もあり、コミックが充実している。コミックから小説へと興味が広がる例や、図書館にきてもらうきっかけにもなっている。図書館は授業時間中にホットステーションとして利用されていて、コミックや本を読むことが気持ちをほっとさせる一助になっている。 ・男子生徒も本屋大賞の本や恋愛小説などをよく読んでいる。(読書へのアプローチや、子どもたちの話を聞いてくれる人がいる意味も大きいと考えさせられる例を紹介いただいた)。 <p>【学校司書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ展示や絵本の読み聞かせのほか、高学年向けに、途中まで朗読して続きが気になる人は読んでね、という紹介方法も行った。どの方法でも、よく反応してくれるるので、人の手を介することで、子どもたちに興味を持ってもらうことができるということだと思う。 	<p>【区役所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、希望する保育施設で、性教育についての読み聞かせとお話を行った。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
福島区	6月26日	<ul style="list-style-type: none"> 現在、会のメンバー数は約20人ほど。図書館が集約した保育園や幼稚園などへの派遣希望を元に月に3回ほど、各施設でおはなし会を実施。希望も多く、もう少し実施回数を増やせたらよいのだが、人数が少ないで厳しい状況。 9月から冬にかけて、小学校でおはなし会を行っている。メンバーの高齢化と小学校訪問の派遣スケジュールがきつ、今回の「おはなしたのしいでえ！」の参加は見送ることとなった。 絵本の会のよう、毎年、ストーリーテリングのボランティアの募集があればいいなと思う。 <p>図書館行事として、毎月「ま～るまるおたのしみかい」(乳幼児向け)、年3回「ま～るま～るのびっくりばこ」(乳幼児から低学年向け)、「工作教室」を実施。全体的に乳児の参加が多い。わらべうたが好評で、もっと勉強したいと思っている。</p>	<p>【子ども・子育てプラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児から高校生を対象としている。乳幼児には中央図書館からの配本とつどいの広場の絵本を提供。つどいの広場のなかで、児童(小学生)による乳幼児への読み聞かせも実施。読み手の児童に読み聞かせしたい本の希望を聞いています。そのことにより、本への興味を持ってくれていると思っている。 <p>【つどいの広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 0歳から就学前の子を対象としている。ブックスタートや中央図書館からの配本を利用。ブックスタートの定員は5人。大阪市の掲示板や新規登録の方に宣伝しているが、もっと広く多くの人に知ってもらいたいと思っている。 	<p>【保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「絵本の会福島」による読み聞かせを実施。中央図書館からの配本を利用。園外保育で図書館に行き、子どもが本を選んだ本を借りて帰ったところ、好評だった。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校司書の常駐校が3年に一度変わるが、今年度からは吉野小学校が常駐校となった。(前回司書の常駐校だった大開小学校では今年度、図書室を毎日の開室させるため、お昼休みは図書委員が、午前中の15分休みは先生方が交代で開室していると聞いた。)4月からの着任で、現在はまだ、どんな活動をしていくか、先生の考え方も含め、手探り中。小学校ではタブレットが配布されているので、その中で図書館をどう調べて学習に使っていくか模索中。 	<p>アンケートの回答※会議は欠席</p> <p>【つどいの広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の場所が遠いので移動図書館のステーションが近くにあると利用しやすい。返却ボックスが近くにあると借りやすい。 <p>【保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内に絵本コーナーはあるが、絵本室ではなく、子どもが存分にゆっくり絵本を楽しむ環境が難しく、課題である。また絵本が古くなっているが、購入する費用が難しい。 保育所では意識して絵本への取り組みをしているが、対家庭でとなると難しいと感じている。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校司書による図書室開放を週1でなく、できるだけ多くしてほしい。 新刊の本の購入や、本を読む場所の確保、環境を整えることが難しい。(図書室以外での本を読む場所があれば) <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校司書の配置日数や時間が増えてほしい。 図書室を現代の子どもたちが利用したいと思うような居心地のいい環境にするため、予算がもう少し多く取れたらと思う。
此花区	6月27日	<ul style="list-style-type: none"> 親でもなく、先生でもなく、また違う「絵本の人」として話を聞いてくれる立場の大人がいることも大事だと感じている。 (中学生への読み聞かせ)意外によく聞いてくれ、とくに学校になじんでいない子が素直に聞いてくれた。絵本は読んでもらったほうが楽しいと知らない子がいる。誰かが自分のために何かをしてくれるという体験は大切。 図書館での読み聞かせでは、親御さんの膝の上で楽しめる手遊びなどをなるべく織り交ぜている。いまの子どもは日本の昔話をあまり知らないようなので、昔話も取り入れていきたい。 	<p>【子ども・子育てプラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童に关心を持つてもらえるような本の紹介方法が知りたい 小さい子向けには図書館からの配本や絵本の会のよみきかせなど、とても好評で継続したい。それ以外の対象年齢の小学生から高校生まで「健全育成事業」として遊びに来てくれる子たちに帰り際に読み聞かせをするようにしているが、こちらは置いている本のラインナップが昔からあまり変えられないことが課題だと感じている。 	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本から読書への移行が難しい。⇒紹介や読み聞かせをすれば興味を持つ児童も多いので、いろいろな本に触れる機会を日々作っていきたい。大人側の努力も大切だと痛感している。「家読」「味見読書」をはじめ様々な取り組みを試みている。 学校司書の配置が週一日しかないため、本を借りられない子がいる、教諭と司書の連携がしにくい、4日から1日になり、活動が後退した、など(複数あり) 区内の本屋が減り、新しい本は、図書館のみ。色々な本を選ぶ自由がうばわれないように気をつけたい。 <p>【保育園・幼稚園】</p> <p>園では工夫をして様々な取り組みをしている。家庭でも保護者にも絵本(読書)の楽しさ、子どもとそれを共有することの大切さも知っていたいだきたいが、日々仕事や家事、子育てで忙しい方々に読書の時間を取ってもらうことの難しさを感じている。動画視聴に時間を取りている子が多いことも気になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国にルーツを持つ児童が増え、昨年はウクライナの児童もいたが、本の数が少なく対応できなかった。 図書室の改修工事に伴い、こどもたちがゆっくり読書するスペースを確保することができていない。⇒どんな工夫が考えられるか知りたい

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
中央区	6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以前、依頼のあった小学校での「おはなし会」が復活することを希望。 ・コロナ後で学校にとって外部の人間を受け入れるのは難しいところがあると思うが、「ゲストティーチャー」から得られるもの、そしてコミュニケーションをわかっていただき、少しでも行く機会があればと切に願う。 ・ブックスタートの絵本の選書がとてもよいとご家族から絶賛の声を聞いています。 	<p>【子育て支援室】 デジタル化が進む中、紙媒体の書物の需要が減っているのではと思う。 子どもにはデジタルではなく今後も紙媒体の絵本が広まればと願う。</p> <p>【子ども・子育てプラザ】 絵本の会島之内さんには、絵本の読み聞かせだけではなく、保護者との交流も図っていただき、とても良い時間が持てている。</p>	<p>【幼稚園】 新しく魅力的な絵本との出会いの機会がたくさんあれば、と願っている。園内の絵本の充実や安心できる環境となるような絵本室の環境整備等、予算があればできることもあるのかと、思う。</p> <p>【小学校】 ここ数年は学校司書が配置され、読書支援活動が充実しているが、配置のない年度や学校は、教員のみでは限界があると感じている。</p> <p>【中学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・本に興味のある生徒は図書室の利用も多く、来室人数も多いが、本に興味のない生徒たちに興味を持ってもらうことが難しいと感じている。 ・外国にルーツのある生徒も多く、日本語の文章の本を読むことは難しいので、そのような生徒に対してどのようにして本に興味を持ってもらうかというところが課題だと感じている。 </p>	<p>【区役所】 <ul style="list-style-type: none"> ・読書等に取り組んだ児童等(校長推薦)を表彰した。 ・読書活動等を区広報誌にて情報発信した。 </p>
港区	7月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会の後、次はどんなおはなしを読んでほしいかをメモに書いてもらっている。 ・おはなし会の低年齢化について気になっている。 ・たくさんのかみしばいや絵本が無料で借りられる図書館に一人でも多く集まってほしいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出を活用して「本のコーナー」を設置したり、わんぱくまつり(屋外イベント)にて、赤ちゃん休憩所を兼ねた絵本を楽しむスペースの提供(えほんひろば型)を行ってきた。本の選定はスタッフの図書係が担当していて、利用者からのリクエストを反映している。 ・団体貸出を活用して、友達や親子で絵本を通して交流できるような環境を整えている。今年度からは、港区にお住まいの外国人住民の方が増加している点もふまえて、日本語の絵本と外国語絵本の図書コーナーを作っている。外国の方の利用者も増えているので外国語の絵本の紹介や、絵本を楽しめる工夫が必要だと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度校内アンケート「あなたは読書が好きですか？」の項目で「読書が好きではない」と答えた児童が15名ほどいたことに危惧している。タブレットで調べものをすることが多く図書館の本で学習する機会が少ない現状についてアドバイスをいただければと思っている。 ・休み時間に学校図書館を開放しているが、学校図書館の場所がネックになっており、5年生・6年生は休み時間になると運動場に出て遊ぶ子どもが多く、利用が少ないことに悩んでいる。 ・1年生・2年生は、毎週おはなしボランティアさんによる読み聞かせを行い、年1回、全学年向けておはなしボランティアさんによるおはなし会を実施している。また、港図書館の団体貸出や、主幹学校司書が読み聞かせや様々な読書支援に取り組み、図書委員会によるイベントも開催してきた。どの学年の子どもたちも学校図書館の時間を毎回楽しみにしている。特に、雨の日における図書館開放の利用者数が多く、1日に100人を超えている。 ・南市岡小学校では全学級週1回、図書の授業を確保して、読み聞かせを実施している。平均貸出冊数が他校の児童と比べて多く、1人あたり92冊となっている。また、主幹学校司書が主に調べ学習の授業支援を積極的に行ってきた。今年度は、図書委員会による読書支援イベントを行い、これまで以上にこどもたちのアイデアを引き出せるように取り組み、児童の読書意欲を高められるようにしていきたいと思っている。 ・タブレットで調べものをすることが多く図書館の本で学習する機会が少ないというご意見について、読書もタブレットの活用も必要なことなので、試行錯誤していくしかないと思う。授業とは関係のない娯楽のコンテンツには制限を設けることも1つの方策だと思う。また、校舎の構造上図書館利用少ない場合は、出前図書館のように先生がブックトラックに本を並べて本を身近に感じてもらう工夫などもできるのではないかと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前にスマホを持っているお子さんが増えており、小学生や中学生ではSNSトラブルに繋がっているケースも見受けられる。保護者の方にスマホの適正利用について啓発している。 ・図書館の電子書籍が学校にこどもたちが楽しめるようなタイトルが導入されれば嬉しい。マンガも読めればと思う。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
大正区	6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・大正図書館の子ども向け定例行事の参加者が少ない。 ・図書館自体のPRをもっとしてほしい。 ・図書館行事の広報を強化してほしい。イベントと活動するボランティアの告知を含めて、ちらしの作成とともに、入口に貼るなどしても良いのではないか。 ・ボランティアが行く学校おはなし会も全体で見れば減っている。減少しているおはなし会を、学校、保育所、図書館、地域の連携で、増加傾向にするよう力を注いでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び場に本棚を設置しているが、本を読む子はたくさんいる。ただ図書館から借りた資料を施設で貸出をしているが、貸出数は減ってきている。 ・子どもに絵本を読み聞かせるメリットを多く知らせていく必要がある。 ・子どもも大人も楽しめるように、読み聞かせの際に音楽などを取り入れる等工夫をしたい。 ・子どもが文字に興味を持ち、読書につながるよう読み書きの授業に重きを置いています。普段から文字にふれさせる活動が重要だと考えている。 	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推進する担当教諭の負担が大きい。 ・学校司書や、図書館が派遣するボランティアによる読み聞かせは行っている。 ・家庭で読書の習慣がないところが多数ある。 ・休み時間に学校図書館に来る児童が少ないので、増やしたい。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の開放や本の読み聞かせを行っている。 	<p>【区社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホやゲームの影響で、読書の習慣が失われていることが課題だと考えている。
天王寺区	7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園、子育て支援施設、図書館等での絵本などの読み聞かせを実施。 ・図書館から依頼の派遣施設で実施する大型絵本やおはなし組木の運搬に困っている。図書館が搬送方法を検討して手段を提供してほしい。 ・小学校でのおはなし会のほか、図書館や区内施設でおはなし会を実施。小学校のおはなし会ではストーリーテリングとブックトークを行っている。 ・小学生がストーリーテリングを開ける時間が以前より短い時間になっていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びの終わりや、時間を決める等して、毎日絵本を読み聞かせしている。 ・地域の子育て支援サークルで乳児のお母さんによつたりしてもらうスペースをつくりお母さん向けの絵本を図書館から借りて置いたら好評だった。 ・乳児向けの行事絵本や季節の絵本、紙芝居の読み聞かせを増やしたいので図書館で購入してほしい。「赤ちゃんコーナー」を作ってほしい。 <p>【子ども・子育てプラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つどいの広場内に絵本閲覧コーナーを月替わりで設置し、今年から外国語絵本数冊を追加した。つどいの広場内で月1回「絵本いっぱいの日」を開催。 ・図書室の本棚に書籍紹介ポップをつけている。 ・ブックスタート参加時に既に絵本を購入したり読み聞かせを行っている家庭が多く感じる。 ・ネット情報等で絵本を1日数回読まなければと思っている保護者も多く、絵本は親子のコミュニケーションツールであると伝え続けるしかないと感じている。 	<p>【幼稚園/こども園/保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館からの配本、絵本の会によるおはなし会の開催。 ・月刊絵本を1人1冊購入して園と家庭で楽しむ。 ・配本の絵本や園の絵本等を日々読み聞かせ。 ・絵本の貸出時に家で感想をカードに記入してもらい、園と家庭で児童理解を深め共有している。 ・親子で読み聞かせとして、親に読み聞かせをしてもらったところ好評だった。 ・月1回おひざ絵本の日として保護者の膝の上で触れ合いながら簡単な絵本を見る時間を作った。 ・絵本の単価が高く、種類を充実させたいが予算的に難しい。 ・配本の絵本を貸出して家でも絵本に親しんでもらいたいが紛失等を考えると実施できていない。 <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝10分の読書タイムや、天王寺おはなし「ぼちぼち」によるおはなし会の開催、図書館からの団体貸出を利用している。30学級で学校司書は週2日勤務となるが、それでも時間が足りない。 ・読む本がサバイバルシリーズ等の漫画や写真が多い本に偏っている傾向を感じる。 ・主幹学校司書配置校では、読書支援と学習支援を意識し、ビブリオバトルやブックトーク等のほか、今年は読書記録カードの配布と表彰も予定している。絵本やサバイバルシリーズ等の学習漫画から長編の物語への移行が課題である。味見読書を行ったところ少し効果を感じた。 ・学校司書の勤務日数を増やしてほしい。 	<p>【区役所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催する保護者と子どもの集い「あそびまよ～♪」で読み聞かせを10分くらい実施しているが、大型絵本が大人気。これまで絵本に触れていない保護者から読み聞かせをどうしてよいかわからないという声を聞く。自信が持てるよう保護者に伝えしていく取り組みが必要と考える。 ・年2回開催する教育会議で学校図書館の紹介・周知を行っている。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
浪速区	6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での読書推進について、学校と書との連携が重要。朝読で読んだ絵本や紙芝居等を学校図書館(室)でも展示したり案内していただけるとシリーズものも子どもたちに伝わる。 ・行事に参加してくれるこどもたちが低年齢化していること、年齢差があつたりするので、絵本を選ぶのに色々と考えさせられる。小学生の参加が少なく、校区が存在すると1か所のこどもたちしか来ることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートの周知拡大が課題 ・日頃のかかわりと取り組みの積み重ねが大切。親子で遊びに来る広場での読書支援活動を開催させながら続けていきたい。 	<p>【保育園・保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の子どもが読める外国語の絵本を用意する。 ・4、5歳児は散歩で図書館に行き、少しずつ身近に感じることはできていくが、0～3歳児は保育所から図書館まで遠いので散歩で行くのは難しい。保護者と一緒に図書館に行ったことがない子どもは興味をもってもらう等行くきっかけ作りが大切。 ・外国籍の子どもが昨年度48%と、公立保育所の中で1番多かったので、日本語の理解が難しい中でストーリーのある絵本の読み聞かせが難しくなっている。わかりやすい言葉、くり返しの絵本や図鑑、写真絵、本が好まれる傾向にある。外国語の絵本などの読み聞かせを幼稚クラスでも個別にしていく必要がある。 ・えほんの会読み聞かせボランティアによる月に一度の会を楽しみにしており、絵本やお話しに対する集中の時間が長くなっている。 ・保育園内で子どもが好きな時間に自分で好きな絵本を手に取り、自由に読書ができる環境を作りたいと思うが、保育室が狭いことや、適した本棚が無い事など、なかなか実現が難しい状況。 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国にルーツのある子どもが多く在籍しているため、日本語の絵本を理解することが難しく、絵本の面白さや楽しさが伝わりにくいことを課題と感じる。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司書の協力を得ながら、生徒が図書室で快適に過ごすことができ、様々な分野の図書を気軽に手に取ることができるような環境整備につとめる。 ・図書館をたくさんあけたいが、子どもだけでは難しく、先生も一緒に開放するとなると、1日1回が限界。 	
西淀川区	6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・館内のイベントに小学生の参加が少ないので、参考してもらう方法を考えていきたい。 ・おはなし(ストーリーテリング)ボランティアメンバー増員のため養成講座を毎年開催しているが、参加者も少なく残って活動してくれる人が増えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域図書館に多言語の絵本が多く設置されると母語を目にする機会が増え、外国につながりのある親子の子育てを応援できると感じる。 ・保護者からYouTubeを見せてていることが多いと聞く。保護者もそれを見ていると子どもが静かに見ているので用事ができるのでといわれれる。親子で絵本を見る時間もないようだ。 ・毎日あそびの時間の最後に大型絵本や触れ合いあそびをして、お帰りの時間をしている。毎度それをする事で子どもたちもあそびから帰宅へ気持ちが切り替わることができている。大型絵本の「ぴょーん」や「だるまさん」シリーズは子どもたちにも大人気で、絵本の楽しみ方が成長に伴い変化していく様子を見ることができる。保護者の方が成長を喜んでおられる姿も見られる。 ・常設本棚を増やすことで絵本に対する食いつきが良くなり、環境の大切さに初めて気付かされた。 ・中央図書館からの配本を貸出や展示などに活用している。 	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数減少により図書館予算が大幅に減り、児童の好きな本、読んで欲しい本、図書館に必要な本の購入バランスに頭を悩ませている。 ・本を読む、読める児童と、本を読まない児童がはつきりとしている。 ・読書時間を確保するように努めているが、1人読みができない、集中が続かない等、元々読書が好きでない児童に対してどんな支援をしていくべきか。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本の年代別、学校ごとの一覧など、購入リストの見本があると、参考にさせていただけるのでありがたいと思っている。 	<p>【区役所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てを応援する担い手育成・地域連携事業」の一つとして、年1回2日間続けて「えほん展 えほんとあそびのふわふわランド」を実施した。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
淀川区	7月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座後のグループや活動への定着が課題。 ・活動の中で発生する交通費や講師を招いて学習するための費用捻出が困難。 ・おはなし会について、もっと多くの人へのPRが出来ないか。(参加者が少ない) ・子育て支援施設や幼保園からの依頼の時期が、同じ時期に集中する。 ・淀川図書館移転による影響(物の置き場や活動の方法など)が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のスペース上、絵本の配置場所が子どもにとって手に取りにくい場所になっており、子どもから「読んで欲しい」とアピールがないと読み聞かせにつながりにくい。 ・保護者から、「図書館までの距離があつたり、本の値段が高いのでなかなか絵本をよんでもあげられない」という声がある。 ・スマホなどでの読書も出来るが、紙媒体での読書の良さも体験してほしい。 ・長いお話を読んであげる際に、保育士と1対1で読んであげたいが、保育士の人数が足りない。 ・子どもへの絵本の読み聞かせだけでなく、保護者への読み聞かせをしたところ好評だった(SNSの子育てを応援するアカウントで紹介された絵本) ・児童のボランティアを募り、小学生が未就学児に読み聞かせを行っている。 	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の読み聞かせボランティアグループによる読み聞かせをしている。 ・貸出数による表彰、読書ノート、読書カード、推薦図書コーナーの設置、おすすめ本ポスター、図書クイズ、全校本ランキング(図書委員会による)クイズラー、読書月間の取組、POP作りなどを実施。 ・学校図書館の開館回数を増やしたいが、人が足りない。学校司書が週1回から週2回になるとありがたい。 ・学習まんなどは好んで読むが、物語などの長い文章を読まない児童が多い。 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが絵本に親しめるような工夫や、保護者への知らせ方が課題 ・本が傷んだ場合の修理の方法を知りたい。 ・絵本などの消毒について 	<p>【区役所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内小学校・中学校から情報収集し、区広報紙、区役所ホームページにて学校図書館ボランティアの募集、淀川図書館との共催の学校図書館ボランティア講座を実施していたが、令和7年度より図書以外も含むボランティアの募集に変更したため図書のみのボランティア講座は廃止。 ・絵本展「ものがたりのちから」を、学校図書館の読み聞かせボランティアグループや区内施設、専門学校等と協力して行っている。実行委員は区広報で公募も行っている。 <p>【区社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の生活にお困りの家庭を支援する「こどもレスキュー事業」で学習支援として「勉強の時間」を実施していたが、一定の役割を終えたとして事業終了となつた。 ・区社協で所蔵している児童書のマンネリ化があるため、図書館の団体貸出も利用予定。
東淀川区	7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館定例行事への参加。 ・子ども読書の日、図書館フェスティバル、One Book One OSAKAスペシャルのおはなし会。 ・学校おはなし会、図書館見学時のおはなし会。 ・地域や区民会館フェスタ、子育てプラザ、地域子育てサロン、子育て支援センターでの絵本展やおはなし会、パネルシアター。 ・子ども・子育て支援センターでのおはなし会、パネルシアター実施時には絵本の紹介も行う。 ・子育てプラザでの赤ちゃんと絵本を楽しむ会。 ・小学校放課後いきいき事業でのおはなし会。 ・区内8保育所への訪問おはなし会(幼児期読書環境整備事業)。 ・区民会館フェスタでのフリーマーケット(令和7年度は実施しない)。 ・おやこひろば職員対象の読み聞かせ研修。 ・コロナ禍以降、乳幼児向けおたのしみ会の参加者が減少。毎月から年4回の事前予約制に変更。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本展とおはなし会。 ・ブックスタートの実施。 ・図書館ボランティアによる読み聞かせ。 ・職員による読み聞かせ。手あそびや大型絵本等も使用。帰りの時間に合わせて実施する施設も。 ・中学校生徒の読み聞かせボランティアによる乳幼児向けおはなし会(5日間)。参加者から好評。 ・自由に閲覧可能な絵本コーナーの設置と貸出。興味・年齢・季節等により入替。新しい本が手に取れるよう工夫。 ・寄贈絵本の活用。 ・絵本セット配本(幼児期読書環境整備事業)の活用。 ・職員への研修の実施(講師:図書館ボランティア) ・ブックスタート参加者多数。父親参加の比率が増え、夫婦参加も多い。 ・絵本に興味を示す子ども・保護者が増えた。 ・絵本の貸出は利用者が固定化している。 ・参加者が絵本タイムを楽しんでいる。 ・絵本等を月に数冊購入。子育てのリフレッシュとして雑誌も購入。 	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読、朝のおはなし会の実施。 ・図書委員や読書ボランティアによる読み聞かせ。 ・学校司書によるブックトーク、図書館支援員によるオリエンテーリングやストーリーテリング。 ・図書委員会、図書ボランティアによる図書室開放。 ・図書委員会によるおすすめ本の展示やPOP掲示、図書bingo、図書クイズ、図書みくじ。読書マラソン等、読書週間に合わせた取組。 ・授業で図書室へ行く時間を設定。 ・市立図書館からの団体貸出の活用。 ・子どもたちはイベント時は図書室へ足を運ぶ。 ・絵本を手に取る児童は多いが、文章量の多い本を選ぶ児童は少数。教員がすすめると興味を持ち本を取るが、自らすすんで取る児童は少数。 ・「字が読めないから」という理由で図書室に来ない生徒が多い(特に1年生)。集中力が続かず、1人で本を読むことが困難。集中して読書する時間が短い。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書委員のおすすめ本案内や図書委員だよりを発行・掲示。スタンプキャンペーンを実施予定。 ・新1年生対象のオリエンテーションを実施。 ・教員による本の紹介を行い、図書室に展示コーナーを設置。 <p>【保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本セット配本(幼児期読書環境整備事業)の活用。 ・図書館ボランティアによる読み聞かせ。 ・絵本の貸出。 ・座布団読みを行い(1か月に1回)、帰る前に親子で1冊読んでもらう。 ・座布団読みは乳幼児の日と幼児の日を決めて実施。参加される人と多忙で帰ってしまう人がいる。 ・図書館が遠いのが残念。団体貸出を活用していかたい。 ・絵本セット配本は、乳幼児とともに楽しめる絵本に触れる機会ができるありがたい。 ・ボランティアによる読み聞かせでは、子どもたちがお話の中に引き込まれている。 	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項	
東成区	7月18日	<p>【地域文庫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子連れなら来るが、子どもだけでの参加が減っている。従来の「おはなし会」に加え、読書につながる「工作教室」を取り入れていきたい。 <p>【子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0～1歳児の利用者が多い施設では、読み聞かせに適した素材選びや、読み手のスキルが必要を感じる。大型絵本に、0～1歳児が楽しめるものが増えてほしい。 ・ブックスタートや講座等、図書館との連携が、利用者の図書館イベント参加を促しているので、今後も連携を継続したい。 <p>【子ども・子育てプラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本展は、昨年度に引き続き、冊数を増加して今年度も実施。 ・ブックスタートの参加率が40%と低迷しており、参加率アップが課題。 	<p>【子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0～1歳児の利用者が多い施設では、読み聞かせに適した素材選びや、読み手のスキルが必要を感じる。大型絵本に、0～1歳児が楽しめる方が増えてほしい。 ・ブックスタートや講座等、図書館との連携が、利用者の図書館イベント参加を促しているので、今後も連携を継続したい。 <p>【子ども・子育てプラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本展は、昨年度に引き続き、冊数を増加して今年度も実施。 ・ブックスタートの参加率が40%と低迷しており、参加率アップが課題。 	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年の図書館利用が増えない。 ・学校司書が週1回では、不十分。 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週末の絵本貸出、ボランティアによる読み聞かせを継続。園外保育での東成図書館訪問は、家庭からの図書館利用にもつながる。 <p>【保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホの普及で、家庭で本に親しむ機会が減っている。劇遊びの素材となった絵本を行事前に貸出し、親子で事前に親しんでもらう機会を作った。 ・年長児を図書館へ連れていき、本に触れる機会を設けた。 	<p>【区役所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の事業として、電子書籍による読み聞かせ活動を実施。小学校高学年・中学校にID・パスワードを配付、1人1台のタブレットで1000冊読める。 ・新たに、本をたくさん読んだ児童を区長が表彰する取組を進める。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東成区は外国人住民の比率が高い。外国につながる子どもへのアプローチとして、小・中学校を通じた支援や、図書館行事での積極的な声掛けなど、出来るところから取り組んでいきたい。 	
生野区	7月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・(区内の小学校に訪問しているボランティアより)、継続して学校へ訪問することで、本が好きになるきっかけにつながっていると感じる。究極的にはひとりよみだが、読書離れがすすむなか、読まない子にとって読み聞かせが本への入口になり効果があると思う。 ・読み聞かせが聞きにくい子は日本語がわからない外国ルーツの子どもであるケースもある、外国ルーツの子どもたちへの読み聞かせについても模索中。 ・図書館の行事に、小学生の参加がとても少ないのが課題。乳幼児は親が連れててくれるが、小学生になって親が連れてこない年代になると来ない。 ・ボランティア向けの講習会がもっと充実すれば、さらに技術を学ぶことができ、充実した時間を作れるようになると思う。 ・(小学校での読み聞かせについて)日本に来て間もない、外国ルーツの児童が多い学校、学級での読み聞かせは、写真の絵本を中心にセレクトするなど内容を工夫することもできると思う。例えば、外国ルーツの児童がクラスにいるかどうかなど、事前に学校から情報提供してもらうことはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(中央図書館から配本している)100冊絵本があるときは、クラスで紹介し、絵本を家に持つて帰つて読めるように、貸出もしている。忙しい保護者には、子どもと絵本を楽しむ時間をとつてもらうことは難しい。でも、園の本をきっかけに、保護者の方にも子どもが今楽しんでいる本を知つてもらえたと思っている。 ・子育て支援施設の利用者が低年齢化して0、1歳が増えている。絵本の読み聞かせを部屋の前方で行つても、後方でおもちゃを使って遊んでいる子はそのまま遊んでいる。(おもちゃ遊びを中断して)絵本を見せようとする親は減ってきたかもしれない。絵本を身近に感じてもらえるよう、絵本の選び方も工夫したいと思っている。 	<p>【保育所】</p> <p>外国ルーツの親御さんが日本語の本を翻訳して読み聞かせるのはハードルが高いと思う。日本語を話さない親にとって日本語の本を読むことは難しい。それでも、できればこどもたちがたくさんの中から選んだ「この絵本」を家族でも読んでもらえるような工夫ができればいいと思う。</p> <p>【小学校】</p> <p>児童のなかには、図書館のようにたくさん本があると読みたい本を選ぶのが難しい子もいる。面白そうというきっかけがないと本を手に取りにくいので、掲示などを工夫して手に取りやすくしたい。</p>		

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
旭区	6月26日	<ul style="list-style-type: none"> 図書館のおはなし会を担当しているが、聞きにくる親子が減少している。乳幼児、小学生たちに気軽に図書館に足を運んでもらえるような工夫や催しの拡充を望む。 メンバーの高齢化、また、新しいメンバーが入っても色々な事情で辞め、続けてくれる人が少ないことが課題 新しいメンバーが増えてほしい。読み聞かせ講座等を旭図書館で開催したら、もう少し増えるのは?と思う。 	<p>【子ども・子育てプラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸し出し絵本の実施。 月1回実施のお誕生会で絵本の読み聞かせをしている。 <p>【子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひろば内に絵本を設置、随時入れ替えている。 おはなしひろばで読んだ絵本の内容をコーナーに掲示し、絵本紹介をしている。 施設を利用する子どもの年齢(月齢)が低く、親の関心が薄いため、低年齢からでも、絵本に触れる機会を多くもつてもらえるようにすることが課題。 <p>【あさひ子育て広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁面にて、絵本紹介をはじめた。 養育者の方々は、絵本などを子どもが汚してしまわないか、破つてしまわないかととても心配し、子どもから絵本を取り上げてしまうこともあるので、気を使うことなく、絵本にふれてほしい。 <p>【つどいの広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんが絵本を破つたり、かじつたりすることを心配する保護者が多く、安心して使っていただけるようお声かけをしてる。 月齢に合わせて、人気のある絵本を紹介したり、絵本の貸し出し時に絵本選びの相談にのっている。 ボランティアの方に月1回おはなし会を実施していただき、季節や月齢に応じた絵本を楽しく読み聞かせていただける。 絵本の貸し出しについて、初回登録時にお知らせするだけでなく、SNSでも発信する。 	<p>【保育所・幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本を題材にした劇の発表会をしている。 人気絵本は買い替えができるようにしている。 4,5歳児は自分で絵本を選び借りて帰りますが、家でどのように、時間や保護者の方が読んでもらっているのか。スキンシップなど親子時間として取り入れているのがあまり見えてこない(YouTubeや動画などの話をよく聞く) 家庭で親子で読書する機会が少ないのでと感じる。 5月に大型紙芝居を図書館で借りたが、当園から図書館は遠く、日常的に通うことは難しい。 地域交流などでも絵本の紹介をしていくと思っている。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ピング、スタンプラリーなどの来館をうながすようなイベント 校内一斉の読み聞かせタイム 高学年が低学年のクラスに読み聞かせに行く。 子どもたちは、本は最初から最後まできっちり読まないと読んだことにならないと思っているようなので、「つまみ読み」を広げていきたいと思っている。 読書通帳の導入 多読賞表彰、年間ベストリーダー表彰 セレッソ読書手帳を使用し、年度末に読んだ冊数に応じて、表彰する。 学校司書が週2回程度来ていただけるとうれしい。 タブレット端末の活用とも並行で行うなか、なかなか読書に子どもの気持ちは向かない。 	
城東区	6月24日	<ul style="list-style-type: none"> 区内施設へ出向いての読み聞かせ、お楽しみ会、おはなし配達、ブックスタート、図書館での定例行事、特別行事、育ちが気になる子どものためのおたのしみ会、わくわく子育てフェスティバル(城東区)参加、おはなしたのいいでえ(中央図書館)参加等の活動をしている。 4か所のブックスタート、つどいの広場さんのブックスタートの後にイベントをしている。コロナ前は3回していた。コロナ前は、3、4、5歳、一緒にしていたが、コロナで分けた。逆にそのほうが、子どもの様子もわかるのでよいと実感している。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本月間(おすすめ絵本の紹介、絵本を手に取りやすいように並べたコーナー)、読み聞かせタイム(定期的、イベントや講習時)、ボランティアによる読み聞かせ、絵本展、中央図書館からの配本、ブックスタート、絵本の貸出、城東図書館から絵本借り受け、おすすめの絵本の紹介等の活動をしている。 団体貸出は大変助かっている。これからも継続してほしい。 以前に区民ホールで行っていた絵本展などのイベントをまた実施してほしい。 年齢にあった絵本紹介や、お母さんの困っていることについての絵本(トイトレーニング、イヤイヤ期、はみがきなど)を紹介していただけると喜ばれると思う。 保護者が赤ちゃんにどんな本を選べばいいかわからないという声をよく聞く。そういう時にスタッフが保護者にできるお話やアドバイス等を知りたい。 	<p>【幼稚園・保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園の絵本の貸出、ボランティアによるおはなしの会、読み聞かせ、中央図書館からの配本、担任による読み聞かせ、城東図書館訪問・貸出体験(好きな本を自分で選び、貸出)、保護者向けに絵本の紹介、絵本以外にパネルシアターや劇などでいろいろなお話にふれる等の活動をしている。 新しい本がもっとあれば嬉しい。 中央図書館からの配本は助かっているが、通年で借りられるようにしてほしい。 読み聞かせのボランティアの派遣は子どもたちもとても楽しみにしている。 ボランティアの派遣や配本など今後も取組を続け、いろいろなおはなしに触れ、楽しむ機会にしていきたい。 園の絵本が古くなり、PTA委員が年2回修理をしている。新しく購入したいが予算が少なく、購入できるのは10冊程度。予算を配当されるとありがたい。 5歳児(年長)が借りに来た本を、3交代で読んだ。3歳児(年少)の分も借りてきたので、楽しんでいる。絵本の会の皆さんにも来ていただけてありがたい。職員が読むと好みがあるので、いろんな人に読んでいただけるのはいい機会である。 	<p>【図書館】</p> <p>閉会後、本のバザールを開催</p>

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
			<ul style="list-style-type: none"> ・絵本とのかかわり方について司書が保護者の方にわかりやすく話してくれるので、職員も参考にしている。 ・親子で絵本を読んでもらえる機会をつくることができればよい。 ・家庭でも絵本を読んでもらえるよう、絵本の紹介、スキニップ、肉声の大事さ(よさ)を伝えていたらと思う。 ・0-1歳がほとんどで、2歳がちらほらという状況である。毎日読み聞かせしている。なるべく手に取ってもらえるような置き方の工夫をしているが、年々、絵本を子どもに読み聞かせをしている親の姿を見かけなくなった。絵本の会の皆さんにもブックスタートやおたのしみ会に来ていただいて感謝している。 ・区役所の北側の園で、100人くらいの親子、0-18歳までの子どもを受入している。たまに中学生が来てくれる。図書室も設置している。読書離れ、活字離れを感じる。スマホを出して検索する。いざとなつたとき、漢字が書けない、読めない、というところは、大人である職員もある。子どもたちの学力・体力のために、1週間や10日に一回は本を入れ替えて、という工夫をしようと思っている。ほとんどの子どもがスマホゲームをしている姿を見る。手に取って、本を見るということが大事、子どもにも声掛けしている。 	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書支援用(長期セット)の団体貸出、調べ学習用図書の団体貸出、図書館見学(2年生、3年生)、図書の時間、学級文庫、朝の読書、読書タイム、図書館開放、1年生への図書室のオリエンテーション、読書スタンプラリー、ブックデリバリー、移動図書館、読書・漫画感想文、本の帯コンクール、読み聞かせ(ボランティア、教諭)、読書週間の実施、本のしおりづくり・配布、おすすめの本のポスターづくり、委員会活動による読書イベント、おすすめ本の紹介、読み聞かせ、新聞作成、本がしきquiz、学習に合わせた本の選書の活用、年間の貸出冊数で表彰等の活動をしている。 ・学校司書に、毎日勤務してほしい。 ・どれくらいの子どもたちが城東図書館を利用しているか、学校単位で分かるか。 ・団体貸出は大変助かっている。これからも継続してほしい。 ・学校司書の勤務日が減った分を教職員で図書館運営しているが、回していくのは大変。 ・ICT教育の高まりで、読書よりアプリのほうが児童の興味関心を引く傾向がある。しかしながら子どもの時期の読書経験は将来にも大きく影響を及ぼすと考え、子どもの実態に応じた本を選んだり、推薦したりする必要があると感じる。 ・読み聞かせのボランティアの派遣は子どもたちもとても楽しみにしている。 ・ボランティアの派遣や配本など今後も取組を続け、いろいろなおはなしに触れ、楽しむ機会にしていきたい。 ・読書離れ、活字離れが進む中、いかに読書好きの子どもを育てるか、読書の楽しさを感じさせるかが課題である。 ・高学年に読書離れの傾向がある。読む子は読む、読まない子は読まない。低学年は図書館開放にも来るが、高学年は来ない。学力にも直結しているところを感じる。図鑑、まんがを眺めているだけの様子がある。対応について教えてほしい。 <p>・日常に本がある環境が大切だと感じる。教科に関連する本(今やっていることに関連する本)は手に取る様子が見られる。</p> <p>・主幹学校司書が今年から来ていただけるようになってありがたい。週に4回は来てくださって、図書の時間も毎回読み聞かせしてもらえる。高学年の子も興味津々である。年に2回選書しているが、学校司書の「こここの図書館には高学年が好きそうな本はないね」といった言葉から気づきをもらう。もはや、学校司書はいなくなったら本当に困る存在である。</p> <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生へのオリエンテーション、ブックトーク、除籍本の譲渡会、図書館イベント、図書館開放、辞書を使った意味調べ、夏休み前の文庫本案内小冊子の配布、POP作成、学級文庫、おはなし会等の活動をしている。 ・昼休みに図書館開館を行っているが、給食の準備から片付けまでに時間がかかり来館者が少ない。 	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
鶴見区	7月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会において近年の課題は来られる方の低年齢化。赤ちゃん向きのときはたくさん来ていただき喜んでいるが、小学校へ行く前の4~5才は少ないと思う。もっとその年代の子たちが来てもらえるイベント等を考えてみたい。 ・各学校でのお話会の際、図書館のお話会の宣伝(チラシをみせて)により、図書館のお話会へ参加される児童が増えているので、引き続き紹介を続けていくことが大事だと感じている。 ・学校の先生方とも密に連絡を取り合うことも大切だと感じる。 ・図書館との連携も重要だと思う。 ・子どもたちが図書館に来る機会を増やすきっかけになればと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子でのふれあいの時間を作っていきたい。絵本を通して気持ちが通じ合う時間を重ねられるような働きかけを考えている。(そのひとつが絵本紹介コーナー設置) ・絵本の展示はどれくらいの期間で入れ替えると良いか、図書館でどうされているか教えてもらいたい。 ・児童の読書にいかに結びつけることができるか。 	<p>【保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな児童が在籍しており、絵本の取り扱いについては指導・工夫をしているが破損も多く、その都度修理を行っている。子どもが興味を持った時に絵本を提供してあげたいが、予算的にも難しい状況が続いている。 <p>【幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本に親しんでいる子の個人差があるので、どの様な工夫をしたら良いか。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で本を手にする時間が忙しくて取れない…という子どもたちの声がある。読書の宿題を定期的に出すことで読書の機会を設けているが、直接的な解決になっているのか悩むところである。 ・学校図書館の授業内容と関連した貸し出しをすること。長期休み期間に事前準備をして対応しているが、急な要望には対応しきれていないことが多い。また0~8類の棚の資料が古くなってきており、入れ替えをするに当たり、区内で情報共有できれば良いなと思っている。 ・家庭で新聞など紙媒体で文字を読む機会はとても少ない(限られている)その為学校図書館の活用や開放は重要な一端を握っているようになっている。しかし授業を行うにも教員の知識量ではうまく活用しきれない場面が多く、学校司書のサポートがより強化されることを強く望む。 ・調べ学習がタブレットになりがちなので、それが心配。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気アップ支援員の方々、地域のボランティアの皆様のご協力で、毎日図書開館ができている。引き続き地域の皆様と連携していきたいと思う。 	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
阿倍野区	6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・幼稚園中心に、ブックスタートから小学校での読み聞かせまで対応。ブックスタート等で地域に行くと、図書館に行ったことがない、知らないという若い世代に多く出会う。情報発信方法、既存のものだけではなくインスタグラムなど、今の子育て世代向けのものを検討してほしい。 ・小学校でのおはなし会では、おはなしの持つ空気感を伝えていく。図書館での行事の際は参加者の低年齢化、未就学児の増加を感じる。低年齢化に合わせ対応を変えていく難しさがある。 ・ストーリーテリングを中心に小学校、図書館で活動。児童には感想は求めないようにしているが、時には手紙をもらう。特に高学年にはその内容に驚かされる。洗練された文章の語りが子どもに伝わっている。色々な思いを秘めている子どもから発せられる言葉を拾う大切さを感じる。自分の気持ちを言語化して表現する契機になればと思って活動している。 ・学童保育での読み聞かせを実施、高学年も夕方遅い時間なら参加がある。今年度はいきいからの読み聞かせの依頼もあり、活動が広がっている。 ・区役所での乳幼児親子の交流会で読み聞かせを実施。父親参加も増えている。保護者へ絵本を紹介する意味でも、読み聞かせしている。 	<p>【ひろば(大阪市地域子育て拠点事業施設)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートのほか、絵本の貸出、保護者向けの本の貸出、読み聞かせ団体による読み聞かせイベントを実施。 ・多言語絵本の読み聞かせ(中国語・韓国語・英語)を実施。参加者は多国籍にわたり、自國のものに触れたいと参加されている。読み手は施設利用者の家族や、国際結婚した方が帰国した際に依頼。行事参加者も多国籍にわたり、自國のものに触れたいと来られている。 ・子ども・子育てプラザでは、R7から新たに「絵の本ひろば」実施。 ・一般社団法人codomotoままっち では、絵本を出版。 <p>【親子のつどい(阿倍野区10地区)】</p> <p>区内10地区で「親子のつどい」開催、子育てサロン「親子のつどい」で図書ボランティアによる乳幼児親子対象の読み聞かせ実施。</p>	<p>【保育園・幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館からの幼児期施設用図書団体貸出100冊を利用し、全児童に貸出。令和7年度よりお迎え時に親子で絵本を読む機会を設ける。家庭に本が入っていく機会にする。親子関係の安定にもつながる。 ・毎週絵本の貸出をし、家庭で本を読んでもらう機会をつくっている。また、絵本カードを作成し、家庭で読み聞かせをした時の子どもの様子などを記入してもらっている。 ・幼稚園では、日本語を学ぶ外国人の専門学校生に日本語で読み聞かせを実施、外国語の挨拶を教えてもらうなどもし、絵本を介した異文化交流を行った。今年度も引き続き実施予定。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿倍野区内の小学校の取り組みとして、朝の読書タイム、図書ボランティア・教職員・児童の図書委員による読み聞かせ、学校司書・図書ボランティア・児童の図書委員会による休み時間の図書館開放・阿倍野図書館によるおはなし会、読書ノートの活用・表彰、読書週間に本の紹介(教員・児童の代表、図書委員会)などがある。図書委員(4~6年)の活動は、子ども同士の高めあいにつながっている。 ・本好きの児童は多い。本が好きな児童は主体的に読書活動に取り組むことができているが、読書活動が苦手な児童は、なかなか進んで取り組むことができない。特に、高学年児童はその傾向が強くなっているのが課題。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本に対して心理的ハードルは低い。中学生になると好みが分かれ、多様化するため、嗜好がつかみにくいのが課題。 ・学校が読ませたい本と生徒の読みたい本に差異がある。 ・授業でビブリオバトルへの取り組みを実施。同世代の生徒のお薦めする本が興味を引いている。表現の場、刺激を与えあう場となっている。本を介して、自分の意見以外のことでも発言できている。 ・中学生に「今おすすめの本」の情報が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所子育て支援が実施する、成長・発達に不安がある子どもと保護者への遊び場・相談の場の提供「びあ・あべのん」で、絵本や子育て支援本の展示、貸出、読み聞かせの実施。 ・発達に障がいがあるなど、読みに障がいがある子どもが理解しやすい絵本などの情報がほしい。
住之江区	7月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館や子育て支援施設で読み聞かせの会を実施。 ・区内小学校でおはなし会を開催。 ・ブックスタートでの読み聞かせなどを実施。引き続き同様の活動を行う予定。 ・メンバーが高齢化てきて大型絵本の持ち運びが難しくなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の終わりには絵本をよんでいる。 ・絵本展の実施 ・季節ごとに絵本をいれかえ、手に取りやすいように工夫している。 ・同様の活動を継続し、絵本を届けていきたい ・外国にルーツのある子どもたちの利用が増えていて、対応を試行錯誤している。 ・(子ども・子育てプラザに来館する)小学生はあまり本を読まない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館からの配本の利用。家庭への貸出も実施。 ・図書館から派遣されたボランティアによるおはなし会の実施。 ・保護者参加行事で「ざぶとん読み」を紹介。 ・年齢や興味に合わせた絵本コーナーの設営や読み聞かせを実施。 ・コドモンで絵本の会の様子などを配信。 ・園や広場での読み聞かせはしていてもなかなか家庭での読み聞かせにつながらない。 ・長い絵本やおはなしを楽しめる子どもが減っている。 <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書手帳を活用したり、読書感想文コンクール等への参加を呼び掛けるなど本に親しむ工夫をしている。 ・雨の日以外の図書館の利用者が少ない。 ・高学年の読書量の低下について悩んでいる。 ・分類が理解しにくく、本がすぐ迷子になってしまうので困っている。 	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
住吉区	7月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアの高齢化(活動場所等に配慮必要) ・活動の多忙化(コロナが明けてからおはなし会の依頼は増えている。しかし新しくボランティアになる方はそんなに増えない) ・ボランティアの高齢化に加え、介護やこのごろは70歳代も働く人が増えるなどの事情でなかなかボランティアが増えない。 ・小学校での絵本の読み聞かせで、コロナ前のように、集まって読み聞かせをしにくくなっているところがある。 ・昔話の紙芝居を増やしてほしい。 ・大型絵本は増え、活動に利用できてよいのだが、普通の大きさの絵本は傷みがひどいものが多く、読み聞かせに使えないものが多い。 		<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞利用の促進について 手に取れる、最新のものを棚に置き、古いものも置いているが、活用の仕方を知りたい。5年生の授業で活用することははあるが、それ以外で何か活用する方法がないか?→以前、としょかんポイントを実施して(データベースの利用促進をすすめようとしたときに)データベース記事の中から答えをさがしてもらえるようクイズを作ったことがある。なにか新聞記事を読んで答えられるクイズを出すなど工夫してみてはどうか?(図書館より) ・5、6年生に図書の時間がなく、別の時間に変えられてしまうため、図書室に来てもらう時間がなくなってしまう。そうした中で本に興味を持つてもらうにはどうすればよいか。 ・同じジャンルの本を読む児童が多い。 ・図書の時間や朝読書の時間を確保したいが、学習の時間の兼ね合もありなかなか確保できない。 ・絵本から活字への移行が難しいと感じる。→自分からは、なかなか手にとらず。すすめると読んではくれるが…。 ・学校行事などで開館が難しいときがある。 	<p>住吉図書館の本の傷みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型絵本は増え、活動に利用できてよいのだが、普通の大きさの絵本は傷みがひどいものが多く、読み聞かせに使えないものが多い。(ボランティア) →状況を認識している。利用が多く、傷みも激しい。現在、払出、買い替え等作業中。順次、改善予定。(図書館より)
東住吉区	7月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが絵本を読まなくなっているが、デジタル社会を受け入れ、タブレットも紙もという両輪で進んでくれたらいいと思う。 ・事前練習のために集まって練習する場所に苦労している。図書館にボランティアルームがあれば良い。早川福祉会館を使用することが多く、判別がつくように「おはなしまたばこ」1年などおはなし会に行く先の学年を付けるなど、見分けがつくよう今年度からしている。 ・課題としてはメンバーの高齢化がある。新規メンバーの募集を毎年住吉区で行っていたが、今年度は東住吉区でも行う。 ・活動を認知してもらって、たくさんの子どもや親にきて来てほしいと思っている。ルールなど教えてもらつて、範囲内で告知などをしたい。私自身はボランティア講座で聞いた話を印象的だったので、写真絵本を中心に読み聞かせしている。ブックスタート事業の話は初めて聞いた。子どもと本のかかわりより映像が先に来ている。良し悪しはともかくそういう時代だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートが午前だったのを、午前と午後にした。参加者が増えた。配本の本は、小さい子向けのを部屋の中に並べて活用している。毎年報告するが、親世代が本を読まなくなっている。図書館を利用する保護者が減っていると思う。移動図書館が近くに来ているので紹介している。 ・絵本コーナーには、季節や年齢に応じた絵本を揃えて、自由に手に取って楽しめる環境を作ってきた。保護者と話しながらおススメしている。ブックスタートはあることを知らない保護者が多い。声掛けをしている。毎日の終わりの会で、年齢に合った絵本を選んで読み聞かせをした。絵本ボランティアによる読み聞かせでは、知らない絵本も読んでもらえる。大型絵本や手袋人形などプログラムも工夫していて、保護者にも喜んでもらっている。時間帯など調整が必要と考えている。図書館から遠いので自動車文庫を紹介している。 ・読み聞かせの時間に、年齢に応じ紙芝居、絵本を選んで読む。積極的に様々な絵本を紹介し、貸出する。ママ向けの絵本や本など、育児に悩むママたちに声かけてお勧めする。読み聞かせの時間以外で、個々に興味を持った絵本を読んであげる。年齢が0~3才で絵本の選択が難しいので、日頃から絵本の種類などを把握しておく。 	<p>【月1回、所内の絵本を貸し出している。おたよりなどを通じて、子ども達が好きな絵本を紹介している。引き続き、読み聞かせを通じて様々な力を育めるよう尽力していく。】</p> <p>【クラス担任以外で読みきかせをする機会を持つ。年齢や興味に合う絵本を探す手助けとなるような情報発信があれば、活用したい。】</p> <p>【日頃の保育では様々なジャンルの絵本・素話をとりいれている。】</p> <p>【配本を利用、長期の貸出でありがたい。5歳児のクラスで図書館を来館利用、今年度は4歳児の利用も考えている。クラスで人気の絵本を、玄関に実物を置いてアピールしている。絵本を題材にした「ごっこあそび」や「げきあそび」を保育の中に取り入れて、発表会を開いている。子どもから保護者へフィードバックし、保護者よりおたずねがある。「ごっこあそび」にしやすいのは、昔ながらの絵本。保育士によって原作に沿ったものもあれば、アレンジを加えたものもある。家ではゲーム、ユーチューブという家庭が多く、三歳児検診での視力検査に引っかかる子がいる。要らなくなった絵本を園に寄贈されるが新品である。絵本離れが進んでおり、厳しいものがある。】</p> <p>【小中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郊外校。入所している児童生徒はスマートフォンを持たず、基本的に情報は読書からとなり、読書習慣がついている。図書館からおはなし会に来てもらっている。小学校は週6時間国語の授業があり、日に2回国語の授業があることもある。学校司書の配置で学校図書館がきれいでなかった。低学年は水曜日に読み聞かせをしてもらっている。地域の方にも読み聞かせをしてもらっている。児童の90パーセントが「読書が好き」という回答をしている。だが中学になると、授業で学校図書館に行く機会が無くなり、「読書が好き」という割合も20パーセントほどに低下する。週1回でも授業で図書館に行けば違ってくると思う、もったいないと思う。】 	<p>【区役所】</p> <p>「東住吉魅力ある学校づくり応援団」制度で、学校図書館開放のボランティアを随時募集している。たくさんの方の参加で活動が豊かになると思う。乳幼児向けの親子教室で大型絵本のよみきかせを実施している。絵本に興味を持ってもらうきっかけになればと思う。待合室、相談室に絵本コーナーを設置し、自由に本を手に取れるようしているが、スマートフォンを見ている方が多い。1・2歳児ぐらいの子どもは絵本を見ていることもある。子育てOHえんフェスタで図書館ボランティアのおたのしみ会や、図書館の絵本コーナーの設置で、すごく楽しんで親子で絵本にふれあう姿が見られるので、活動を続けていきたいと思う。家庭訪問をする機会が多く、そこで小学生以下の子どもたちがタブレットやスマホをずっと見ている姿を見る。不登校の子どもは一日中見ていることもある。デジタルなものに触れる習慣がすごく多くなっていると感じる。区役所の待合のように、気軽に絵本にふれられる場所が増えていけばいいと思う。】</p> <p>【区社協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校、親子サロン、社会福祉施設から依頼を受け、登録ボランティアに行ってもらわう調整をしている。昨年3月の区民ホールでのさわやか祭りで絵本コーナーを設置した。】

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
		<ul style="list-style-type: none"> 親子で参加がとても多く、赤ちゃんから2・3歳までの未就学児の参加が多い。4月は入園で来なくなり、参加者がぐっと減る。小さい子どもも絵本を読み聞かせている間うろうろする。こちらはかまわないと思っていたりが、保護者はそうは思わないで、どうしたらうまく伝わるかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもだけでなく、高校生がマンガを読みに来ることも多い。小説などはあまり読まない。小学生の活字離れや読む本の隔りが気になる。絵本コーナーを利用される方の中には、図書館は絵本が多すぎてどの本をがいいかわからない、こちらの方が使いやすいという方もいる。本を借りると、子どもが小さく破ってしまうので、借りにくいという声もある。ブックスタートは、夫婦で参加されるケースが多く、これをきっかけに施設を利用はじめる方もいる。読み聞かせボランティアさんによる「おはなしいっぱい」を毎月開催するが、4月は参加者が少ない。区内親子サロンで絵本の読み聞かせをしている。 	<p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書に載っている本を集めた書架を学校司書が設営した。朝読書を1回10分から15分程度、週3回行っている。読書週間には多読賞なり記念品なり、取り組みを考えている。生徒の貸し出し冊数に応じて記念品に、文化委員でイラストの得意な生徒や短歌を作る生徒が作成したしおりをプレゼントし、好評である。ブックトークも行う。中学生は本を読む生徒と読まない生徒に二極化していて、読まない生徒は読書体験や読書習慣が無いため、本を読む発想がない。どのように本と結びつけたらいかが課題である。娛樂の多様化や本の高額化などで、生徒のみならず保護者も、家庭で本を読まないケースが増えていると思う。 	<p>おさんぽ絵本の取り組みに関心がある。趣旨に賛同した施設が絵本をシェアし、ステッカーを貼って、どこの施設でも気に入った絵本を持って帰って、別の施設に返せる。公共施設だけでなく飲食店なども参加している。おさんぽ絵本のコーナーをさわやかセンターに設置できたらいいと考えている。さわやかセンターにはボランティアの活動拠点として使用できるボランティアルームがあるので、練習に使ってもらつていい。</p>
平野区	7月8日	<p>読み聞かせボランティアグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に小学校でおはなし会をしている。小学校に置き本を置いていくが、本当に読んでくれているのかわからない。 小学校からおはなし会の依頼が昨年より減っている気がする。 保育所や幼稚園、クレオ大阪南、区役所親子ひろば、長吉子育て支援センターでおはなし会をしている。大型絵本やパネルシアター、組木等、いろいろなものを使っておはなし会をしている。 	<p>【子育て支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブックスタートや遊びの広場に絵本コーナーを設置している。保護者は絵本を手には取るが、なかなか借りて帰らない。保護者に聞くと、借りた本をやぶしたりしそうで心配という。 終わりの会で絵本やペーパーサート、今月のおすすめの紹介等もしている。 <p>【子ども・子育てプラザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てプラザは、集団に入る前の子が絵本に最初に出会う場。日常的に絵本を置いており、読み聞かせや配本のセット貸出をしている。普段出入りしている施設で本を借りれるメリットがある。 絵本だいすきノートを作つて配布もした。 えほん展も開催、おもちゃと絵本を置いていて遊びの延長で触れられる。 絵本を読んだ記憶は、子どもの記憶にも保護者の記憶にも残る。 	<p>【保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本の会のボランティアに読み聞かせをしてもらっている。 家庭で読み聞かせの時間が根付かないのが課題だと感じており、お誕生日の日に絵本貸出、座布団読み等をしている。本は好きな遊びの一つ。 保育所は読書の楽しさに触れる最初の部分だと思う。予算的に絵本の冊数を増やすのが難しいので、図書館からの配本は喜んでいる。 平野図書館に子どもたちとお散歩にきて、本を借りて帰ったりもして、公共での立ち振る舞いも学べる。 子どもが手にとれるところに絵本を置いている。 絵本から遊びにつなげることや、座布団読みや日々読み、絵本の貸出等をしている。 保育所の中では子どもたちは絵本が好きという印象だが、保護者に聞くと家では絵本よりYouTubeを見てますという子が多い。 	
西成区	7月30日	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアメンバーを増やす方法について、次につないでいく良い方法はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国ルーツの親子の利用が増加傾向にあることをふまえ、図書館から外国语の絵本を借りて展示することを予定している。 外国ルーツの保護者に日本の文化に親しんでもらうため、日本の伝統行事の絵本をそれぞれの時期に合わせて展示して読み聞かせの機会を設けることを予定している。 保護者が、積極的に絵本を読んであげる方も多いれば、絵本に全く興味を示さない方もいるため、季節や行事との関連付けなど、展示や紹介に工夫が必要かと感じている。 外国ルーツの親子でブックスタートに参加される方はほんのわずか。ブックスタートの紹介・参加方法などを伝える工夫が必要。 読み聞かせ動画を利用する保護者もいる。このことは否定しないが、保護者が子どもに読んであげることやコミュニケーションの大切さも伝えたい。 児童にマンガを勧めても「字を読むのがめんどくさい」と言って読まない子がいる。 	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の活字離れ(動画・タブレット利用の影響) 母語が日本語でない児童への読書支援(中国語を中心とした本の整備) <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒に読書をさせる機会を増やしたいと考えているが、なかなか時間を割くことができないのが現状・課題である。 生徒が市内の図書館を積極的に利用できるような取り組みが必要である。 生徒の読書数や図書室の利用頻度が伸び悩んでいることが課題である。 本よりもスマホ(SNSや動画視聴)が好き。読書=勉強を感じる? タブレットを使って、電子書籍・読書SNSなどの取り組みができると面白そう。 	

第5次大阪市子ども読書活動推進計画の策定について

■ 第4次 大阪市子ども読書活動推進計画の成果と課題

1 第4次(現行)計画の概要

現行計画	第4次大阪市子ども読書活動推進計画(概要版)		
これまでの経過	第3次計画(H30～R3)における成果と課題		
◆ 平成13年「子どもの読書活動の推進に関する法律」(推進法)施行 →地方公共団体は、推進計画を策定するよう努めなければならない	成果 「読書を全くしない」児童・生徒減　「読書は好きだ」児童増 <small>(「全国学力・学習状況調査」より)</small>		
・平成18年「大阪市子ども読書活動推進計画」策定 ・平成25年「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」策定 ・平成30年「第3次大阪市子ども読書活動推進計画」策定 ・令和3年 現計画を1年延長 計画期間 令和3年度末まで	課題 ・上記調査回答において、中学生の全国平均との乖離が小学生より大きい ・市立図書館13歳～19歳の登録者数減少		
策定にかかる背景	期間 令和4(2022)年4月から令和8(2026)年3月 4年間 基本方針 大阪市のすべての子どもが自ら生き生きと 読書を楽しめる読書環境の整備 観点1 子どもの読書環境の整備・充実 • 発達段階に応じた途切れないと読書習慣の形成により 主体的に学び続けることができる力を醸成 • 一人ひとりの多様性に応じた読書環境の整備 • とりわけ学校教育においては、読書環境の充実をはかる とともに、読書活動を通して読解力を育むことにも留意 • 紙の本とデジタル両方を活用できる能力の育成支援 観点2 子どもの読書活動に関する普及・啓発 • ICTを活用した情報発信と、紙の本による読書推進の両立 • 読書活動の検証、改善 観点3 人と本、人と人をつなぐ場の拡大 • 図書館を事務局として「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」開催 • 区や関連団体、市民主体の取組みなど、多様な人々との連携・協力の拡大		
関連計画等	本計画との関係		
2025大阪・関西万博	理念・目的(一人ひとりが互いの多様性を認め、「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現。SDGsが達成された社会をめざす)を踏まえる		
第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(国)	読書習慣の形成を目指し発達段階ごとの有効な取組みを推進		
第4次「大阪府子ども読書活動推進計画」(府)	少しでも本を読む子どもを増やすことを目指し、子ども一人一人に合った読書活動を一層推進する。		
「読書パリアフリー計画」(国・府)	視覚障がい者等の読書環境の整備		
「教育振興基本計画」	理念を共有		
「生涯学習大阪計画」			
「こども・子育て支援計画」(第2期) 「こどもの貧困対策推進計画」	子どもの環境・貧困と読書との関連を注視		

2 取組目標の状況

	目標	R3年度 (策定期点)	R7年度末目標	R6年度実績	
最重要目標	「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」において、「全くしない」と回答する児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小:29.9% (全国:24.0%) 中:49.1% (全国:37.4%)	小:23.5% 中:44.0%	小:32.8% ※1 中:42.4% ※2	△
	「読書は好きだ」において、肯定的に回答する児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小:71.2% (全国:75.0%) 中:58.7% (全国:68.0%)	小:76.5%	小:72.9% ※1	△

※1 大阪市学力経年調査 ※2 中学校アンケートによる (R6において全国調査に項目がなかったため)

- ・読書をしないと回答した児童(小学生)が策定期点より増加、生徒(中学生)は減少。
- ・読書は好きだと回答した児童は増加傾向がみられる。

活動状況に関する指標

	目標	R3年度 (策定期点)	R7年度末目標 (当初)	R6年度実績	
観 点 1	①学校図書館貸出冊数(冊) (児童生徒1人当たり年間貸出冊数)	小:29 中:3 (R元)	小:38 中:6	小:33.1 中:2.8	△
	②「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して「月に数回程度以上」と回答する学校の割合【小学校学力経年調査】	69.7% (R2)	80.0%	81.4%	○
	③市立図書館児童書の貸出冊数(冊)	2,716,230	3,000,000	2,987,814	○
	④市立図書館7-12歳(小)、13-15歳(中)の利用者数(人)	小:15,815 中:4,386	小:16,800 中:4,800	小:16,770 中:4,003	△
	⑤子育て支援施設等への配本回数(回)	426	430	436	○
	⑥市立図書館と学校との連携事業回数(回)	1,934	2,100	3,536	◎
	⑦市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数(冊)	84,499	100,000	65,639	△
観 点 2	⑧市立図書館「こどものページ」「ティーンズのページ」アクセス数(件)	26,767	28,000	22,144	△
観 点 3	⑨読書活動支援ボランティア数(人)	2,380	2,500	2,419	△
	⑩市立図書館と区役所等との連携事業回数(回)	946	1,200	1,474	◎
	⑪子どもの読書活動推進連絡会(全市、区)	年1回以上	年1回以上	年1回開催	○

- ・学校図書館・市立図書館の利用状況(①④)は、児童(小学生)で増加、生徒(中学生)で減少傾向にある。
- ・市立図書館と学校・区役所等との連携事業(⑥⑩)は盛んに取り組めている。
- ・市立図書館から学校への貸出冊数(⑦)は減少しているが、学校司書の配置により学校図書館の蔵書構成の改善が進み、各学校である程度まかなえるようになったことも反映していると考える。
- ・市立図書館ホームページのアクセス数(⑧)に見られるように、効果的な広報について課題が残る。

3 次期・第5次計画に向けた概括

- ・第4次計画に基づきさまざまな取組みが行われ、一定の成果をあげている。ただ、目標として設定した「読書をしない子どもを減らす」「読書が好きな子どもを増やす」については課題が残る。引き続きこのことを目標に据えて取組を進める必要がある。とりわけ中学生などティーンズ層を意識する必要がある。
- ・現行計画の基本方針・3つの観点は基本的に継承すべきである。取組内容は、大枠を踏襲しつつも、周知・啓発に一層工夫が必要である。また、先進事例の共有など、子ども読書推進に関わる人(具体的にはボランティア、教職員、図書館司書等)への支援の充実が必要である。

4 各区「子どもの読書活動推進連絡会」で出された意見から

大阪市子ども読書活動推進計画の進捗管理のため、地域における子どもの読書支援活動に関する組織・関係者間の情報共有等を行う 各区「子どもの読書活動推進連絡会」を毎年開催。

令和 7 年度は 6 月～7 月に開催。

構成員：読書活動支援ボランティア、生涯学習推進員、いきいき、学校元気アップ、はぐくみネット、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など、地域で活動する方々。子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターの職員など。公・私立幼稚園、保育所、認定こども園の職員など。教職員（各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事（管理職）、司書教諭、学校図書館主任、学校司書など）。区役所（教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など）。以上に参加呼びかけ。

事務局：市立図書館

【この間の取組成果】

総論

- ・子どもたちは絵本が好きで、1人が絵本を持ってくると、次々持ってきてくれる。ゆったり、何度も読み聞かせできるといいなと感じる。（東淀川区）
- ・子育て支援イベントでの絵本活用（東成区・保健福祉課）
- ・読書離れがすすむなか、読まない子にとっては読み聞かせが本への入口になり効果があると思う。（生野区）
- ・各施設では、子どもが自分で本を手に取れる環境の重要性を認識している。（平野区）
- ・子どもの読書支援という視点とは少し異なるが、令和7年度から「スマホの適正利用」について区役所教育担当とともに取り組んでいる。（港区）

乳幼児

- ・ブックスタートを午前と午後に開催、参加者が増加した。（東住吉区）
- ・幼児期の図書のセット貸出は好評。（都島区）
- ・配本、団体貸出がありがたい。配本の頻度がもっとあればよいのだが。（城東区）
- ・図書館での定期的な本の貸出（配本）を利用していきたい。配本は初めて見る良い絵本に出会えることも多々あり、うれしく思っている。（西淀川区）
- ・保育園・幼稚園では中央図書館からの幼児期図書の団体貸出を利用し、園での貸出や子どもが自由に絵本を手に取れる環境をつくるなど取り組みが行われ、ボランティアによる読み聞かせなど、絵本に触れる機会は増えている。（阿倍野区）
- ・子ども・子育てプラザで、配本のセット貸出をしている。普段出入りしている施設で本を借りれるメリットがあり、昨年度は前より貸出数が増加した。（平野区）
- ・つどいの広場の案内や、子ども・子育てプラザ利用者には同じ施設内にある図書館を案内している。（港区）
- ・図書館での絵本ボランティアによる絵本の読み聞かせが 30 分設定となっており、対象児が 0 歳から概ね 3 歳までの子どものため、内容を工夫していただいているが、子どもたちの集中が途切れてしまい申し訳なく感じた。（港区）

- ・幼児期からの図書館訪問(東成区・幼稚園保育所)
- ・保育所から平野図書館に子どもたちとお散歩にきて、本を借りて帰っている。公共での立ち振る舞いも学ぶ。(平野区)
- ・コロナ禍で多数の子どもが一度に触れ合うのを避けるために年齢別に読み聞かせを実施したが、少人数になったり対象年齢を分けたためにかえって子どもの様子がよくわかるようになった感がある。(城東区)
- ・新しく入った絵本や絵本の会の様子などを配信で紹介するのは、保護者へ伝わりやすかったようだ。(住之江区・幼稚園)
- ・親子で絵本を通してふれあいの時間を持てるような働きかけを考えている。絵本紹介コーナーを設置したり、館内の本の置き場所を変えるなどして貸出数が増えた。(鶴見区)
- ・絵本を用いた「ごっこあそび」や「げきあそび」の実施により、保護者から絵本に関する質問があった。(東住吉区)

学校

(学校図書館)

- ・主幹学校司書配置校では、継続した絵本の読み聞かせなどの取組により、子どもたちの様子がよくなつた。(配置校でなくなったので様子が変わりかけているのが残念)(都島区)
- ・図書室が週 4 日開いていた時は子どもの居場所としても機能していた。いろいろな意味で学校司書配置の意義が感じられた。(1 日に減ったのは大変残念)(此花区)
- ・主幹学校司書より学習漫画から長編の物語への移行の課題について、味見読書を行ったところ少し効果を感じた。(天王寺区)
- ・今年度から主幹学校司書の配置になり、図書の時間に毎回読み聞かせをしてもらったり、蔵書構成に気を配っていただいたら助かり。高学年の子も興味津々である。(城東区)
- ・学校司書が配置され、授業の支援や図書の選書の支援など、学校図書館は確実に改善されている。また、ボランティアによるおはなし会、読み聞かせは全校で実施され、小学校でも、中学校でも本が好きな子どもは多く、読書習慣がある。(阿倍野区)
- ・保幼小連携の取り組み: 5 歳児への貸出(東成区・教職員)

(子どもの様子)

- ・今年の新1年生はよく読める子が多い印象。絵本の読み聞かせもしっかり聞け、反応もいい。就学前に地域のいろいろな場で絵本を読んだり読み聞かせを聞いたりする機会があったからではないかと思っている。このあと、これをどうつないでいけるかが重要だ。高学年・中学生になってもよく読み続けられるようにと思う。(北区)
- ・働きかけ次第では、高学年・中学生でも熱心に読書する(都島区)
- ・小学校で One Book One OSAKA の投票用紙が届いたので早速本を展示したところ、幼稚園や保育園で読んだ、などすぐに反応があった。幼稚園や保育園で先生が読み聞かせをしている成果だと思う。(中央区)
- ・えほんの会読み聞かせボランティアの派遣により、絵本やお話しに対する集中の時間が長くなっている。(浪速区)
- ・4 年生までは、週 1 で本を読む機会を設けている。低学年の時にどれだけ手厚くしたかで違ってくると思う。(旭区)
- ・ボランティアに読み聞かせに来てもらうと、教職員が読むのとはまた違った本のセレクトがあり、いい機会である。(城東区)

[資料 9]

- ・小学校では図書の時間に積極的に本を読まない子どもがみられる。一方で、心理テスト風の本に興味を持つ子がみられるように、関心を引く題材の選択が一つの解決策となっていることが示唆される。(平野区)

(区の取組み)

- ・小学校高学年・中学校における電子書籍の導入(東成区・市民協働課)
- ・「ひらちゃん読書ノート」を区内小中学校へ配布し、到達者の区長表彰やファイルのプレゼントを実施している。多くの学校で「ひらちゃん読書ノート」が活用されている。(平野区)

(その他)

- ・読書の木、図書みくじ、図書委員によるポップの作成、50冊以上本を読んだ子を表彰するなど、様々な取り組みが子どもたちが本を手に取るきっかけとなった。(鶴見区)
- ・中学校で文化委員の生徒が作成したしおりが生徒に好評を得ている。(東住吉区)
- ・クイズを利用して子どもの興味を引き、本に導く工夫を行っている。(平野区)

多文化

- ・多言語のえほんリストが役立っている。(浪速区)
- ・(小学校)多国籍の子は、日本語でのコミュニケーションが難しいので、やさしい日本語の本があったほうがいい。日本語学習は受験にも有効。先生からもやさしい日本語の本への要望が高いので、入れていきたいと思っている。(生野区・ボランティア)
- ・(小学校)外国ルーツの児童向けに多言語の絵本を生野図書館から借り受けて図書館におく取り組みをした。冊数は少ないが、日本に来たばかりの子はすごく読んでいる。そこから日本語でほかの児童と交互に読む、いっしょに読むという読みあいをする姿も見受けられるようになった。ほかの外国語の本も置いてほしいと、本があることでニーズがでてくるようになった。(生野区・教職員)
- ・子育て支援施設で多言語絵本の読み聞かせを実施。参加者は多国籍にわたり、自国のものに触れたいと参加されている。(阿倍野区)

大人・保護者・家庭

- ・大人がうまくきっかけを作ったら意欲的に読書に取り組んでくれる子も多いことがわかった。(此花区)
- ・絵本は読んでもらうもの、ということで各施設や学校園で様々な立場の人が読んであげる機会は定着していると思う。親子で絵本を楽しむ機会を家庭でも、あるいは施設に出かけたときでも出来る機会を盛り上げられたらと思う。(城東区)

ボランティア

- ・区内のボランティアグループへ活動費助成(東成区・区社協)

図書館

- ・各学校でのお話会の際、図書館のお話会の宣伝(チラシをみせて)により、図書館のお話会へ参加される児童が増えている。(鶴見区)

【子ども読書活動推進への課題認識】

総論

(自発的・能動的な読書に課題)

- ・子どもたちは本を読んでもらうことはとても好きだと感じているが、受動的な読書から能動的な読書への移行が難しいとも感じている。絵本から物語の本を読めるようにするにはどうしたらよいのだろうか。また、読む子と読まない子の格差が広がっている気がする。(北区)
- ・読んでもらうことから自分で読むことへの移行が難しい。(此花区)
- ・読書をすすんでする子どもが減っており、どのような声かけや取り組みを行ったらよいか悩んでいる。(港区)
- ・多くの子どもが読み聞かせを楽しむ一方、自分から本を読むことには消極的な印象。読み聞かせを通じて本に親しんだ子どもたちが、自らすすんで読書するようになるには、どのような環境を整備したり、どのようにアプローチしたりするのが有効か。(東淀川区)

(イベント参加者の低年齢化)

- ・イベントや子育て広場などの参加者が低年齢化している(都島区)
- ・小学生になるとおはなし会に来ないこと、また高学年の図書館利用者が少ないとなどがある。(福島区)
- ・行事の参加者の低年齢化。小学生以上の参加が少ない。(浪速区)
- ・催しをしても小学生の来館者が少ない。(西淀川区)
- ・図書館の行事に、小学生の参加がとても少ないと。乳幼児は親が連れてきてくれる、小学生になって親が連れてこない年代になると来ない。(生野区・ボランティア)
- ・おはなし会に来られる方の低年齢化。小学校へ行く前の 4~5 才は少ない。もっとその年代の子たちが来てもらえるイベント等を考えたい。(鶴見区)

(デジタル志向)

- ・動画やスマホに時間を取られる(此花区)
- ・デジタル化が進む中、紙媒体の書物の需要が減っているのではと思う。子どもにはデジタルではなく今後も紙媒体の絵本が広まればと願う。スマホの画面を見てしまいがちだが、小さい絵本などで楽しんでもらえたらと思う。(中央区)
- ・タブレットで調べものをすることが多く、学校図書館の本で学習する機会が少ない。(港区)
- ・携帯等メディアが普及した現代では、子どもたちも忙しい毎日を過ごしながらも、画面を見る機会が増え、人と目を合わせて話す機会が減っていると感じる。(大正区)
- ・えほんの読み聞かせより、動画などの視聴にたよっている家庭が多い。(浪速区)
- ・親が用事をできるので YouTube を見せている。親子で絵本を見る時間をつくれないか。(西淀川区)
- ・昨今はタブレットやスマートフォンが主流となり、細かい字の本を手に取る児童が少ない。(東淀川区)
- ・YouTube や SNS の普及で映像に慣れてしまっている子が多く、絵本を見る習慣がないという姿も見られる。大型絵本や CD(歌)のついた絵本なども利用し、読み聞かせを続けて絵本の楽しさを知らせたい。(東淀川区)
- ・家庭ではスマホに押されて読書の機会が減っている。(東成区)
- ・保育所の中では子どもたちは絵本が好きという印象だが、保護者に聞くと家では絵本より YouTube を見てますという子が多い。(平野区)
- ・タブレット利用が読書をすることの妨げになっている。(平野区)

(その他)

- ・読み書きに苦手意識のある子どもへの対応が課題。(東淀川区)
- ・長い絵本の読み聞かせが難しくなってきた。内容理解が追い付かない、集中力が続かないなどあるが、全体的に幼くなっている。(住之江区)
- ・子どもにとって魅力的な活動とは何か？子ども達が絵本や本に触れることが、楽しいと思えるような工夫が必要。(淀川区)
- ・学校間や地域格差の解消(図書館が遠い、家庭環境など)。(都島区)

乳幼児

(ブックスタート)

- ・区内の人口増加地域で子育て支援施設が近くにないところがある。ブックスタートは区を超えて参加してよいことを相談があれば伝えている。(北区)
- ・ブックスタートの参加者が少ない。(都島区)
- ・ブックスタートの参加率についても、大阪市としても課題とのこと。もっと多くの人に来てもらえるように、図書館やいろんな子育て関連施設にも協力してもらい、広報等、力を入れていきたい。(港区)
- ・ブックスタート参加率が40%と伸び悩んでいる。(東成区)
- ・多くの保護者がブックスタートを知らない。(東住吉区)

(施設への図書の設置)

- ・保育施設での蔵書の充実が予算的に難しい。(都島区)
- ・絵本の単価が高く、種類を充実させたいが予算的に難しい。(天王寺区)
- ・もう少し身近に移動図書館やミニ図書館があれば嬉しい。(西淀川区)
- ・絵本の貸出をしているが貸出数が年々減っている。(西淀川区)
- ・幼稚園は図書に割ける予算が大変少なく苦慮している。(城東区)
- ・子どもが興味を持った時に絵本を提供してあげたいが、予算的にも難しい。(鶴見区)
- ・配本の絵本を貸出して家でも絵本に親しんでもらいたいが紛失等を考えると実施できていない。(天王寺区)
- ・施設の絵本の設置場所の確保や資料のマンネリ化が課題。(淀川区)
- ・施設に置いてある絵本を保護者は手には取るが、なかなか借りて帰らない。保護者に聞くと、借りた本をやぶしたりしそうで心配という。(平野区)

(その他)

- ・昨年までの大阪市東淀川区独自事業(ブックスタート3冊絵本より選択)が終了したことが残念。現在はストック分の絵本を選択できているが、今後が課題。この事業を取りまとめている東淀川区役所によると今年度は予算の都合で実施できなくなったとのこと。(東淀川区)
- ・小中学生の読み書き習慣が身につくように就学前から絵本に触れる機会が必要(港区)
- ・保育所では15年、20年前に比べると絵本に親しむ子は減っているように感じる。図書館のボランティアに来てもらった時は集中して聞いていている。(生野区)
- ・幼稚園でアンケートを行ったが、「絵本に親しみを持っているか？」という質問への回答が悪かった。本に親しんでいる子の個人差があるので、どの様な工夫をしたら良いか。(鶴見区)
- ・子供が小さいため、絵本を破くなど借りることに不安を感じる声がある。(東住吉区)
- ・子どもたちに読み聞かせをしても自分から能動的に読むのが少ない。家庭で本を読まない。(平野区)

学校

(読書離れ)

- ・高学年になるにつれ読書離れの傾向がみられる。(都島区)
- ・高学年への本選びが難しい。(福島区・ボランティア)
- ・小学校でも図書室に来るのは低学年が多い。(福島区・教職員)
- ・中学生の読書離れ。図書室に来る生徒が少ない。(浪速区)
- ・高学年になるほど読書離れが進む(東成区)
- ・本を読まない子への支援が課題。(西淀川区)
- ・小学校では、読書活動が苦手な児童は、高学年が上がるにつれ図書館に距離を置くようになるのが課題。(阿倍野区)
- ・小学生も高学年になるほど図書館への来館が減り、本を読まなくなっている。(住之江区)
- ・5, 6 年になると、図書室利用の時間がなくなってしまう中で本に興味を持つてもらうにはどうすればよいか。(住吉区・教職員)
- ・中学生の授業での図書館利用機会の減少に伴い、読書好きを示す割合が小学校より低下する。(東住吉区)
- ・小学生の活字離れと読む本の隔たりが課題。(東住吉区)

(読む子・読まない子の二極化)

- ・本に興味のある生徒は図書室の利用も多く、来室人数も多いが、本に興味のない生徒たちに興味を持つてもらうことが難しいと感じている。(中央区)
- ・本を読む子と読まない子がはっきりわかつてきている。(西淀川区)
- ・学年があがると読む子と読まない子の差が大きくなる。本への興味や関心を持続させるためには?(旭)
- ・中学生は本を読む・読まないの二極化が進行している。(東住吉区)

(読書傾向)

- ・物語をすんで手にとらない児童もあり「他人の人生を体験する」機会が減っていることが、現実の人間関係の構築の難しさに影響しているのではないか。そのため本校では「貸出冊数3冊のうち1冊は9類」というルールができた。(港区)
- ・小学生の読む本がサバイバルシリーズ等の漫画や写真が多い本に偏っている傾向を感じる。絵本やサバイバルシリーズ等の学習漫画から長編の物語への移行が課題。(天王寺区)
- ・中学校では、学校が読ませたい本と生徒の読みたい本の差異あり。好みが分かれ、多様化するため、中学生の嗜好がつかみにくいのが課題。(阿倍野区)

(学校図書館)

- ・学校図書館は古い本が多く、新しい本をもう少し買える予算が必要(港区)
- ・学校図書館の開放時間が限られている。(浪速区)
- ・図書室の座席数が少なく、1クラス全員が着座できない。授業で使用できないことがネック。(東淀川区)
- ・主幹学校司書の勤務校が替わったため、勤務が減ってしまった学校からすると、これまでの分を教職員でカバーすることになり大変。学校司書はいなくなったら本当に困る。(城東区)
- ・0~8 類の棚の資料が古くなっているが、選書に苦慮している。区内で情報共有できれば良いなと思っている。(鶴見区)
- ・中学校の学校図書館が、学校行事などで開館が難しいときがある。(住吉区・教職員)

(デジタル志向)

- ・調べものはスマホでてしまい、本を見ない。(西淀川区)
- ・調べ学習がタブレットになりがちなのが心配。(鶴見区)
- ・小学校で空いている時間にタブレットか本を読みなさいと言うと、ほぼタブレットでタイピングゲームをしている。タブレットに勝つのが難しい。(平野区)

(その他)

- ・幼少期に時間をかけてあげられるかどうかが大切。中学生、高校生で学力が厳しい子、切れやすい子は読書習慣が乏しい傾向にあるようだ。読書習慣の積み上げが、学力の土台となる。(旭区)
- ・読書の楽しさを感じさせるか。学校でも読む子とよまない子の差が大きい。図鑑・まんが眺めているだけ、といった様子が見られる。(城東区)
- ・家で本を手にする時間が忙しくて取れない…という子どもたちの声がある。読書の宿題を定期的に出すことで読書の機会を設けているが、直接的な解決になっているのか悩むところ。(鶴見区)
- ・絵本から活字への移行が難しいと感じる。自分からは、なかなか手にとらず。すすめると読んではくれるが…(住吉区・教職員)
- ・小学校で本を読む機会を増やしてあげたいが、図書の時間以外に読書時間をとるのが難しい。(平野区)

読書バリアフリー

- ・読書バリアフリーの対象となる利用者、多言語での対応が必要な利用者に子育て支援施設がなかなか利用されていない。(北区)
- ・手話による絵本の読み聞かせなど読書バリアフリーを推進する催しの実施。手話イベントの参加者にろう者がおられなくても、言語としての手話の普及・啓発にもつなげられる。(北区)

多文化

- ・外国にルーツのある生徒も多く、日本語の文章の本を読むことは難しいので、そのような生徒に対してどのようにして本に興味を持つてもらうかというところが課題だと感じている。(中央区)
- ・外国にルーツのある子どもが多く、日本語の絵本を理解することが難しく、ストーリーのある絵本などの読み聞かせが難しい。(浪速区)
- ・外国ルーツの親御さんが日本語の本を翻訳して読み聞かせるのはハードルが高いと思っている。日本語を話さない親にとっても日本語の本を読むことは難しい。(生野区)
- ・こどもにあう本の選び方、どのように掲示したらいいのか、外国ルーツの子にどんな本をえらんであげたらいいのか、などが課題(生野区)
- ・読み聞かせが聞きにくい子は日本語がわからない外国籍の子が多い、外国籍の子への読み聞かせをどうしたらしいのかを模索中。(生野区・ボランティア)

大人・保護者・家庭

- ・子どもが読書に親しむためには、保護者に対する働きかけが必要。(都島区)
- ・大人も含め、日々の生活に忙しくゆっくり読書する時間を取りれない。(此花区)
- ・家庭で読書の習慣がないところが多数あり、日常的な読書習慣がつきにくい。(大正区)
- ・親世代が本を読む習慣がなくなりつつあり、子どもに絵本を読み聞かせることがなくなり、スマホに子守りを任せていることが多くなってきていると思う。(大正区)
- ・子育て施設で、子どもに読み聞かせをする親の姿を年々見かけなくなっていると実感する。(城東)
- ・保護者が家庭の中で読み聞かせをするなど、家庭の中で絵本を取り入れてもらう取り組みの必要性。(阿

倍野区)

- ・家庭での読み聞かせが減っている。(住之江区)
- ・親世代の読書離れが進み、図書館利用も減少している。(東住吉区)
- ・家庭で本を読む習慣が減少している。(東住吉区)
- ・幼少期からのデジタルデバイス利用で、親子の絵本共有時間が減少している。(東住吉区)

ボランティア

(メンバー確保)

- ・ボランティアメンバーの高齢化、ライフスタイルが変化すると活動を休止してしまう、新たなメンバーの獲得が難しいなど(都島区)
- ・ボランティアの活動時間が限られている。(浪速区)
- ・ボランティアグループの高齢化。40-50代のメンバーがふえてほしい。(生野区)
- ・高齢化のため配慮が必要となっている。加えて、介護やこのごろは 70 歳代も働く人が増えるなどの事情でなかなかボランティアが増えない。新しくメンバーが増えてても例会に続けて参加できる人が少ない。仕事などを持っている人は、月 1 回くらいしか参加できない人もいる。高齢なので、急に休む人がでるとばたばたすることがある。(住吉区)
- ・ボランティアメンバーの高齢化や、新規メンバー獲得が課題。(東住吉区)

(その他)

- ・イベントで読んだ絵本を、今度は自分で読みたい、保護者に読んでもらいたいと興味を持ってもらえるような本の選定ができているかと考えさせられる。(港区)
- ・図書館から依頼の派遣施設で実施する大型絵本やおはなし組木の運搬に困っている。(天王寺区)
- ・ボランティア活動で必要な練習場所の確保が困難だ。(東住吉区)

図書館

- ・つどいの広場の利用者に、図書館の利用について聞いてみたら、行ったことがないとの返答が多い。赤ちゃんのスペースもあり、親子が時間を過ごせる場所であることを、もっと知ってもらえたなら良いなあと思う。(港区)
- ・図書館の水曜おはなし会の参加が減っている。(旭区)
- ・ブックスタートや地域へ読み聞かせに行くと、図書館に行ったことがない、知らないという若い親世代に多く出会う。(阿倍野区)
- ・図書館の読み聞かせ行事の参加者の低年齢化。0・1・2 歳の乳幼児が多く、小学校以上の子どもの参加が少ない。(阿倍野区)
- ・小学生以上のことどもにおはなし会に来てもらえない。おはなし会を水曜日夕方 4 時からやっているが、夕方学校が終わってからくる時間では間に合わないのか。(住吉区・ボランティア)
- ・小学校高学年や中学校の子どもたちの来館はあるものの、おはなし会への参加がなかなか無い。(住吉区・図書館)

【次期計画への提案】

総論

(情報発信)

- ・子どもに絵本を読み聞かせるメリットを多く知らせていく必要があると思う。(大正区)
- ・様々な活動やイベントについて、もっと多くの方へのアピールが出来ないか。(図書館イベント、幼稚園等では保護者への知らせ方など)(淀川区)
- ・年齢や興味に合った絵本を探しやすくする情報発信が必要である。(東住吉区)
- ・最近の方は紙よりも、SNSで情報入手されることが多いと思う。チラシを渡そうとすると、SNSで見てくるからと断られることもある。(旭区)

(その他)

- ・小学生が未就学児に読み聞かせをするなど、施設内で実施出来ているところもあるが、施設等を越えて取り組みが出来れば。(淀川区)
- ・おはなし会や人形劇から、読書へつながるようにしていきたい。(鶴見区)
- ・学校・図書館・ボランティアが密に連絡を取り合い、連携していくことが重要。(鶴見区)
- ・区役所等の公共スペースで絵本に触れられる機会の増加をはかる。(東住吉区)
- ・デジタル機器と紙の絵本の両立を目指す。(東住吉区)
- ・先生や保護者の協力が読書促進に不可欠である。(平野区)
- ・乳幼児の保護者や児童生徒本人を対象としたスマホの適正利用に関する啓発にご協力いただきたい。(港区)

乳幼児

- ・乳幼児の保護者に、保護者自身が絵本に親しむ、本を読む楽しさを感じてもらう、絵本を通じて子どもとコミュニケーションする方法を知ってもらう機会を作る。(都島区)
- ・(小学校入学前の児童に対して)読書につながるよう読み書きの授業に重きを置くなど、普段から文字にふれさせる活動が重要だと考えている。(大正区)
- ・乳児向けの行事絵本や季節の絵本、紙芝居の読み聞かせを増やしたい。図書館でこの分野を購入し「赤ちゃんコーナー」を作つてほしい。(天王寺区)
- ・つどいの広場などに来館した親子に直接声をかけるなどしてブックスタートの周知をすすめる。(住之江)
- ・保育園や幼稚園のお散歩コースに図書館をとりいれ、自分たちで好きな本を選ぶ楽しさを味わってもらうようにする。(住之江区)

学校

(学校図書館(学校司書配置))

- ・学校司書の増配置(都島区)
- ・学校図書館への司書の増配置(此花区)
- ・学校司書の勤務日数を増やしてほしい。(天王寺区)
- ・学校図書館の開放増のためにも、学校司書の配置の日数を増やしてほしい。図書予算を拡充してほしい。(浪速区)
- ・学校司書の勤務日を週 2 日にし、子どもの活動の充実につなげられないか。(東淀川区)
- ・学校司書の配置が週 1 回では不十分。(東成区)
- ・学校図書館への司書の配置増。(鶴見区)

- ・学校司書の配置を増やしてほしい。(住之江区)
- ・各区に1校のみ主幹学校司書として週4日配置されているが、他校は週1日のため、更なる配置日数の充実が必要。(住吉区・ボランティア)

(その他)

- ・学校司書とボランティアの連携。朝読などでボランティアが読んだ本を学校図書館で展示したり、テーマにそって紹介したりすると子どもたちに伝わる。(浪速区)
- ・小学生、中学生にも手に取って本を見ることが大事。声掛けしている。(城東区)
- ・家庭で紙媒体で文字を読む機会がとても少ない。その為学校図書館の活用や開放は重要な一端を握っていると考えている。しかし教員だけではうまく活用しきれない場面も多く、学校司書のサポートがより強化されることを強く望む。(鶴見区)
- ・児童・生徒が読書に興味をもつことができる取り組みの共有。(阿倍野区)

読書バリアフリー

- ・手話による絵本の読み聞かせなど読書バリアフリーを推進する催しの実施。手話イベントの参加者にろう者がおられなくても、言語としての手話の普及・啓発にもつなげられる。(北区)

多文化

- ・外国語の本を学校図書館で購入するのは難しいため、多言語の図書を貸出してほしい。(港区)
- ・外国にルーツのある子どもに、外国語での読み聞かせを個別にしていくことが必要。(浪速区)
- ・外国籍の保護者もわが子に読み聞かせできるような外国語絵本の種類が増え、国籍等問わず色々な絵本に触れる機会ができるといいと思う。(東淀川区)
- ・外国につながる子どもへは積極的な声掛けを(東成区)
- ・学校おはなし会について。日本に来て間もない、外国ルーツの児童が多い学校での読み聞かせは写真の絵本を中心にセレクトするなど内容を工夫することもできると思う。例えば、外国ルーツの児童がクラスいるかなど、事前に学校から情報提供してもらうことはできないか？(生野区・ボランティア)

大人・保護者・家庭

- ・大人が読書の魅力を知って、子どもに適切に働きかける機会を増やす。子どもが自ら読書に興味を持つかけづくりをいろいろ工夫して実施していく(此花区)
- ・ネット情報等で絵本を1日数回読まなければと思っている保護者も多く、絵本は親子のコミュニケーションツールであると伝え続けるしかないと感じている。(天王寺区)
- ・これまで絵本に触れていない保護者から読み聞かせをどうしてよいかわからないという声を聞く。自信が持てるように保護者に伝えていく取り組みが必要と考える。(天王寺区)
- ・物理的に本が身近にあることが重要、そして本と子どもをつなぐ人がいると本が身近になる。大人の介在が必要(旭区)
- ・土日なら父親参加も見込まれるので、土曜日に開催したらどうか。親御さんをどんどん巻き込むことが必要。(旭区)
- ・楽しい本が身近にあればみんな勝手に読むようになる、というわけではない。周りの大人がどう手渡し、面白さを伝えるか、しかけていくかが問われている。(城東区)
- ・成長・発達に不安のある子ども・保護者への取り組み。(阿倍野区)

ボランティア

- ・派遣施設で実施する大型絵本やおはなし組木について図書館が搬送方法を検討して手段を提供してほしい。(天王寺区)

図書館

- ・すばらしい本や紙芝居が無料で借りられる図書館に一人でも多く集ってほしい。(港区)
- ・公共図書館内の子どものコーナーの整備。子どもに人気の絵本ブース、新刊の絵本ブース、人気作家の絵本ブースを作るなど、読みたい絵本を探しやすいのでは。(浪速区)
- ・読み聞かせ・おはなし会に加え、読書につながる工作教室を行う(東成区)

■ 第5次 大阪市子ども読書活動推進計画 策定の方向性・骨子案・構成案

1 策定の方向性

(1) 基本方針と3つの観点について

基本的には、今回も継承する。

(2) 成果指標について

「読書をしない子どもを減らす」「読書が好きな子どもを増やす」を象徴的な指標とする(アウトカム指標)。

(3) 構成について

大きく2つの章で構成し、第1章で大きな考え方、第2章で各論ごとの課題と取組みを述べる。

(理念は第4次計画を継承するが、わかりやすさを重視するため、構成は大きく変更する。)

2 骨子案

第5次 大阪市子ども読書活動推進計画(骨子案)

・基本方針

大阪市のすべての子どもが生き生きと読書を楽しめる読書環境の整備

・3つの観点

1 子どもの読書環境の整備・充実

乳幼児期から、発達段階に応じて途切れなく読書環境の整備に取り組むとともに、外国につながる子どもや障がいのある子どもも含めたすべての子どもが読書を楽しむことができるよう、一人一人の多様性に応じた対応により、読書習慣の形成をめざします。学校教育においては、読書環境の充実をはかるとともに、読書活動を通じて読解力を育むことにも留意します。また、紙の本とデジタルそれぞれの特性を理解し、その両方を活用できる能力の育成を支援します。

2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

積極的に情報発信を行い、子どもの読書活動の推進につなげます。また、子どもへの普及・啓発、大人への理解促進の両方を意識し、催しの開催や紙媒体での発信、ホームページや SNS の活用など、目的や内容に応じた手段を用いて効果的に行います。

3 子どもと読書に関わる人のつながり作り

ボランティア、教職員、企業・団体など、子どもの読書に関わる人のつながり作りを進め、読書活動支援の輪を広げることで、社会総がかりで子ども読書活動を推進することを目指します。

・目標(成果・進捗把握)

読書をしない子どもを減らす

【指標】全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙調査)の「学校の授業時間以外に普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間読書をしますか(教科書や参考書 漫画や雑誌は除く)」に対して「読書を全くしない」と回答する児童・生徒の割合。

読書が好きな子どもを増やす

【指標】大阪市学力経年調査(児童質問紙調査)の「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合。

・計画期間

令和8年度から令和11年度までのおおむね4年間

3 構成案

冒頭 骨子 ・基本方針 ・3つの観点 ・目標 ・計画期間

まえがき ・意義付け、法的根拠、経過、あいさつ(前計画 1 章の 1 を包含)

第1章 基本的な考え方

1 子ども読書活動をめぐる状況

(1) 子どもと読書の現状

読書離れを強調するだけでなく、子どもは本好きということを肯定的に表現

(2) 広域的な状況(国・府)

国第 5 次計画、府第 5 次計画、新たな観点(子どもの声を聞く、など)

2 大阪市における子ども読書活動

(1) 大阪市の状況

市全体の状況、関係する他の計画の状況など。

(2) 第 4 次計画の振り返りと明らかになった課題

第 4 次計画を概括。区連絡会での特徴的な意見の紹介など。第 5 次も第 4 次を継承。

(3) 各セクターの役割

区、学校、市立図書館、ボランティアなど、各主体の役割を位置づけ。

第2章 観点ごとの課題と取組み

1 子どもの読書環境の整備・充実

(1) 子どもの状況に応じた読書環境

①年齢・発達段階 (乳幼児・就学前、学校(後掲)、ティーンズ層)

②ひとりひとりの状況 (障がい、病気、貧困、多文化)

③多様な「場」 (市立図書館、こども本の森中之島、その他…)

(2) 学校教育における読書

(3) デジタルネイティブ世代の読書 (それぞれのメディアの特性、紙・デジタル両方を活用できる能力)

2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

(1) 普及・啓発活動

(2) ターゲットに応じた効果的な広報

3 子どもと読書に関わる人のつながり作り

(1) 連携・協働の輪を広げる取組み

(2) 読書活動推進の担い手への支援

3 構成案

冒頭 骨子 ・基本方針 ・3つの観点 ・目標 ・計画期間

まえがき ・意義付け、法的根拠、経過、あいさつ(前計画 1 章の 1 を包含)

第1章 基本的な考え方

1 子ども読書活動をめぐる状況

(1) 子どもと読書の現状

読書離れを強調するだけでなく、子どもは本好きということを肯定的に表現

(2) 広域的な状況(国・府)

国第 5 次計画、府第 5 次計画、新たな観点(子どもの声を聞く、など)

2 大阪市における子ども読書活動

(1) 大阪市の状況

市全体の状況、関係する他の計画の状況など。

(2) 第 4 次計画の振り返りと明らかになった課題

第 4 次計画を概括。区連絡会での特徴的な意見の紹介など。第 5 次も第 4 次を継承。

(3) 各セクターの役割

区、学校、市立図書館、ボランティアなど、各主体の役割を位置づけ。

第2章 観点ごとの課題と取組み

1 子どもの読書環境の整備・充実

(1) 子どもの状況に応じた読書環境

①年齢・発達段階 (乳幼児・就学前、学校(後掲)、ティーンズ層)

②ひとりひとりの状況 (障がい、病気、貧困、多文化)

③多様な「場」 (市立図書館、こども本の森中之島、その他…)

(2) 学校教育における読書

(3) デジタルネイティブ世代の読書 (それぞれのメディアの特性、紙・デジタル両方を活用できる能力)

2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

(1) 普及・啓発活動

(2) ターゲットに応じた効果的な広報

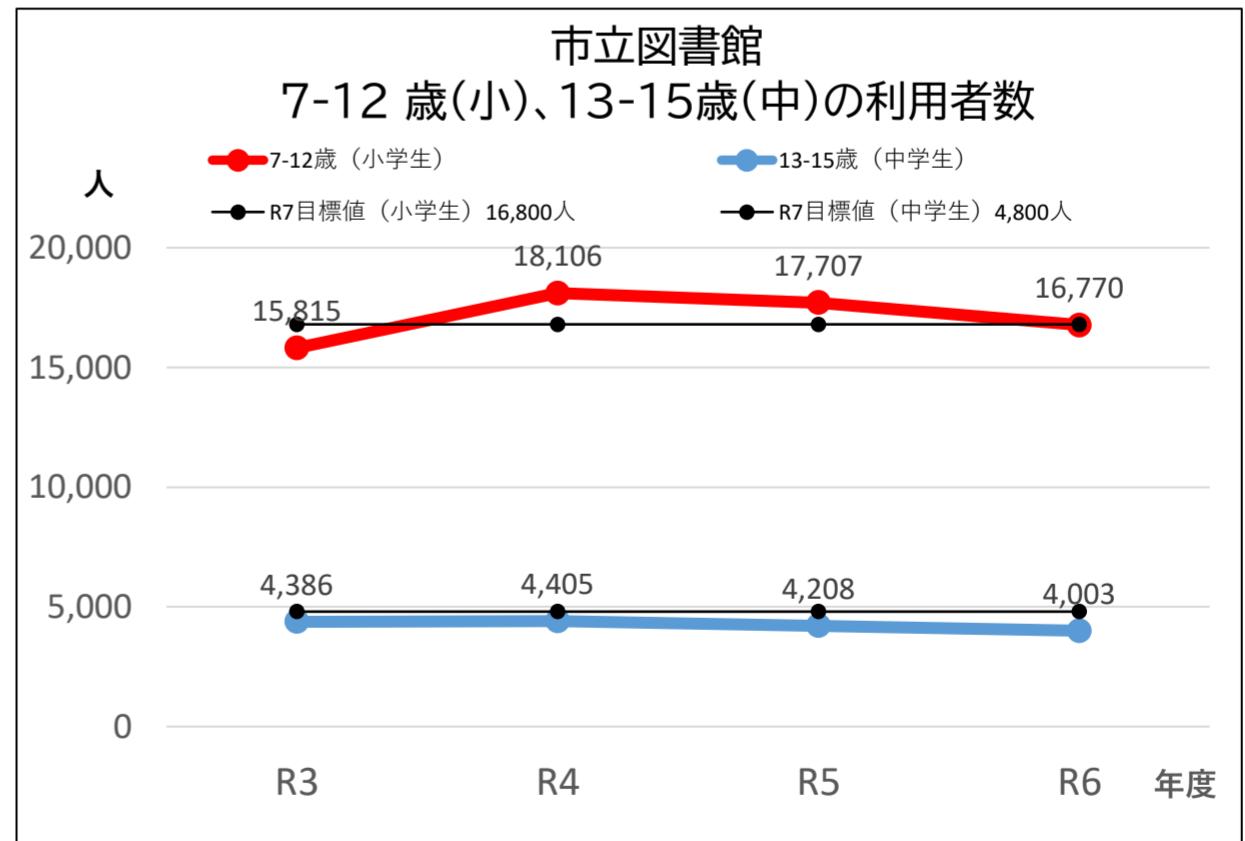
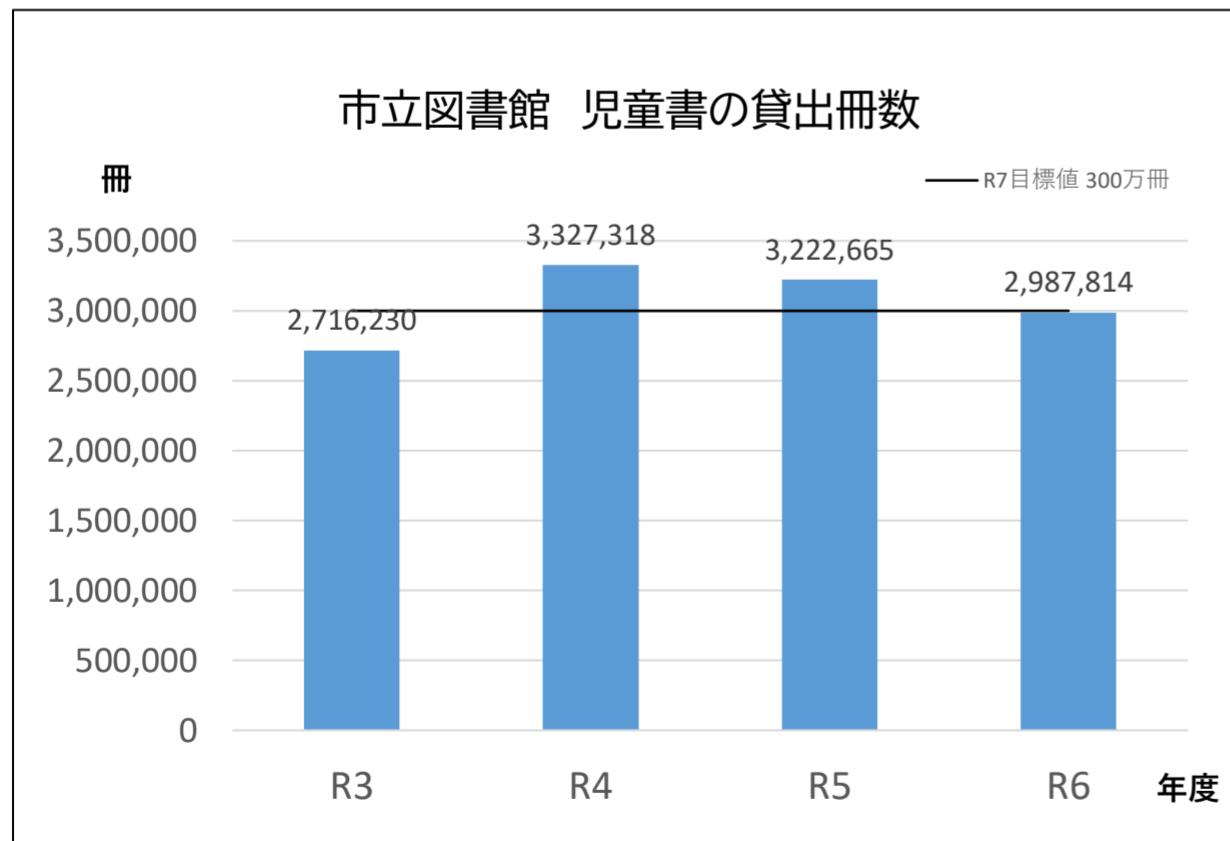
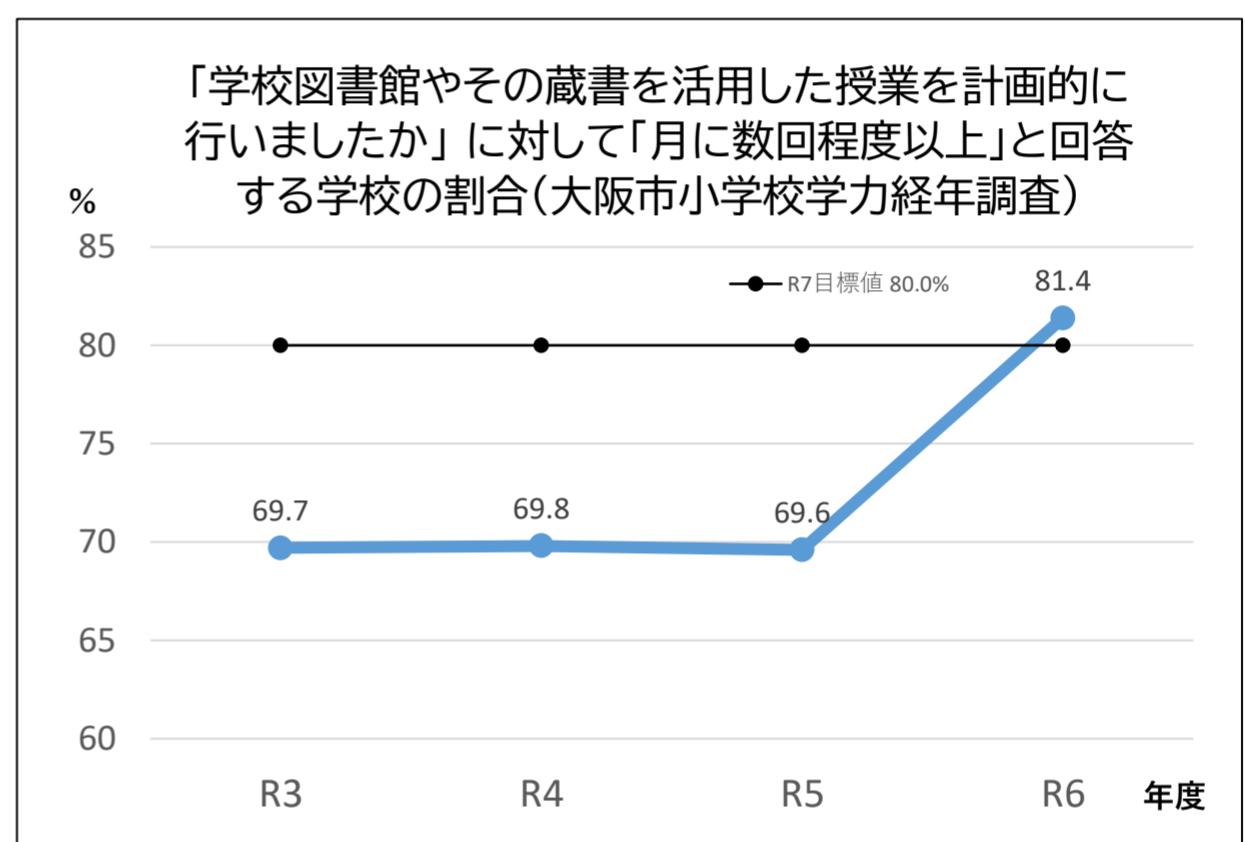
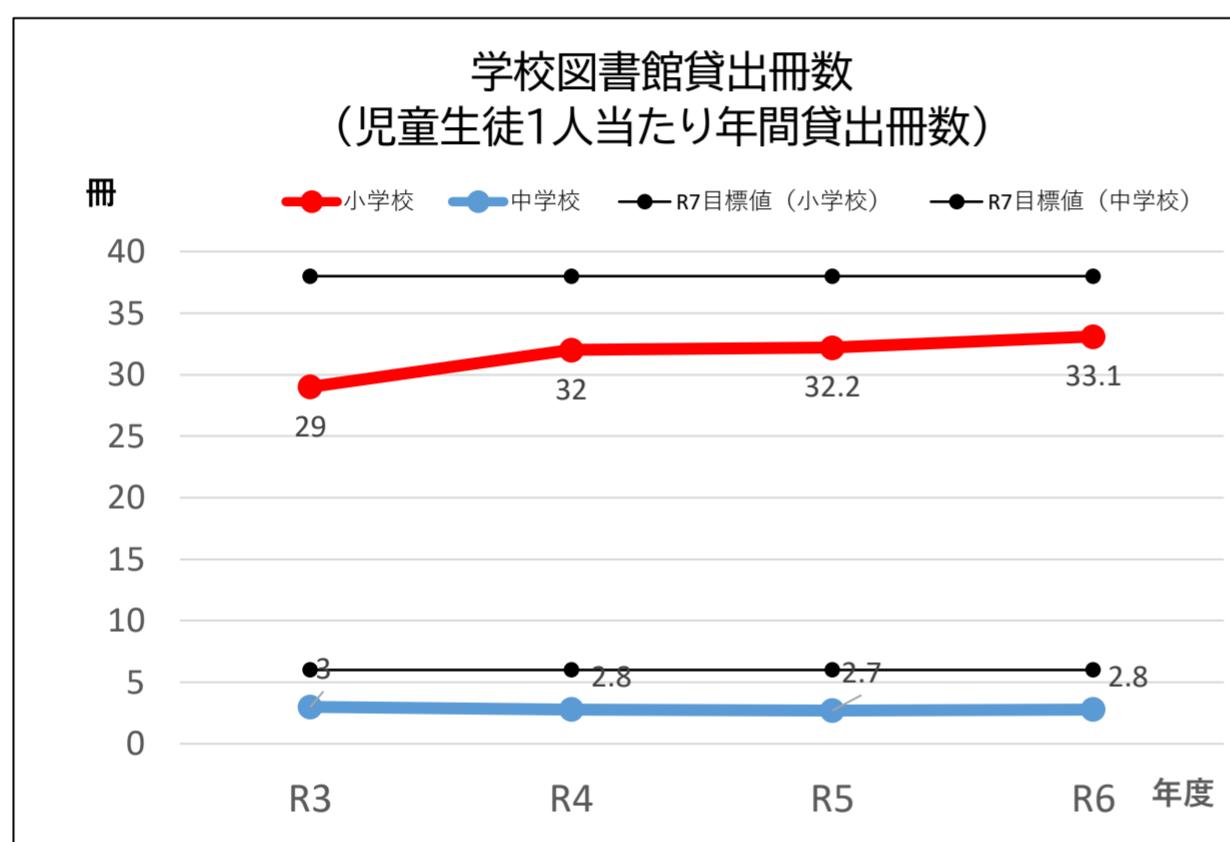
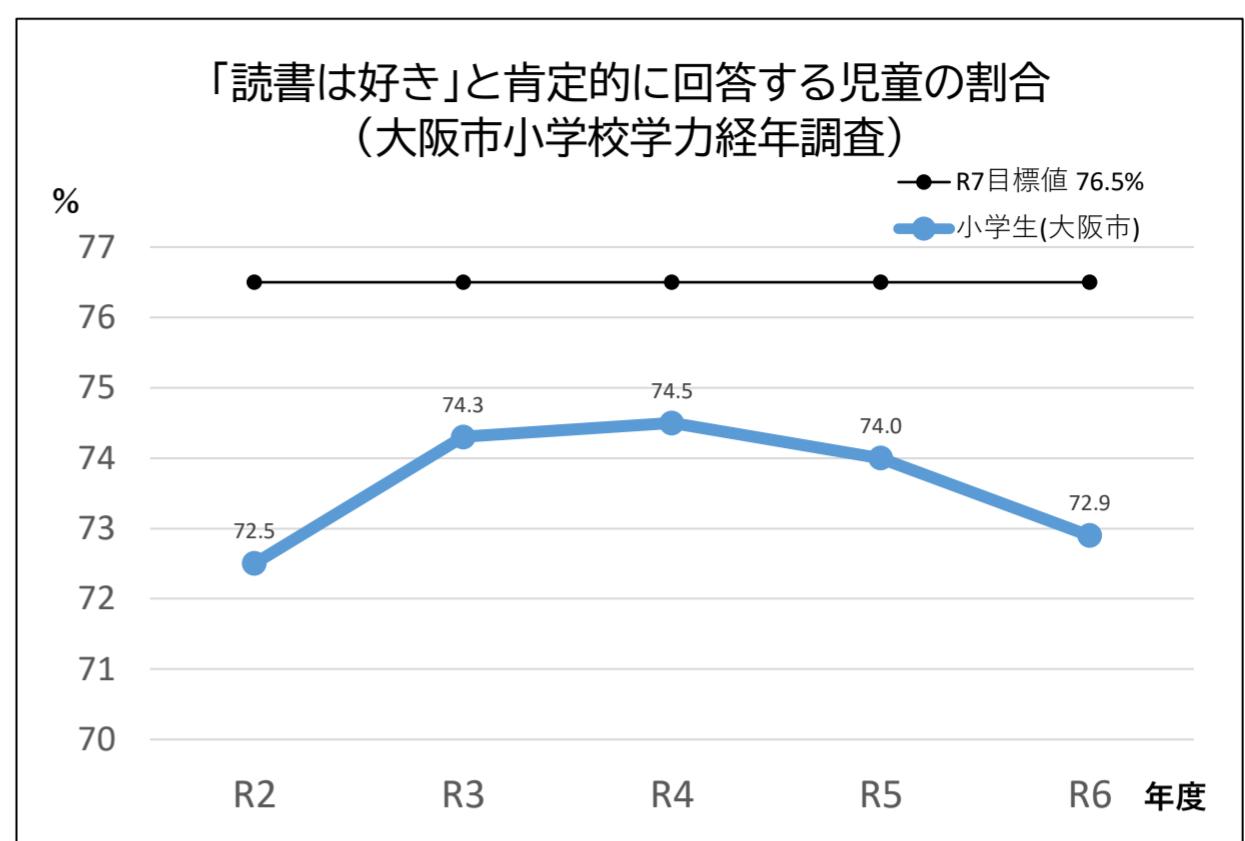
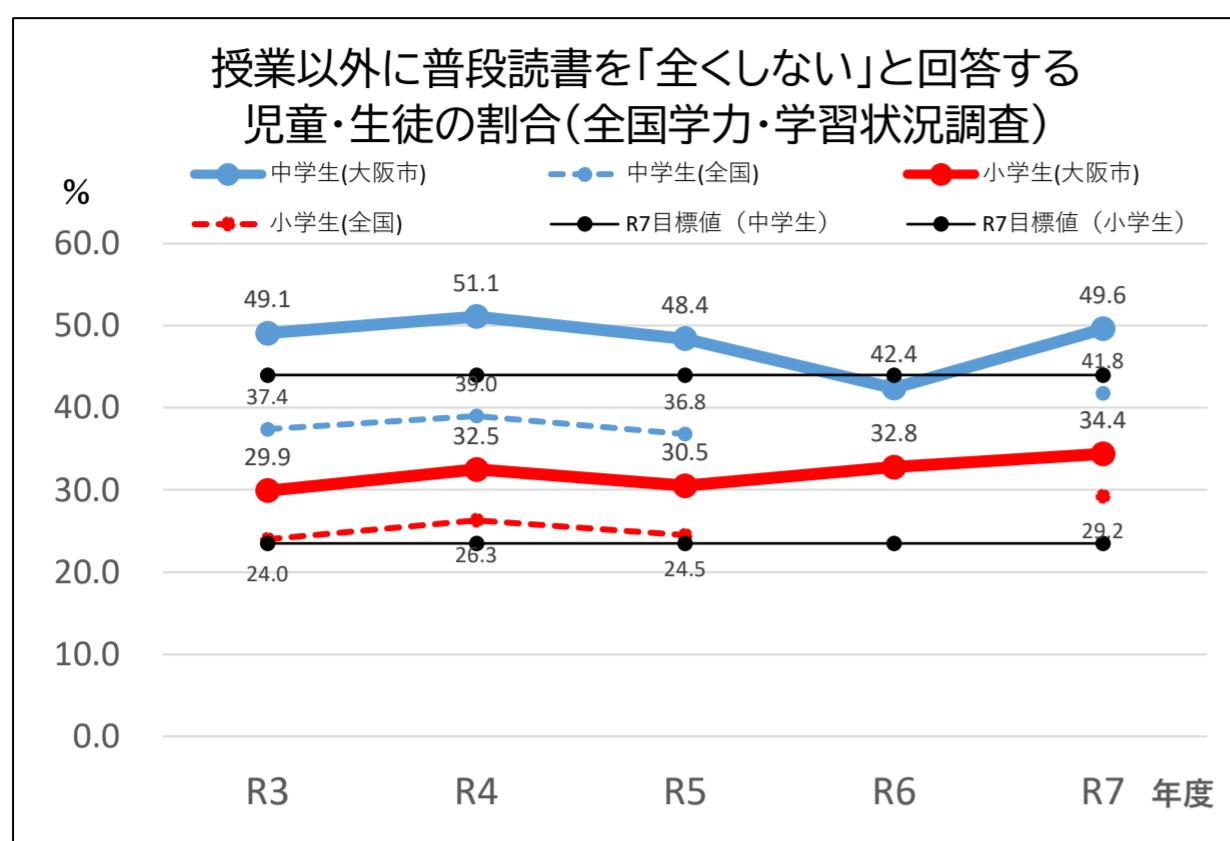
3 子どもと読書に関わる人のつながり作り

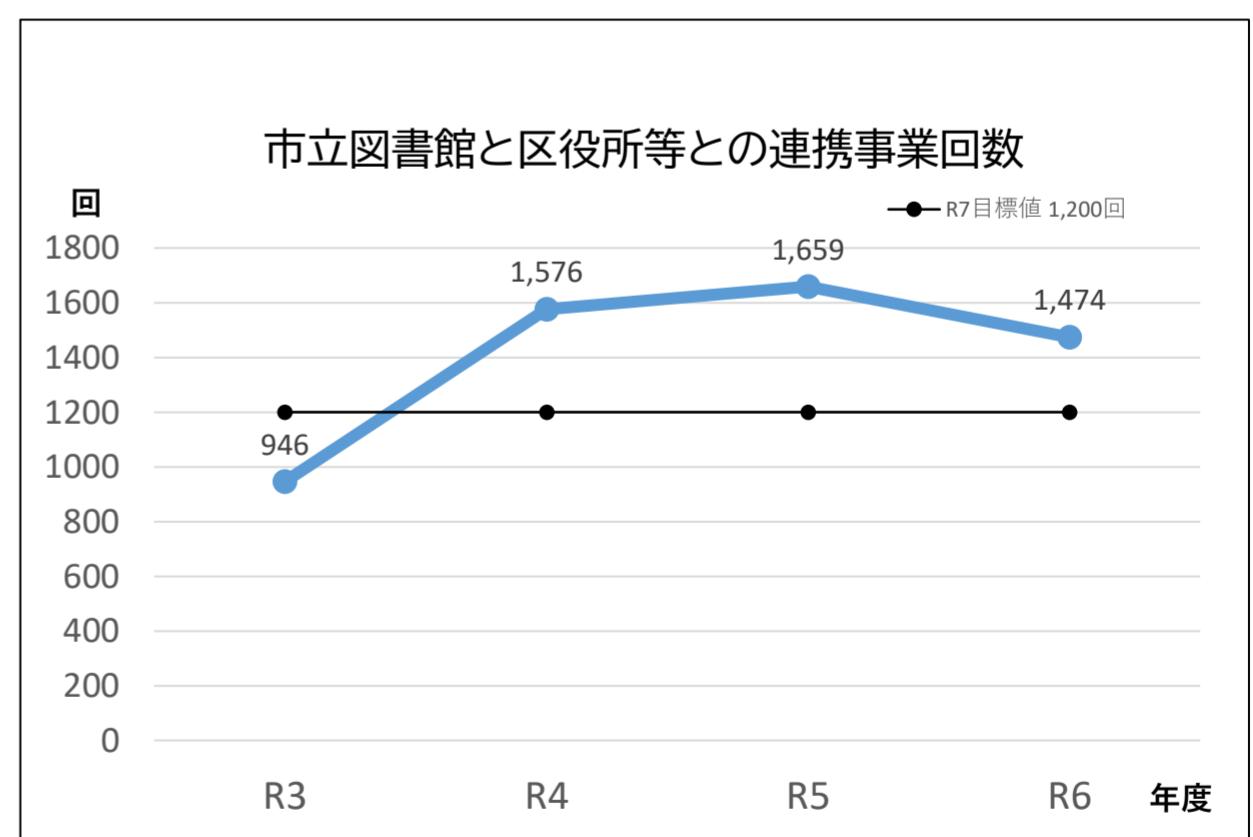
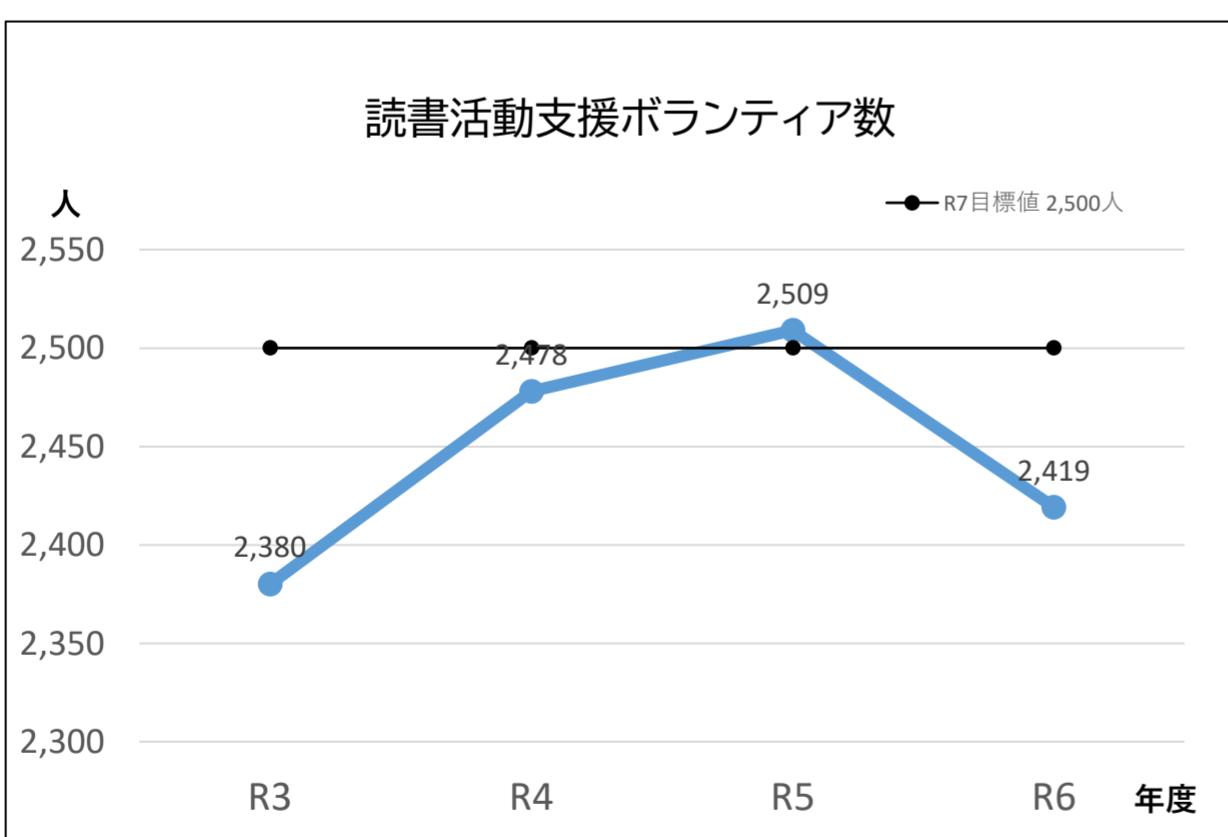
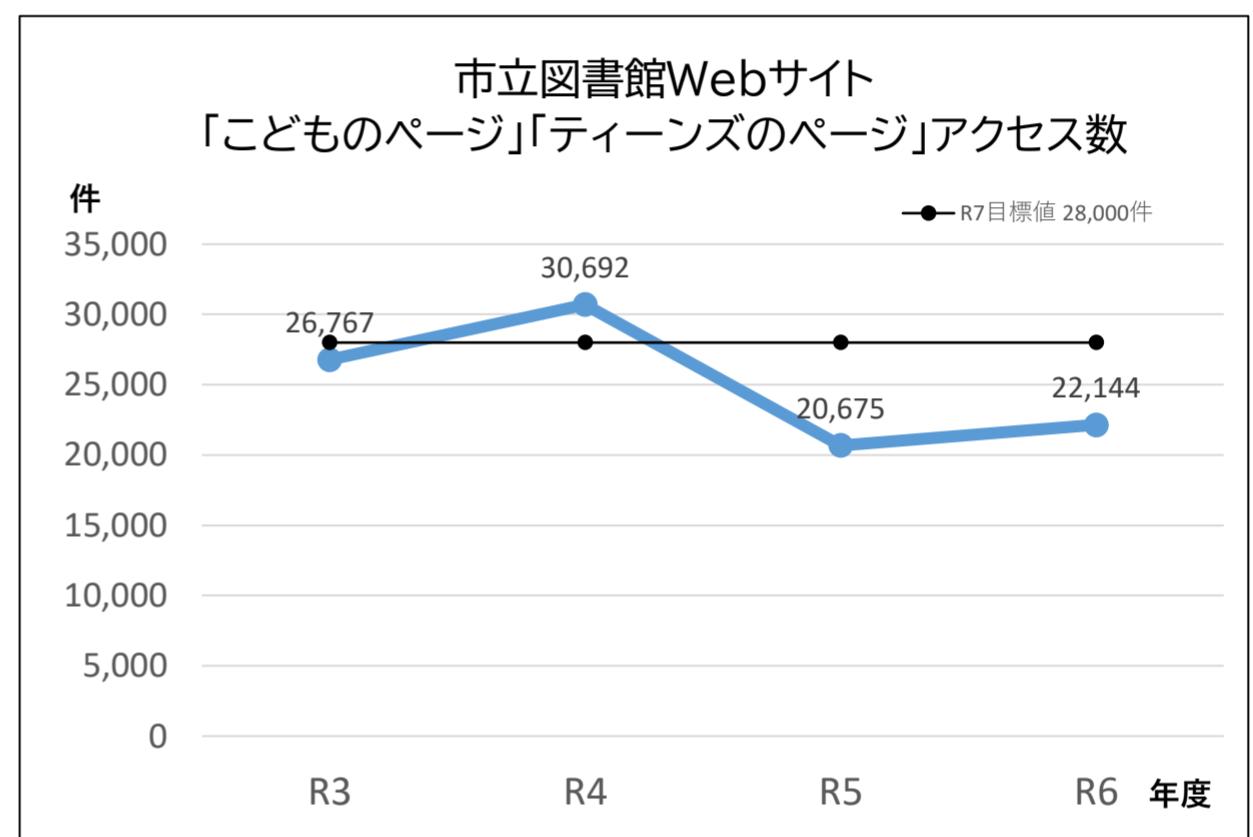
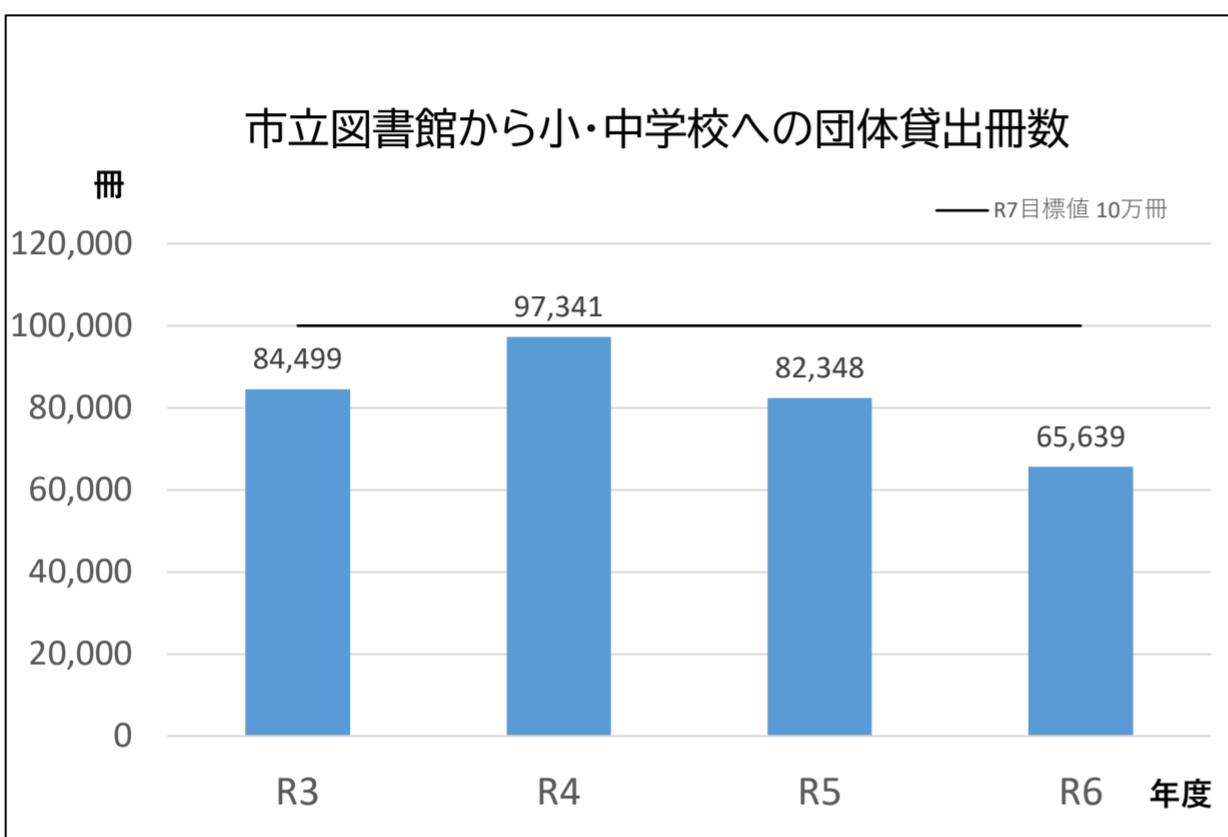
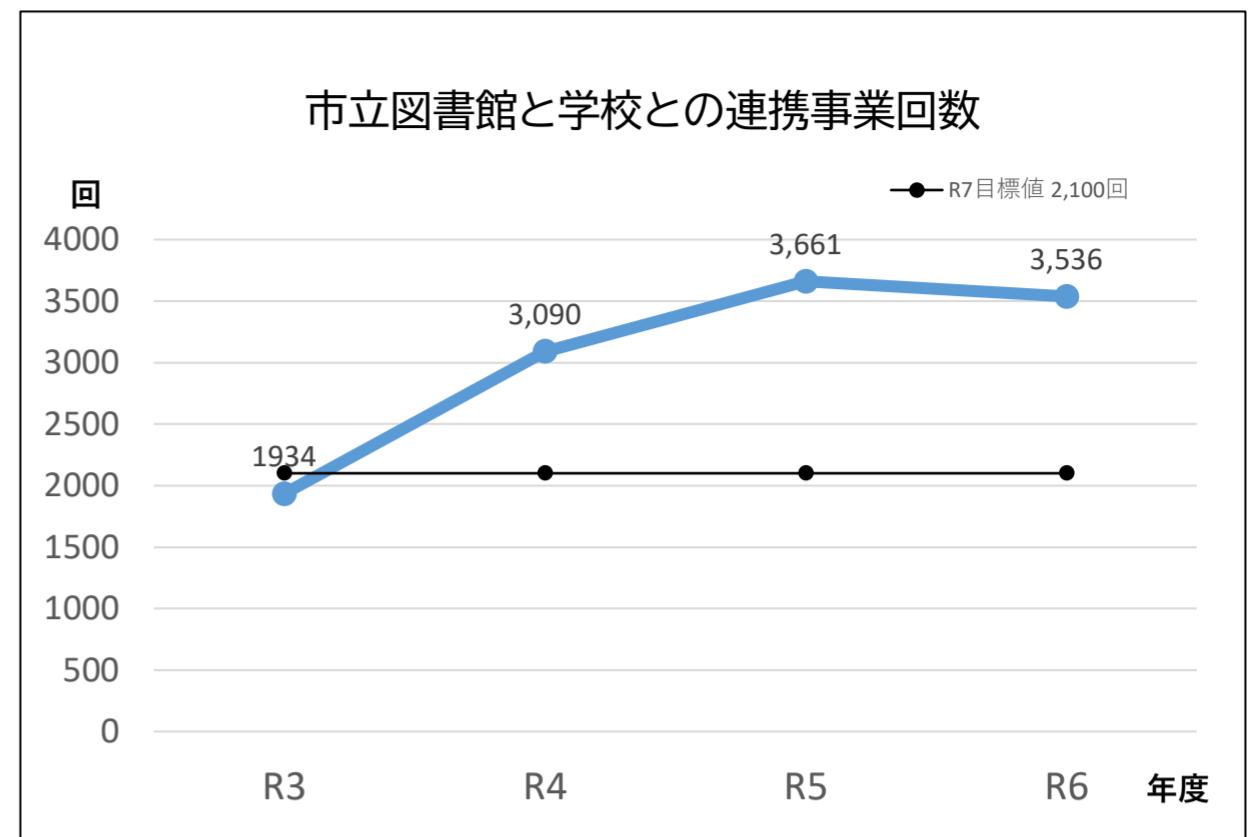
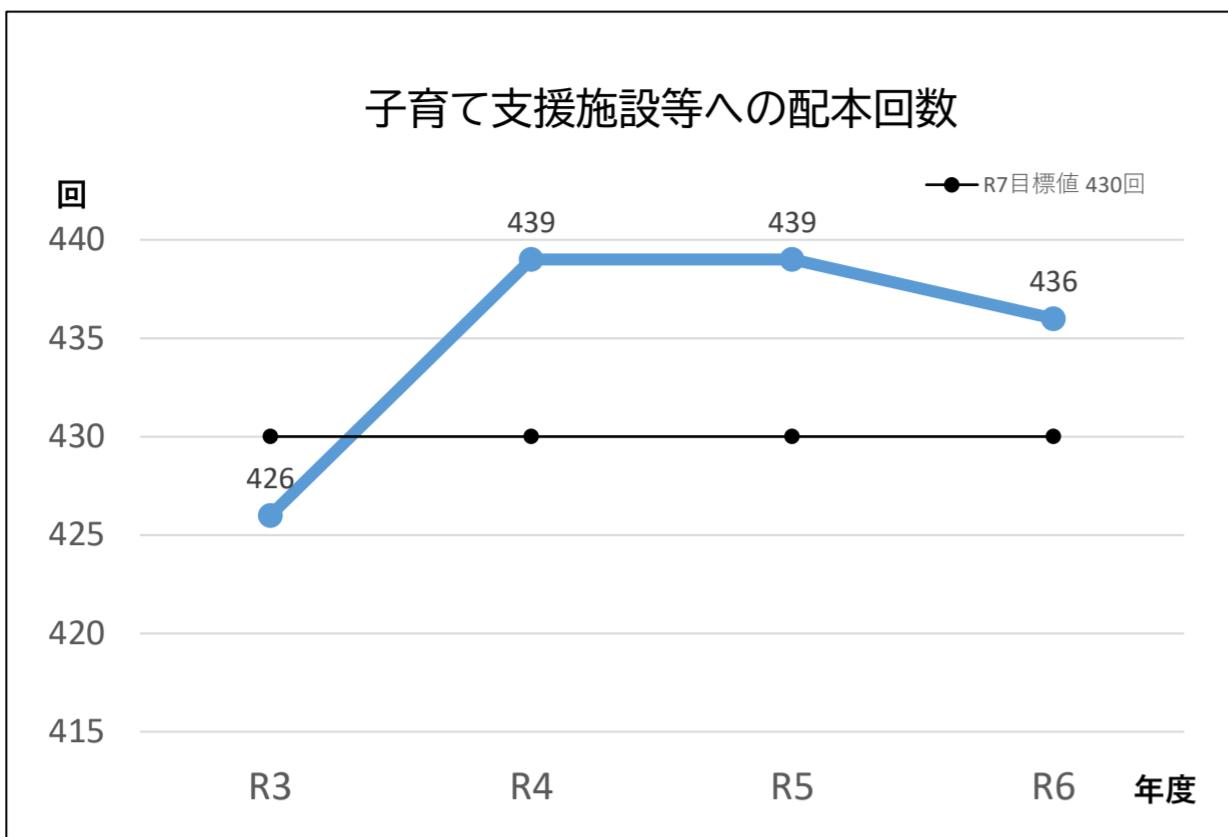
(1) 連携・協働の輪を広げる取組み

(2) 読書活動推進の担い手への支援

【参考】資料9(p.41-42)関係

第4次大阪市子ども読書活動推進計画 取組目標の状況





第4次大阪市子ども読書活動推進計画(概要版)

これまでの経過

- ◆ 平成13年「子どもの読書活動の推進に関する法律」(推進法)施行
→地方公共団体は、推進計画を策定するよう努めなければならない

- ・平成18年「大阪市子ども読書活動推進計画」策定
- ・平成25年「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」策定
- ・平成30年「第3次大阪市子ども読書活動推進計画」策定
- ・令和3年 現計画を1年延長 計画期間 令和3年度末まで

策定にかかる背景

関連計画等	本計画との関係
2025大阪・関西万博	理念・目的(一人ひとりが互いの多様性を認め、「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現。SDGsが達成された社会をめざす)を踏まえる
第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(国)	読書習慣の形成を目指し発達段階ごとの有効な取組みを推進
第4次「大阪府子ども読書活動推進計画」(府)	少しでも本を読む子どもを増やすことを目指し、子ども一人一人に合った読書活動を一層推進する。
「読書バリアフリー計画」(国・府)	視覚障がい者等の読書環境の整備
「教育振興基本計画」	理念を共有
「生涯学習大阪計画」	
「こども・子育て支援計画」(第2期) 「こどもの貧困対策推進計画」	子どもの環境・貧困と読書との関連を注視

成果と課題

成果

「読書を全くしない」児童・生徒減 「読書は好きだ」児童増
(「全国学力・学習状況調査」より)

課題

- ・上記調査回答において、中学生の全国平均との乖離が小学生より大きい
- ・市立図書館13歳～19歳の登録者数減少

令和4(2022)年4月から令和8(2026)年3月 4年間

大阪市のすべての子どもが自ら生き生きと
読書を楽しめる読書環境の整備

期間

基本方針

観点1 子どもの読書 環境の整備・ 充実

- ・ 発達段階に応じた途切れない読書習慣の形成により
主体的に学び続けることができる力を醸成
- ・ 一人ひとりの多様性に応じた読書環境の整備
- ・ とりわけ学校教育においては、読書環境の充実をはかる
とともに、読書活動を通して読解力を育むことにも留意
- ・ 紙の本とデジタル両方を活用できる能力の育成支援

観点2 子どもの読書 活動に関する 普及・啓発

- ・ ICTを活用した情報発信と、紙の本による読書推進の両立
- ・ 読書活動の検証、改善

観点3 人と本、人と 人をつなぐ場 の拡大

- ・ 図書館を事務局として「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」開催
- ・ 区や関連団体、市民主体の取組みなど、多様な人々との連携・協力
の拡大

第4次大阪市子ども読書活動推進計画 目標

基本方針 大阪市のすべての子どもが自ら生き生きと読書を楽しめる読書環境の整備

観点1 子どもの読書環境の整備・充実

観点2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

観点3 人と本、人と人をつなぐ場の拡大

最重要目標

施策目標	現状	令和7 (2025)年度 末
「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」に対して「読書を全くしない」と回答する児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小学校 29.9% (令和3年度 実績)	23.5%
	中学校 49.1% (令和3年度 実績)	44.0%
「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合 【小学校学力経年調査】 [注1]	72.5% (令和2年度 実績)	76.5%

各取組目標

	目標	現状	令和7年度末
観点1	学校図書館貸出冊数 (児童生徒1人当たり年間貸出冊数) 【新規】	小29冊 (R元) 中3冊 (R元)	小38冊 中6冊
	「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して「月に数回程度以上」と回答する学校の割合 【小学校学力経年調査】 【新規】	69.7% (R2)	80.0%
	市立図書館児童書の貸出冊数	2,716,230冊	300万冊
	市立図書館7-12歳(小)、13-15歳(中)の利用者数 [注2]	小 15,815名 中 4,386名	小16,800名 中4,800名
	子育て支援施設等への配本回数	426回	430回
	市立図書館と学校との連携事業回数	1,934回	2,100回
	市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	84,499冊	10万冊
観点2	市立図書館「こどものページ」「ティーンズのページ」アクセス数 [注3]	26,767件	28,000件
観点3	読書活動支援ボランティア数	2,380名	2,500名
	市立図書館と区役所等との連携事業回数	946回	1,200回
	子どもの読書活動推進連絡会 (全市、区)	年1回以上	年1回以上

※注1～3は第3次計画からの変更点。

[注1]…対象を「全国学力・学習状況調査」から「小学校学力経年調査」に変更

[注2]…対象年齢を13-19歳から上記に変更

[注3]…「こどものページ」を追加

大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱

(設置)

- 第1条 「大阪市子ども読書活動推進計画」（平成18年3月策定、令和4年3月「第4次」計画策定）に基づき、本市のすべての子どもたちが、さまざまな機会と場所において読書の喜びを味わい、読書を通して生きる力を身につけていくことができるよう、各区で行う子どもの読書支援活動に関する連携を進め、子どもの読書活動を推進するため、「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」（以下「市推進連絡会」という）を設置する。
- 2 各区において学校や図書館その他の関係機関及び民間団体・グループが、それぞれの課題を理解しながら協力して取り組み、子どもの読書活動を推進するため、各区に「区子どもの読書活動推進連絡会」（以下「区推進連絡会」という）を設置する。

(所掌事務)

- 第2条 「市推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。
- (1) 各区の「区推進連絡会」での協議の集約、および課題解決に向けた情報共有に関すること。
- (2) 「大阪市子ども読書活動推進計画」の進行管理に関すること。
- (3) 子ども読書の日（4月23日）記念事業他関係団体等が行う読書支援活動の状況把握に関すること。
- (4) 子どもの読書支援活動を推進するための広報啓発事業に関すること。
- (5) その他、本市における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。
- 2 「区推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。
- (1) 地域における子どもの読書支援活動の取組み状況報告に関すること。
- (2) 施設間、団体間の情報交換や、「市推進連絡会」で協議された他の区の子どもの読書支援活動の紹介・交流に関すること。
- (3) 学校図書館活用推進事業の進捗状況の報告に関すること。
- (4) 学校における子どもの読書支援活動についての情報の共有に関すること。
- (5) 子どもの読書支援活動に関する広報・啓発活動の実施に関すること
- (6) その他、区における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

(構成)

- 第3条 「市推進連絡会」は、別表1に掲げる組織、団体から推薦された者及び学識経験を有する者より構成する。
- 2 「区推進連絡会」は、別表2に掲げる団体等を参考に地域の実情に応じて構成する。

(座長)

- 第4条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」に、それぞれ座長を置く。
- 2 「市推進連絡会」の座長は、中央図書館副館長とする。
 - 3 各「区推進連絡会」の座長は、各区の市立図書館館長または担当係長とする。
 - 4 座長は会議を主宰し、会議の議事を進行する。
 - 5 座長に事故があるときは、あらかじめ座長の指名する構成員がその職務を代理する。

(「区推進連絡会」の代表者)

- 第5条 各「区推進連絡会」に、「市推進連絡会」の構成員となる代表者を置く。
- 2 代表者は、各「区推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(事務局)

- 第6条 「市推進連絡会」の事務局は大阪市立図書館利用サービス担当に置く。
- 2 各「区推進連絡会」の事務局は各区の市立図書館が担う。

(会議)

- 第7条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」は、各会議の座長が構成員を招集して開催する。
- 2 「市推進連絡会」の座長は、必要があると認めるときは、関係部局の職員に会議への出席を求めることができる。

(施行の細則)

- 第8条 この要綱の施行について必要な事項は、事務局が定める。

附則 この要綱は平成19年 7月 17日から施行する。

附則 この改正要綱は平成31年 4月 1日から施行する。

附則 この改正要綱は令和4年 4月 1日から施行する。

大阪市子どもの読書活動推進連絡会の構成

順不同

(別表1) 市推進連絡会

- 各区の「子どもの読書活動推進連絡会」代表者
- 大阪市PTA協議会
- 大阪市生涯学習推進員協議会
- 学識経験者
- 大阪市教育委員会事務局生涯学習部
- 大阪市教育委員会事務局指導部
- 大阪市立図書館

(別表2) 区推進連絡会

種別	構成団体等（例）
読書活動支援ボランティア	各ボランティアグループの代表者（推薦された者）
地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など（地域の実情に応じて）	ボランティア・市民活動センター（旧ボランティアビューロー）、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など
子育て支援施設	子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターの職員など
就学前施設	公・私立幼稚園、保育所、認定こども園の職員など
学校（代表出席）	教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事（管理職） 司書教諭、学校図書館主任、学校司書・主幹学校司書など
区役所	教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など

【事務局】

各区市立図書館	館長または担当係長、司書職員、学校図書館コーディネーター
---------	------------------------------

令和7年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会名簿(除事務局)

(令和7年9月3日)

お名前(敬称略)	区分	所属・役職名等	
片 岡 則 夫	有識者	公益財団法人図書館振興財団教育支援担当	
中 西 利 恵	有識者	神戸常盤大学教授	
栗 野 由 佳	社会教育関係団体	大阪市PTA協議会研修委員長	
山 根 功 挿	社会教育関係団体	大阪市PTA協議会広報情報推進委員長	
筒 井 幹 夫	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会会长	
三 好 浩 美	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副会長	
辻 本 み ゆ き	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副会長	
金 田 治 子	区の子どもの読書活動推進連絡会代表	北区	絵本の会北
北 本 美 和 子	同上	都島区	都島えほんの会 ふあいと！
山 台 直 子	同上	福島区	絵本の会福島
奥 村 久 美	同上	此花区	此花図書館絵本の会
釣 島 恒 子	同上	中央区	絵本の会島之内
土 倉 由 美	同上	西区	絵本の会西
池 田 ふ み 子	同上	港区	絵本の会みなど
花 下 千 草	同上	大正区	絵本の会大正
野 田 祐 子	同上	天王寺区	天王寺おはなし「ぼちぼち」
上 田 道 代	同上	浪速区	なにわえほんの会
清 水 美 香	同上	西淀川区	絵本会西淀川 ぼけっと
久 保 昌 子	同上	淀川区	絵本の会淀川
渡 邊 裕 美 子	同上	東淀川区	おはなしボランティア とことこ
上 坂 喜 子	同上	東成区	絵本の会東成
福 井 聰 子	同上	生野区	あじさいブッククラブ
上 田 き ぬ	同上	旭区	絵本の会あさひ
中 山 良 子	同上	城東区	城東絵本の会
橋 口 由 紀 子	同上	鶴見区	絵本の会鶴見
黄 瀬 和 歌 子	同上	阿倍野区	絵本の会あべの あのねのね
森 本 め ぐ み	同上	住之江区	絵本の会住之江
吉 城 順 子	同上	住吉区	住吉絵本の会
福 井 潤 子	同上	東住吉区	すみよしおはなしパレット
下 山 隆 彦	同上	平野区	平野図書館絵本の会
森 川 美 智 代	同上	西成区	西成絵本の会

令和7年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会関係職員名簿

(令和7年9月3日)

教育委員会事務局中央図書館

所 属	氏 名
中央図書館長	石田 智子
中央図書館副館長	比嘉 直子
中央図書館総務担当課長	民部 博志
中央図書館利用サービス担当課長	戸倉 信昭
中央図書館地域サービス担当課長	小西 敏章
中央図書館利用サービス担当課長代理	外丸 須美乃
中央図書館利用サービス担当課長代理	岡本 泰子
中央図書館地域サービス担当課長代理	檜崎 佳代
中央図書館 担当係長	土岐 真弓
〃 〃	野村 由紀
〃 〃	荒木 志寿
〃 〃	上嶋 優子
〃 〃	岩佐 孝司
〃 〃	山崎 如代
〃 〃 (兼)	濱中 靖子
〃 総括指導主事(兼)	田淵 啓之
〃 総括指導主事(兼)	島原 政則
北図書館長	長谷部 紘理
都島図書館長	綱脇 真起
福島図書館長	藤本 明子
此花図書館長	谷元 美緒
島之内図書館長	竹内 景子
港図書館長	松岡 章子
大正図書館長	井上 聰
天王寺図書館長	荒木 麻里
浪速図書館長	石田 玉恵
西淀川図書館長	正井 文博
淀川図書館長	濱田 仁美
東淀川図書館長	庄野 清美
東成図書館長	田島 裕子
生野図書館長	川村 望
旭図書館長	中田 夕子
城東図書館長	窪田 聰美
鶴見図書館長	金澤 愛弥子
阿倍野図書館長	濱田 千賀子

所 属	氏 名
住之江図書館長	根来 美穂子
住吉図書館長	松山 智子
東住吉図書館長	野村 薫
平野図書館長	相宗 大督
西成図書館長	淺川 裕俊

教育委員会事務局指導部

所 属	氏 名
初等・中学校教育担当課長	瀬脇 浩
初等・中学校教育担当総括指導主事	田淵 啓之
初等・中学校教育担当総括指導主事	島原 政則

教育委員会事務局生涯学習部

所 属	氏 名
生涯学習担当課長	笹田 愛子
生涯学習担当課長代理	加藤 由紀子
生涯学習部担当係長	濱中 靖子

【関係部局】

所 属	氏 名
こども青少年局企画部 企画課長	中村 春樹
経済戦略局文化部文化課長	一興 美治

オブザーバー参加 (区教育担当)

所 属	氏 名
北区役所子育て・教育課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長	小谷 美寿希
中央区役所市民協働課市民活動支援・教育担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課中央区教育担当課	関口 清治
浪速区役所市民協働課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長	高橋 貴志子
鶴見区役所保健福祉課 (子育て支援)	田中 悅子
阿倍野区役所市民協働課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長	穴見 潤一

令和7年度「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」実施報告書 令和7(2025)年11月

大阪市教育委員会 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20